NEC

# ユーザーズマニュアル

「あなたのパソコン」として使うために

VALUESTAR L

# ご購入後は「お客様登録」を ▶P.2-58

パソコンのセットアップが終わったら、すぐに121wareの「お客様登録」をしましょう。
電話サポートや優待サービスなど、さまざまな特典が利用できるようになります。

# 困ったときは

**使い方がわからなくなったときや、パソコンの調子が悪くなったときは、あわてずに次のステップで調べてみましょう。**

## Step1 マニュアルやインターネットで調べる ▶P.2-16

まずはパソコンに添付されているマニュアルを開いてみましょう。
また、121wareのホームページでは様々なサポート情報が提供されています。インターネットが使えるときは、121wareのホームページ(121ware.com)にアクセスして調べてみましょう。

## Step2 電話で相談する

NECのパソコンに関する技術的な質問を電話で承ります。
マニュアルやインターネットで調べてもわからないときは、専門のスタッフに電話で相談してみましょう。

## Step3 訪問サポートを依頼する ▶P.2-64

インターネットにつながらない、ウイルスに感染したかもしれない、その他、どうしても問題が解決しないときは、電話一本でスタッフがご自宅に駆けつけます。

853-811064-230-A

# 目次



853-811064-230-A
2012年10月　初版

準備・基本編

## 【第3章】 基本機能 1-55



## 【第4章】 よくある質問 1-69

トラブル予防・解決編

## 【第1章】 トラブルの予防 ―― 2-1



## 【第2章】 トラブル解決の第一歩 ―― 2-15

トラブル予防・解決編

## 【第3章】 トラブル解決Q＆A 2-21



## 【第4章】 再セットアップする 2-45

トラブル予防・解決編

## 【第5章】 サービス＆サポートのご案内 —— 2-57



**テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。**

※添付されるマニュアルは、モデルによって異なります。
また、表紙のデザインは、お使いのモデルによって異なる場合があります。

**■輸出に関する注意事項**

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

**■Notes on export**

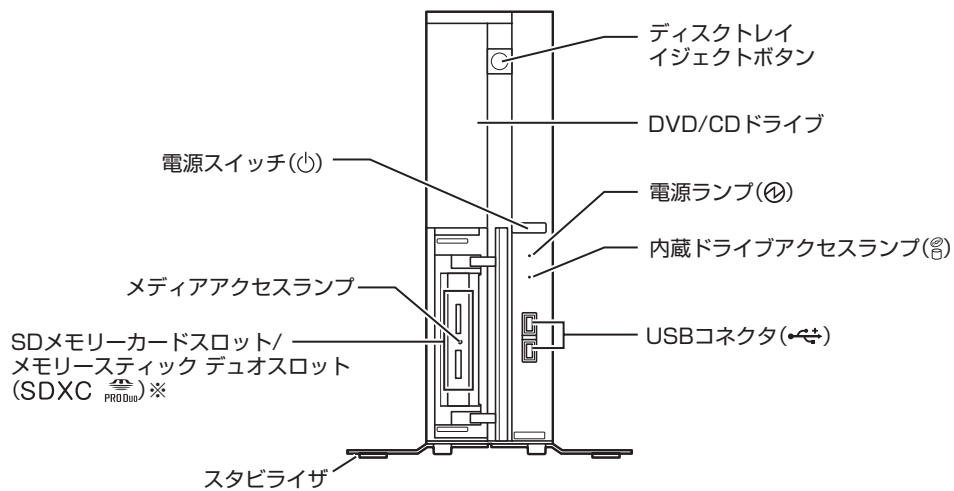
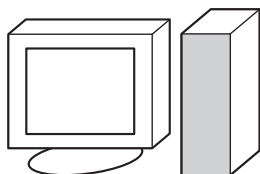
This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

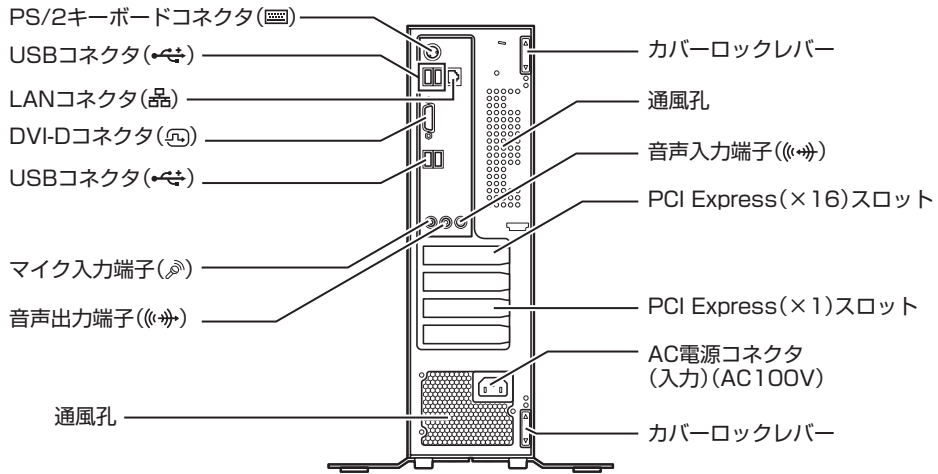
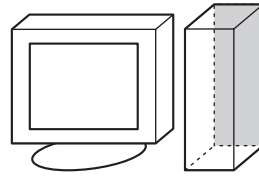
*1: NEC Personal Computers, Ltd.

# 各部の名称

このパソコンの各部の名称と役割について 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

### ●本体前面

（カバーを開いたところ）

※SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデルのみ

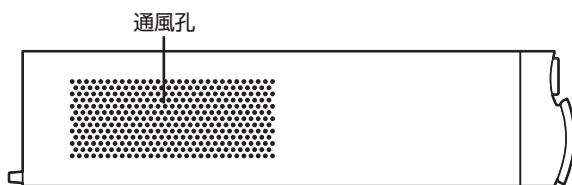
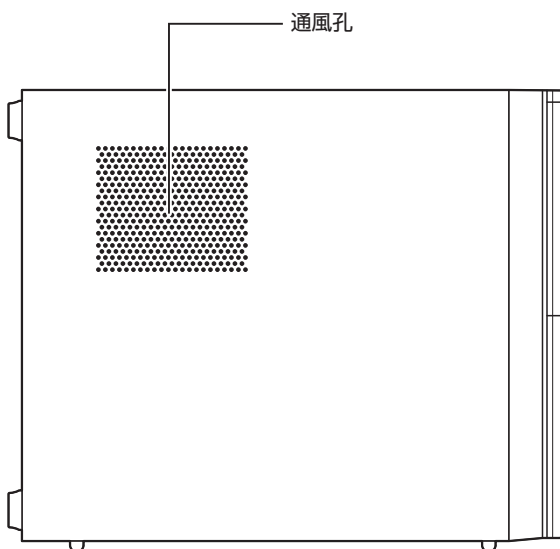
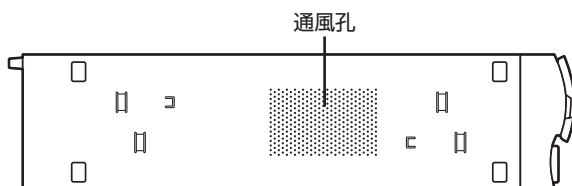
## ●本体背面

イラストはモデルによって異なります。
アイコンの向きは実際と異なる場合があります。

**PCI Express(×16)スロット**

・GeForce GT 630を搭載しているモデルの場合

**PCI Express(×1)スロット**

・USB 3.0対応コネクタボードを搭載しているモデルの場合

## ● 本体上面

## ● 本体左側面

## ● 本体底面

# このマニュアルの表記について

## ◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

| ⚠注意 | 人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。 |
|---|---|

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

| ❗ | 使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。 |
|---|---|

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

| マーク | 説明 |
|---|---|
| とくに重要 | してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。 |
| 重要 | 注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。 |
| ●●● | パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。 |
| 参照 | 関連する情報が書かれている所を示しています。 |

## ◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

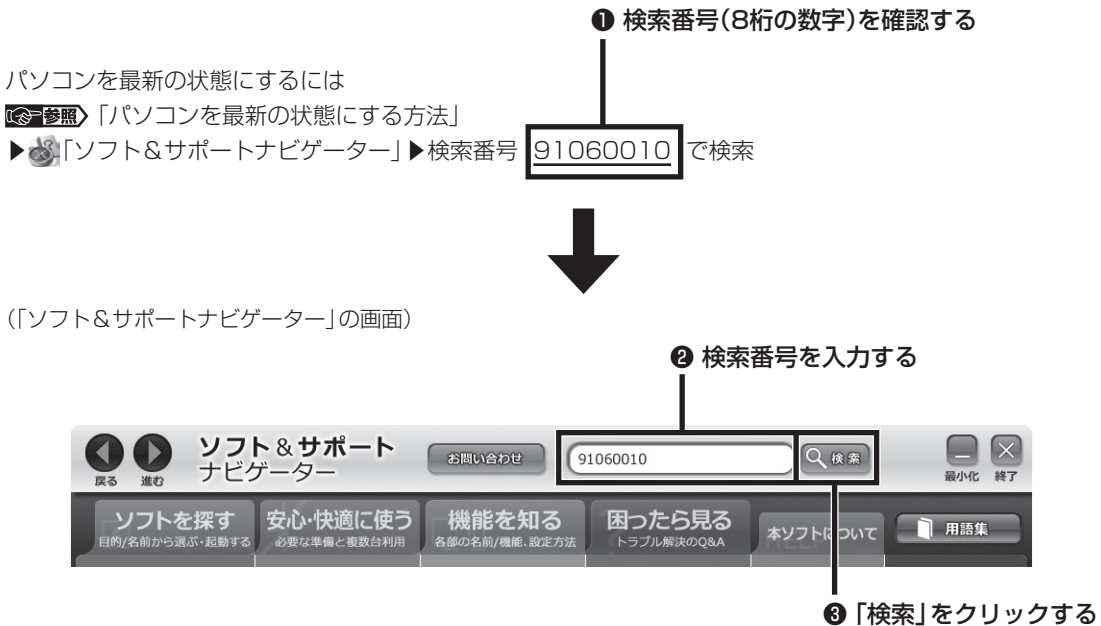
| 表記 | 説明 |
|---|---|
| 【　】 | 【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。 |
| 『　』 | 『　』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。 |
| **DVD/CDドライブ** | ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。 |
| **「ソフト&サポートナビゲーター」** | 画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。<br>「ソフト&サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにある(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。 |

## ◆番号検索(検索番号)について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

## ◆利用方法

**例)検索番号が「91060010」の場合**

(マニュアルの記載)

## ◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

「このパソコンのモデル構成について」(p.xii)をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

| | |
|---|---|
| **このパソコン、本機** | このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。 |
| **液晶ディスプレイセットモデル** | 液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。 |
| **ブルーレイディスクドライブモデル** | ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。 |
| **DVDスーパーマルチドライブモデル** | DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。 |
| **SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデル** | SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットを搭載しているモデルのことです。 |
| **Windows 8モデル** | Windows 8があらかじめインストールされているモデルのことです。 |
| **Windows 8 Proモデル** | Windows 8 Proがあらかじめインストールされているモデルのことです。 |

| **Office 2010モデル** | Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。 |
|---|---|
| **Office Personal 2010モデル** | Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。 |
| **Office Home & Business 2010 モデル** | Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。 |
| **TVモデル** | TV内蔵モデルと、ワイヤレスTVデジタル添付モデルのことです(デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです)。 |
| **TV内蔵モデル** | 地上/BS/110度CSデジタル放送のチューナー(レコーダー)を内蔵しているモデルです。搭載している「SmartVision」でテレビとひかりTVを見ることができます。 |
| **ワイヤレスTV デジタル添付モデル** | 「ワイヤレスTVデジタル」が添付されたモデルのことです。ワイヤレスLANを使って地上/BS/110度CSデジタル放送をパソコンに送信し、搭載している「SmartVision」でテレビとひかりTVを見ることができます。 |
| **リモコン添付モデル** | リモコンが添付されているモデルのことです。 |

## ◆このパソコンのモデル構成について

このパソコンはモデルごとに次のような機能で構成されています。ご購入いただいたモデルにどのような機能があるかご確認ください。

| シリーズ名:<br>VALUESTAR L | 表記の区分 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 型名(型番) | ディスプレイ | BD/DVD/CD<br>ドライブ※1 | メモリーカード<br>スロット | OS | 添付ソフト |
| VL750/JS<br>(PC-VL750JS)※2 | 液晶ディスプレイセットモデル(23型ワイド液晶[F23W3A(W)]) | ブルーレイディスクドライブモデル | SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデル | Windows 8モデル | Office Home & Business 2010モデル |
| VL150/JS<br>(PC-VL150JS) | 液晶ディスプレイセットモデル(19型ワイド液晶[F19W2A-S]) | DVDスーパーマルチドライブモデル | − | | Office Personal 2010モデル |

※1:BDとはブルーレイディスクのことです。
※2:VL750/JSは、USB 3.0対応コネクタボード、GeForce GT 630、「SmartVision/PLAYER」が搭載されています。

## ◆VALUESTAR Gシリーズについて

VALUESTAR Gシリーズの各モデルについては、添付の『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

## ◆本文中の記載について

・ 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・ 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。
・ このマニュアルには、複数のモデルの内容が含まれているため、お使いのモデルによっては、本文中で説明している機能が搭載されていない場合があります。

## ◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

## ◆イラストについて

このマニュアルでは、各モデルで操作方法に大きな違いがない場合は、USB 3.0対応コネクタボード、GeForce GT 630が搭載されていないモデルのイラストを掲載しています。

## ◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

| （本文中の表記） | （正式名称） |
|---|---|
| **Windows、<br>Windows 8** | Windows® 8<br>Windows® 8 Pro |
| **Office Personal 2010** | Microsoft® Office Personal 2010 |
| **Office Home & Business 2010** | Microsoft® Office Home and Business 2010 |
| **Word 2010** | Microsoft® Office Word 2010 |
| **Excel 2010** | Microsoft® Office Excel® 2010 |
| **Outlook、<br>Outlook 2010** | Microsoft® Office Outlook® 2010 |
| **PowerPoint 2010** | Microsoft® Office PowerPoint® 2010 |
| **OneNote 2010** | Microsoft® Office OneNote® 2010 |
| **インターネットエクスプローラ、<br>Internet Explorer** | Windows® Internet Explorer® 10 |
| **タスク バー** | Windows® タスク バー |
| **Windows Update** | Windows® Update |
| **Windows 転送ツール** | Windows® 転送ツール |
| **ユーザー アカウント制御** | Windows® ユーザー アカウント制御 |
| **ファイナルパソコンデータ引越し** | ファイナルパソコンデータ引越し 9 ™ plus for NEC |
| **ウイルスバスター** | ウイルスバスター クラウド™ |

## ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 8、Windows® 8 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

## 商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。
Windows Live は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、Intel Core、Thunderbolt、Thunderboltロゴはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
Blu-ray Disc™ 、Blu-ray™ および BDXL™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
DLNAおよびDLNA CERTIFIEDは、デジタルリビングネットワークアライアンス（Digital Living Network Alliance）の商標です。
PS/2はIBM社が所有している商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
MEMORY STICK、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
NVIDIA、NVIDIAロゴ、NVIDIA nForce、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
ファイナルパソコン引越しおよびファイナルパソコンデータ引越しはAOSテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

準備・基本編

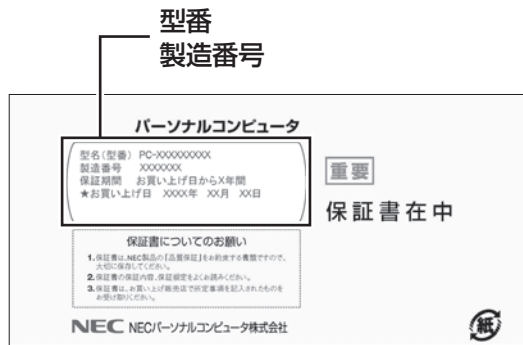
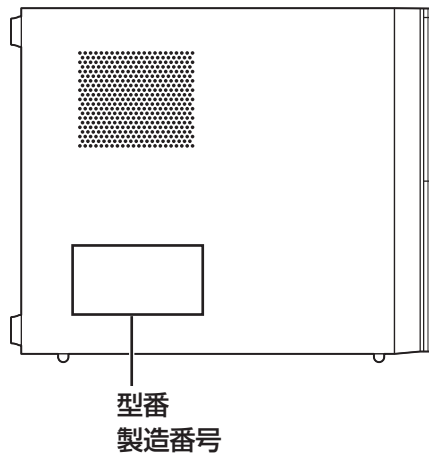
# 第1章

# セットアップの前に

**この章では、添付品の確認や電源コードの接続など、パソコンの箱を開けて電源を入れる前におこなうことについて説明します。**

## 製品を確認する

保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

●パソコン左側面

**! 重要 必ずご確認ください**

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）(p.1-3)にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

# 添付品を確認する

・添付の『添付品を確認してください』を見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。
・VALUESTAR Gシリーズをご購入の場合は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

## 添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

**●NECサポート窓口(121(ワントゥワン)コンタクトセンター)**

フリーコール 0120-977-121

※音声ガイダンスにしたがって、「故障診断・修理受付」を選択してください。
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000(通話料お客様負担)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は、「トラブル予防・解決編」第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

## 「電子マニュアルビューア」について

このパソコンに添付されているマニュアルをNECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくことができます。また、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
(http://121ware.com/support/e-manual/)

### その他のマニュアル

**●『SmartVision/PLAYER操作ガイド』(搭載モデルのみ)**
「SmartVision/PLAYER」の各機能について詳しく説明しています。「電子マニュアルビューア」の次のURLからご覧いただけます。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201210/etv/v1/mst/853_811064_240_a.pdf)

「SmartVision/PLAYER」について 参照 「SmartVision/PLAYER」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94192216 で検索

# パソコンの置き場所を決める

ここでは、パソコンを設置する場所について説明します。

## パソコンを設置する場所

パソコンは次のような場所に置いてください。

**●屋内**

**●しっかりした台の上**
パソコンの重さを支えられる机やテーブルの上に設置してください。

**●温度は10～35℃、湿度は20～80%**

**●ほこりの少ない場所**

**●コンセントや電話回線の近く**
本体や周辺機器に接続した電源コード、LANケーブルなどが届く範囲に設置してください。

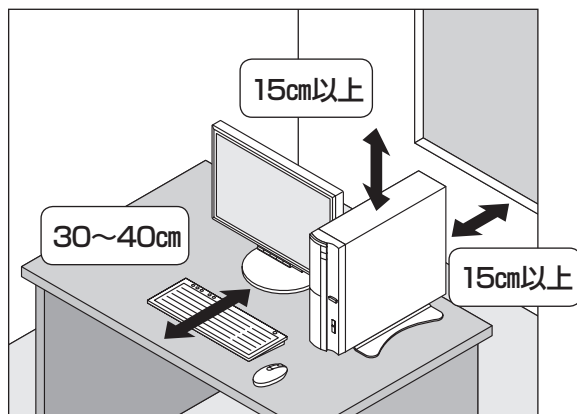
### パソコンの周囲のスペースについて

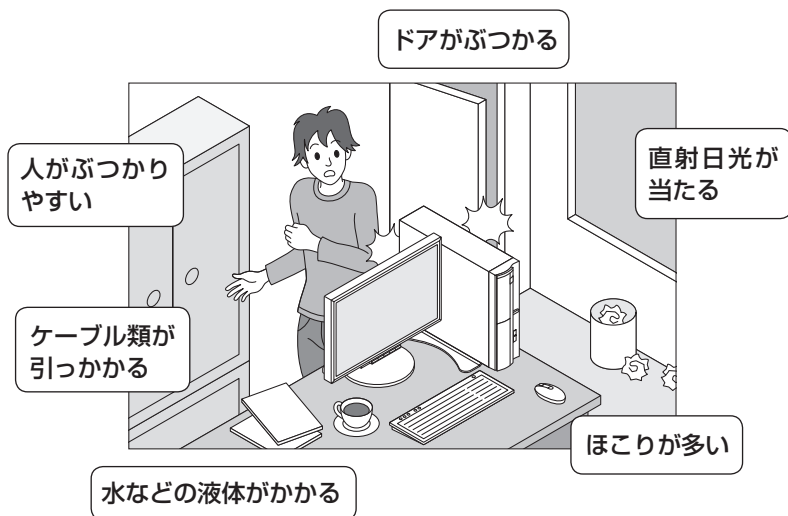
快適に操作するため、また、機器の故障を防ぐため、パソコンの周囲にはスペースを確保してください。

**●本体前に30～40cm**
キーボードを置いて、マウスを操作できるスペースが必要です。

**●本体上面、左側面および背面に15cm以上**
本体上面、左側面および背面の通風孔から放熱しています。壁などから15cm以上離して設置してください。

**●ディスプレイの後ろ側に15cm以上**
ディスプレイの後ろ側の通風孔から放熱しています。壁などから15cm以上離して設置してください。

**●通風孔について**
パソコン本体やディスプレイの通風孔を紙などでふさがないようにしてください。通風孔をふさいだまま使用すると、内部の温度が上昇して故障などの原因になります。

## パソコンを設置してはいけない場所

故障などの原因になるため、次のような場所には置かないでください。

### パソコンの近くに置いてはいけないものについて

次のものはパソコンの近くに置かないでください。

**●磁気や電波を発生するもの**

パソコンの近くに磁気や電波を発生するもの(テレビ、ラジオ、スピーカ、コードレス電話、携帯電話など)を置くと、パソコンのディスプレイの映像が乱れたり、スピーカから雑音が出ることがあります。また、これらの機器とパソコンは相互に影響を与えるため、逆にテレビの映像が乱れたり、ラジオやコードレス電話から雑音が出ることもあります。

扇風機や温風式こたつなども磁気を発生するため、パソコンの近くには置かないでください。

**●熱を発生するもの**

パソコンの近くに暖房機などを置くと、熱によってパソコンが変形したり異常な動作をすることがあります。

## その他、設置に関するご注意

**●コンセントについて**

・テレビやラジオのコンセントとは、別のコンセントに接続してください。同じコンセントに接続するとテレビやラジオから雑音が出ることがあります。

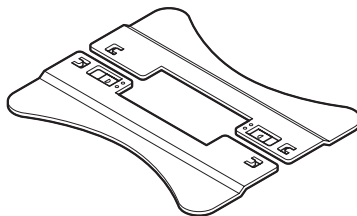
・電源コードのプラグはできるだけ直接コンセントに接続してください。コンセントが足りず、パソコン用のテーブルタップを使うときは、テーブルタップの許容電力を守ってください。

・アース線を接続できるよう、アース端子の付いたコンセントに接続してください。アース端子についてはお近くの電器店などにご相談ください。

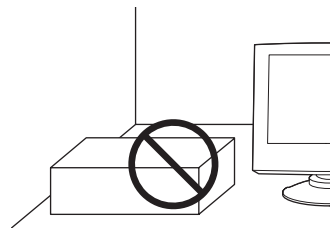
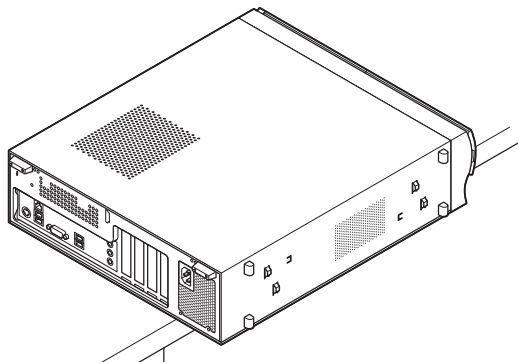
**●ケーブルについて**

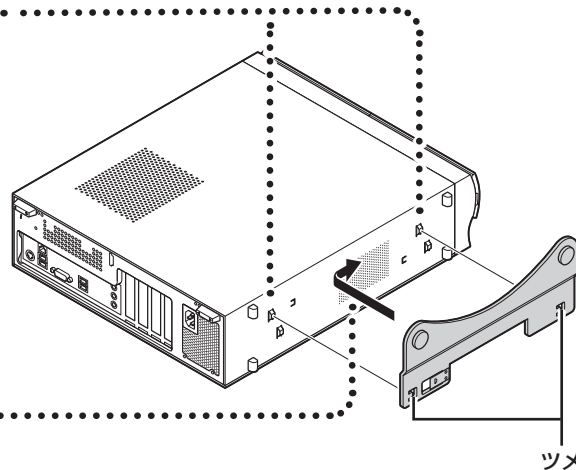
ケーブルを引っかけて機器を落とさないようにしてください。小さなお子様がいるご家庭では特にご注意ください。

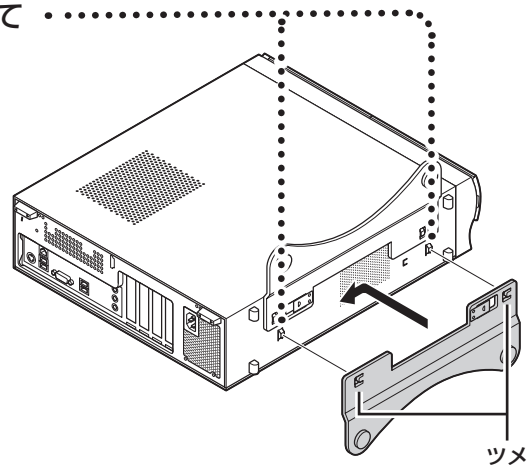
# スタビライザ(台座)を取り付ける

スタビライザは、パソコン本体を安定させる部品です。

スタビライザ

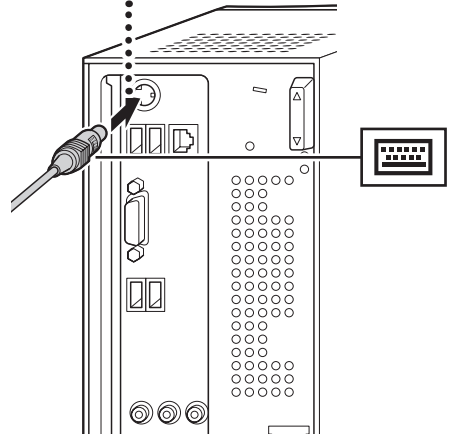
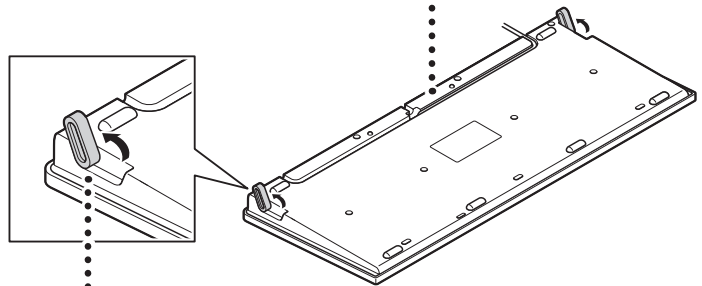
**重要**

**このパソコンは横置きで使用することはできません。**
**必ず縦置きで使用してください。**
**本体の転倒防止のため、スタビライザの取り付けをおすすめします。**

## 1 平らな机やテーブルの上に、本体を横にして置く

本体を横に倒すときは、机やテーブルを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷きます。

## 2 スタビライザのツメを本体底面の穴に合わせてはめる

## 3 矢印の方向にずらす

4 もう片方のツメも同じようにしてはめ込む

## キーボードを接続する

**1 キーボードのプラグをパソコン背面のコネクタに差し込む**

プラグの[キーボードマーク]マークを確認し、プラグの向きをイラストに合わせて差し込んでください。

**2 ケーブルをミゾに通す**

**3 しっかりと固定されるまで足を起こす**

キーボードは足を立てずに使うこともできます。また、ケーブルは左右どちらのミゾに通してもかまいません。

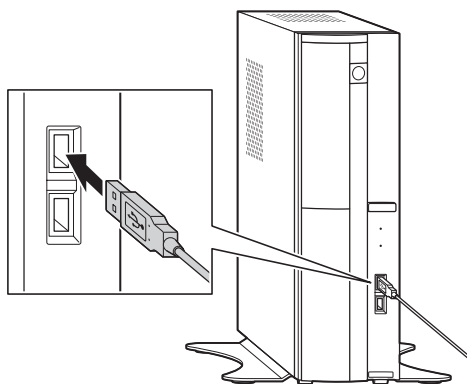
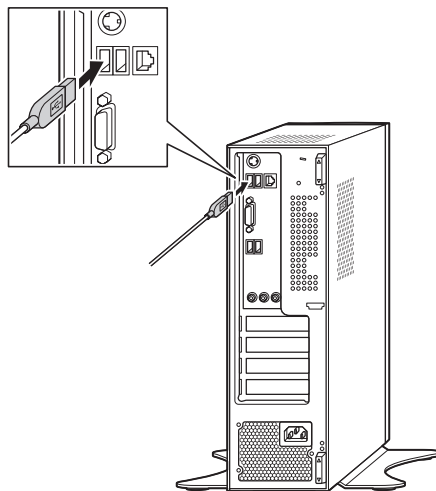
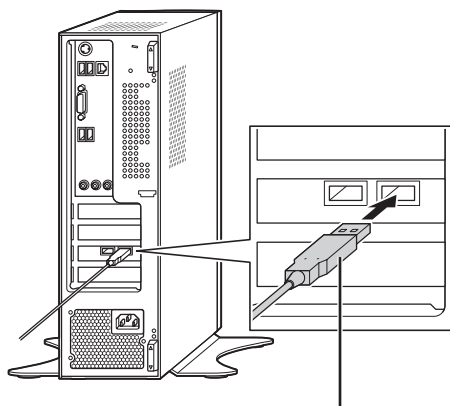
# マウスを接続する

**重要**

- 市販のUSBハブは使用せず、パソコンに直接接続してください。
- マウスをUSB 3.0対応コネクタ(SS⇔)に接続した場合は、再セットアップやWindows修復機能の利用中にマウスを使用できません。

## 1 マウスのプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

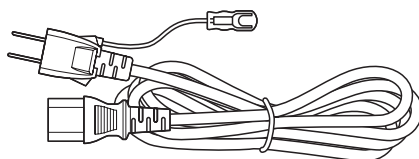
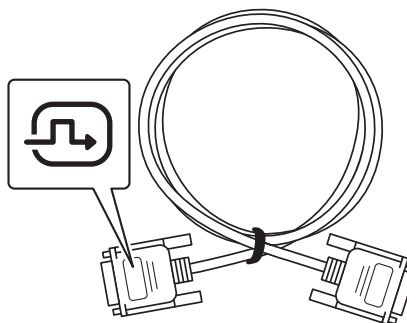
プラグの ⇔ を確認し、プラグの向きを次のイラストに合わせて差し込んでください。

●**本体前面**

●**本体背面**

●**USB 3.0対応コネクタ(搭載モデルのみ)**

# ディスプレイを接続する

ここでは、ディスプレイの接続について説明します。
このマニュアルでは、液晶ディスプレイセットモデルの23型ワイド液晶ディスプレイ:F23W3A(W)および19型ワイド液晶ディスプレイ:F19W2A-Sと接続する例で説明しています。

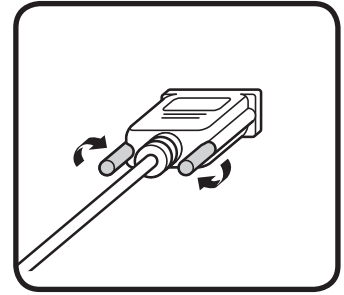
VALUESTAR Gシリーズをご購入のお客様は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』もあわせてご覧ください。

## 接続用のケーブルを確認する

ディスプレイに添付されている次のケーブルをご用意ください。

イラストは、実際の製品とは形状が一部異なります。

## 接続に関するご注意

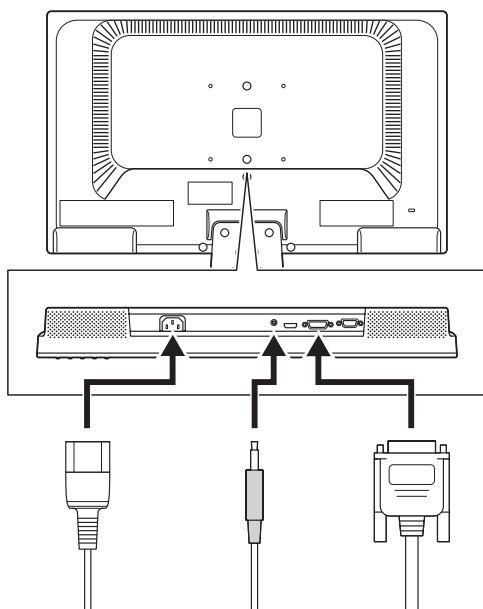
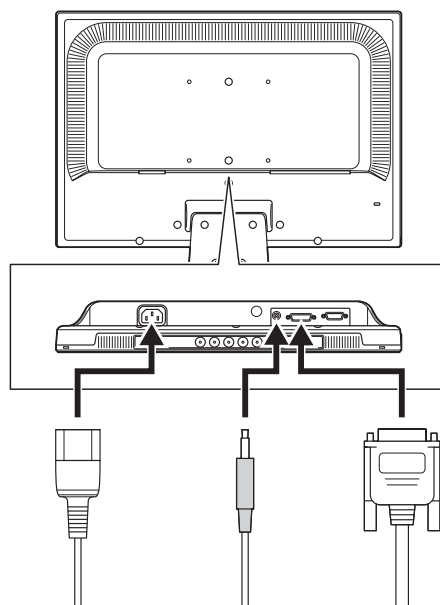
・ケーブルをパソコンやディスプレイに接続するときは、プラグの向きを確認し最後までしっかりと差し込んでください。

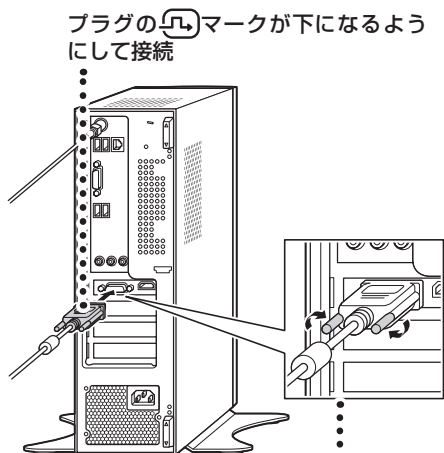
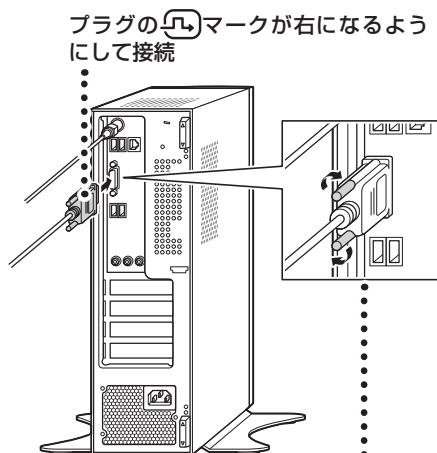
・プラグのネジをしめるときは、左右のネジを交互に少しずつまわして固定してください。片方だけ連続でまわすと、プラグが斜めに固定されてしまうことがあります。

## ケーブルを接続する

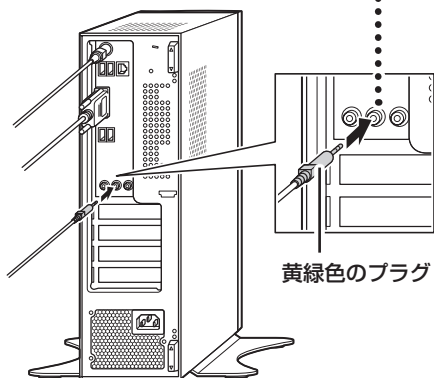
### 電源コードのプラグ、ビデオ信号ケーブル、オーディオケーブル(水色のプラグ)を、図にしたがってディスプレイに差し込む

**重要**

- 電源コードのプラグはまだコンセントには接続しないでください。
- ビデオ信号ケーブルはプラグのマークが見えるようにして接続し、ネジを最後までまわしてしっかり固定してください。

**●F23W3A(W)の場合**

**●F19W2A-Sの場合**

## ビデオ信号ケーブルをパソコン背面のコネクタに差し込む

**●GeForce GT 630を搭載しているモデルの場合**

**●GeForce GT 630を搭載していないモデルの場合**

## 3 2つのネジを最後までまわして、しっかり固定する

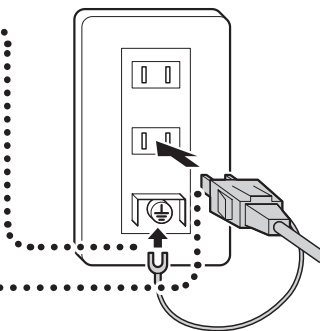
## 4 オーディオケーブルをパソコン背面の音声出力端子に差し込む

これでケーブルの接続は完了です。
次の「電源コードを接続する」に進んでください。

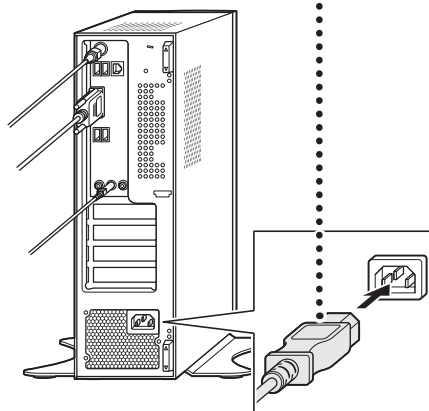
# 電源コードを接続する

ここでは電源コードの接続について説明します。

**重要**

アース端子付きのコンセントが利用できないときは、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

1. ディスプレイの電源コードのアース線を、キャップを外してアース端子に接続する

2. ディスプレイの電源コードのプラグをコンセントに差し込む

3. パソコンの電源コードを、パソコン背面の電源コネクタにプラグの向きを合わせて奥まで差し込む

4. パソコンの電源コードのアース線を、キャップを外してアース端子に接続する

5. パソコンの電源コードのプラグをコンセントに差し込む

**重要**

電源コードを外す際、アース線を接続している場合は、必ず電源コードのプラグを外してからアース線を外してください。

# インターネットへ接続する準備

**このパソコンではダイヤルアップ接続はご利用になれません。回線の変更については回線事業者にお問い合わせください。**

## インターネット接続環境をお持ちのかた

「機器の準備をする」(p.1-16)に進んでください。

## はじめてインターネットを始めるかた

プロバイダとの契約が必要です。プロバイダと契約し回線が開通したら、インターネットへの接続に必要なものを用意してください。
ここでは、光回線を使用する場合を例として説明します。

**●回線事業者やプロバイダから入手した資料**

回線事業者の契約書やプロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードなどの情報がわかる資料を用意してください。
また、接続設定のための説明書やCD-ROMなどがある場合は、それらも用意してください。

**●回線終端装置**

通常は回線事業者が開通時に設置します。お使いの回線によってはない場合もあります。

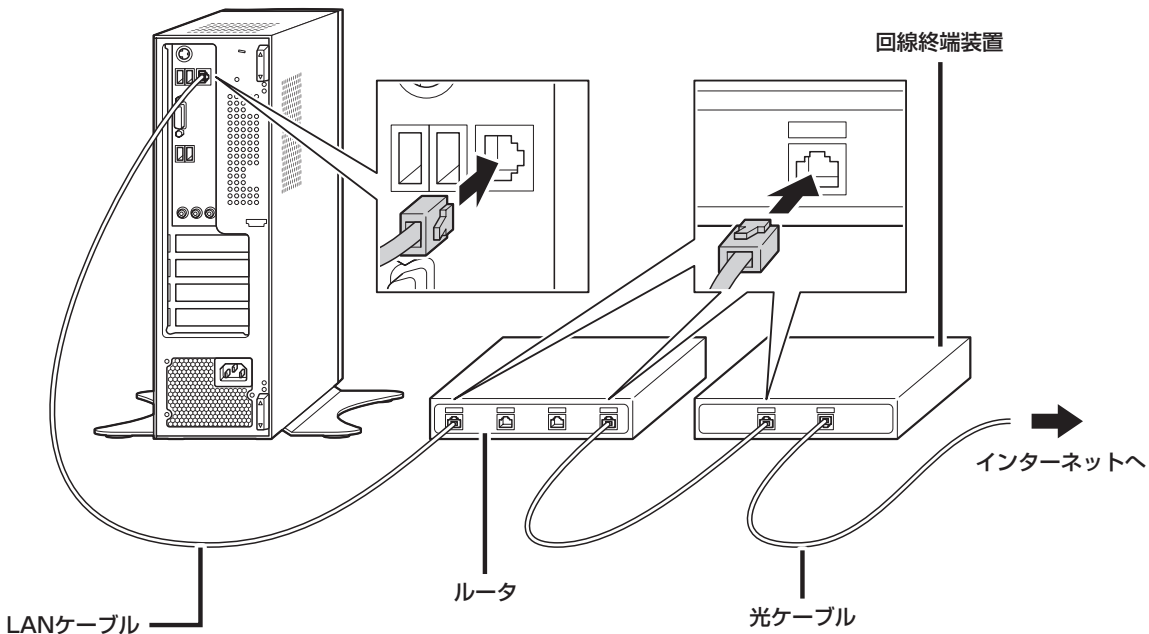
**●ブロードバンドルータ、ワイヤレスLANルータ**

ブロードバンドルータ、ワイヤレスLANルータは、パソコンやゲーム機など2台以上の機器をインターネットに接続する場合に必要な機器です。
プロバイダから送られてくる機器には、ルータの機能が搭載されているものもあります。詳しくは、プロバイダの説明書などで確認してください。

機器を購入される際は、このパソコンと接続ができるかどうかを確認してください。
このパソコンでは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tの有線LANが使用できます。

## 機器の準備をする

ネットワーク機器に添付の説明書や、プロバイダ、回線事業者の説明書などをご覧になり、ネットワーク機器とパソコンを接続し、ネットワーク機器の電源をオンにしてください。

次の図は、光回線を使用する場合の例です。

はじめてインターネットを始めるかたで、ネットワーク機器やパソコンの設定が必要になる場合は、「ルート②でセットアップする」(p.1-28)の手順でパソコンのセットアップを済ませてから、「セットアップ後の設定」(p.1-39)をご覧になり、設定をおこなってください。

周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

**これで接続は完了です。**
**「準備・基本編」の「第2章 セットアップする」に進んでください。**

準備・基本編

第2章

# セットアップする

**この章では、パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業、Windows 8の基本操作について説明します。**

# セットアップ前の準備

**重要 インターネットへ接続する準備は済んでいますか?**

セットアップをおこなうにはインターネットへ接続する必要があります。接続の準備が済んでいない場合は、「インターネットへ接続する準備」(p.1-15)を読んで接続の準備をしてください。

## Windows 8を使用するのに必要なアカウントについて

Windows 8ではパソコンとインターネットのサービスが密接につながっています。Microsoft アカウントを使うことで、パソコンとインターネットのサービスを簡単につなげることができます。またMicrosoft アカウントを使ってサインインしていないと、Windows 8の一部の機能を使用することができません。

**サインインとは**

ユーザーを認証してパソコンやネットワークなどのサービスを利用できる状態にする操作をいいます。

**重要 Microsoft アカウントにはメールアドレスをアカウント名として登録します**

Microsoft アカウントを取得されていないかたは、これからおこなうセットアップで新規に取得してください。現在使用しているメールアドレスも使用可能ですが、新規に取得することをおすすめします。新規に取得することでメールアドレスの認証手順(メールを受け取りリンク先を開く手間)が不要になり、Windows 8標準搭載の新機能がすぐに使えます。Windows Live IDをお持ちの場合は、Microsoft アカウントとして使えます。

**「メール」(Windows ストア アプリ)で使えるメールアドレスについて**

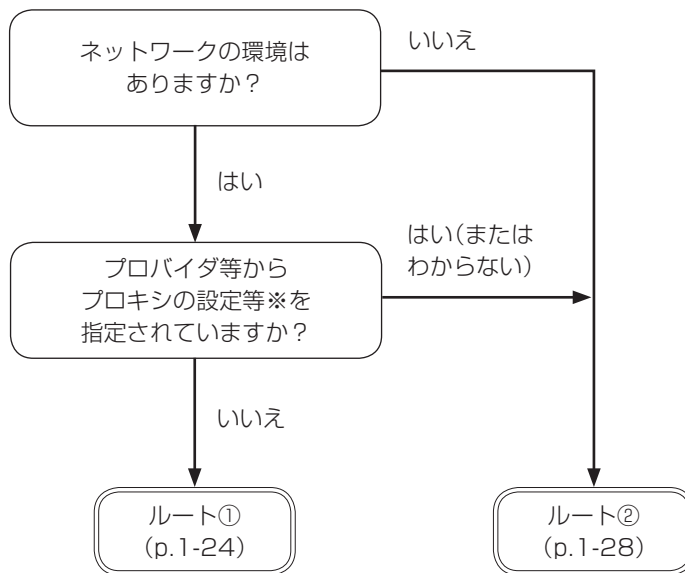
「メール」は、Hotmail、Gmailなどに対応していますが、一般的なプロバイダのメールアドレスには対応していません。Windows 8の対応についてはプロバイダ各社にお問い合わせください。

### Microsoft アカウント取得に必要な情報

Microsoft アカウントを取得する場合、次の情報を入力します。

・ アカウント(新しいメールアドレス)
・ 郵便番号
・ 携帯電話のメールアドレスまたは電話番号
・ 生年月日

## セットアップフロー診断チャート

Windowsのセットアップ方法は、ご購入されたモデルや、ネットワーク環境の有無および種類などにより異なります。次のセットアップフロー診断チャートをご確認の上、セットアップの方法(ルート①(推奨)またはルート②)を決定してください。

※:プロキシ設定等の指定に関しご不明な場合は、ご契約の書類を確認いただくか、プロバイダに直接ご確認ください。

## セットアップフロー

前のページに記載されるそれぞれのセットアップ方法を次の図に示します。推奨のセットアップ方法は「ルート①」です。途中でつまずいたりわからなくなったら「ルート②」へ移り、セットアップを完了させてください。ネットワークの設定やMicrosoft アカウントの取得は後からおこなうこともできます。

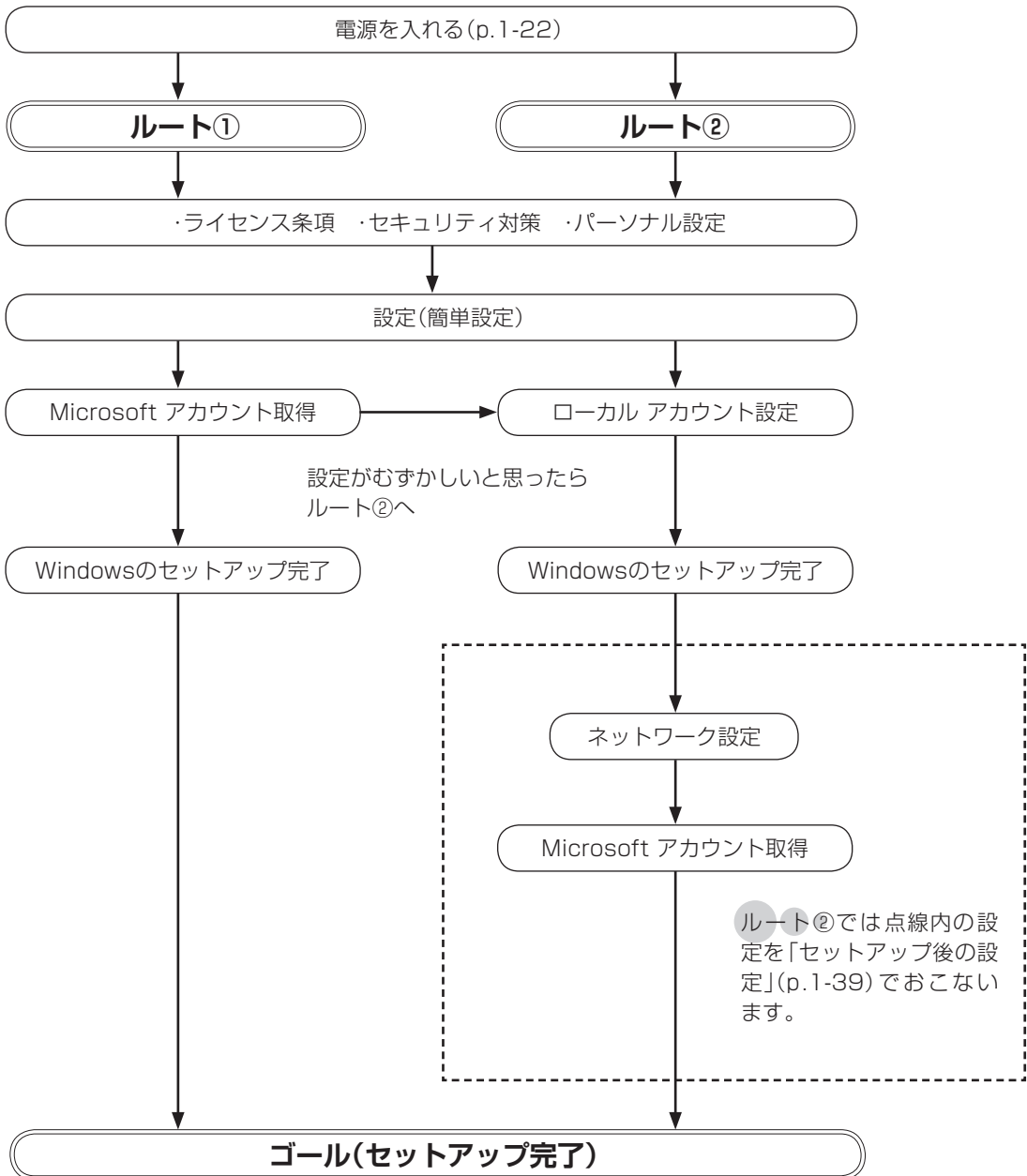
**それぞれのセットアップ方法と所要時間の目安**

・ルート①はWindowsのセットアップ内で、インターネットに接続し、Microsoft アカウントを取得します。
所要時間は約15分〜約20分です。

・ルート②はインターネットに接続しないで、Windowsのセットアップを完了します。
所要時間は約5分〜約10分です。

**重要 ルート②でセットアップした場合**

- インターネットに接続していない状態では、ライセンス認証の画面(p.1-38)が一定時間ごとに表示されます。
- Microsoft アカウントを取得するまで、Windowsの一部の機能が制限されます。

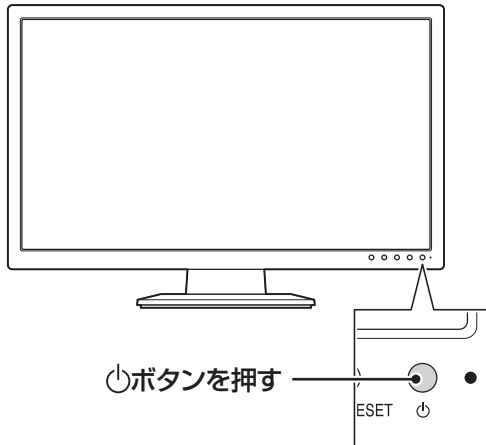
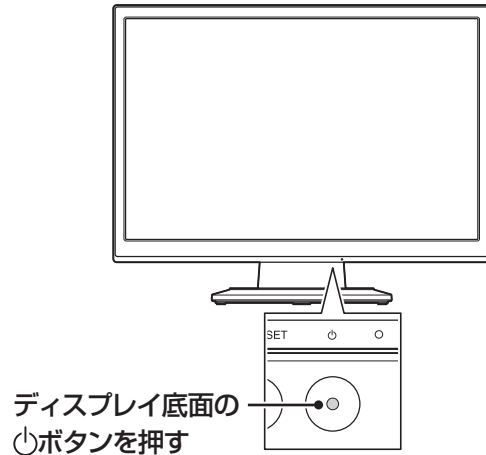
電源を入れる（p.1-22）
ルート①
ルート②
・ライセンス条項　・セキュリティ対策　・パーソナル設定
設定（簡単設定）
Microsoft アカウント取得
ローカル アカウント設定
設定がむずかしいと思ったら
ルート②へ
Windowsのセットアップ完了
Windowsのセットアップ完了
ネットワーク設定
Microsoft アカウント取得
ルート②では点線内の設定を「セットアップ後の設定」（p.1-39）でおこないます。
ゴール（セットアップ完了）

# Windowsをセットアップする

**重要 セットアップ中に電源を切らないでください**

セットアップ中に電源を切ったり、電源コードのプラグを抜くと故障の原因になります。p.1-27またはp.1-30の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードのプラグを抜いたりしないでください。
また、セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。

## 電源を入れる

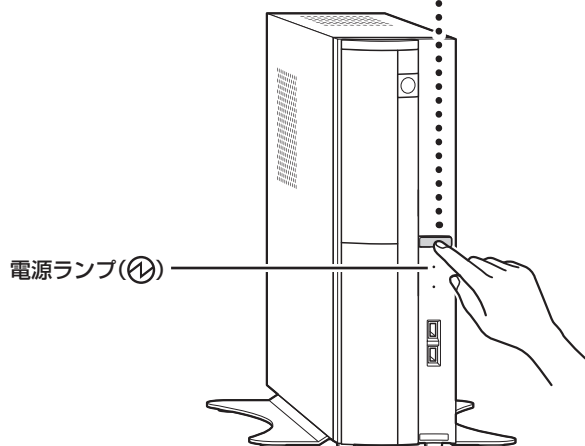
### 1 ディスプレイの電源を入れる

**23型:F23W3A(W)の場合**

**19型:F19W2A-Sの場合**

・電源スイッチを押しても、ディスプレイの電源ランプが点灯しない場合、電源コードが正しく接続されていないことが考えられます。「準備・基本編」第1章の「電源コードを接続する」(p.1-14)をご覧ください。
・パソコン本体の電源を入れるまで、ディスプレイには何も表示されません。

**液晶ディスプレイの黒点や常時点灯する赤、青、緑の点(ドット抜け)について**

液晶ディスプレイ画面の一部に生じるドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)は液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。詳しくは付録の「アフターケアについて」(p.3-3)をご覧ください。

## 2 パソコン本体の電源スイッチ(⏻)を押す

電源が入ると、電源ランプ(⏻)が点灯します。

## 3 「ライセンス条項」の画面(p.1-24または p.1-28)が表示されるまで待つ

「ライセンス条項」の画面が表示されたら、ルート①(p.1-24)またはルート②(p.1-28)の手順に進みます。

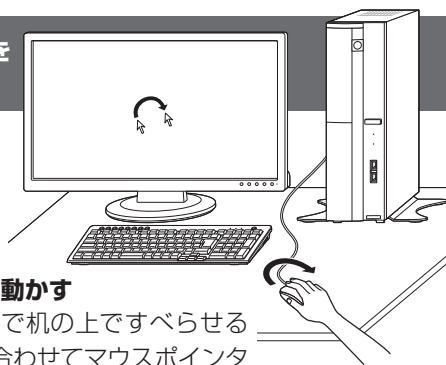
電源スイッチを押してから、画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

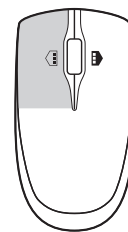
**「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示されたとき**

次のページをご覧ください。「セットアップの画面が表示されないときは」(p.1-31)

**「Keyboard not found Press F1 to continue boot process」と表示されたとき**

キーボードが正しく接続されていない可能性があります。パソコン本体の電源スイッチを押していったん電源を切り、キーボードを接続しなおしてから、再度電源を入れてください。

**はじめてパソコンを操作するかたへ**

**画面の矢印 を動かす**

マウスをつかんで机の上ですべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

**クリック**

マウスポインタを目的の位置に合わせてマウスの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

# ルート①でセットアップする

**重要 インターネットへ接続する準備は済んでいますか？**

セットアップをおこなうにはインターネットへ接続する必要があります。接続の準備が済んでいない場合は、「インターネットへ接続する準備」(p.1-15)を読んで接続の準備をしてください。

1 「Windows を使うためのライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にする

2 「同意する」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

3 使用許諾の内容を確認し、「次へ」をクリックする

4 PC名を入力する

5 「次へ」をクリックする

**PC名について**

パソコンに付ける任意の名称です。半角英数字で15文字までのお好みの名前を付けてください。

**ネットワークに接続するとき**

PC名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。PC名が同じパソコンがあるときは、別のPC名を入力してください。

## 6 「簡単設定を使う」をクリックする

## 7 「メールアドレスを新規登録」をクリックする

設定がよくわからない場合は「Microsoft アカウントを使わずにサインインする」をクリックし、次に表示される画面で「ローカルアカウント」をクリックしてルート②の手順7(p.1-29)へ進んでください。

**重要 Microsoft アカウントをすでにお持ちの場合は**

Microsoft アカウントをすでにお持ちの場合は画面の案内に沿って進めてください。Windows Live IDをお持ちの場合は、Microsoft アカウントとして使えます。

次の項目を入力します。
入力が完了したらセットアップは完了です。

- メールアドレス
- パスワード(Microsoft アカウントで使用しているパスワード)
- セキュリティ確認情報(p.1-27)

**重要 Microsoft アカウントをここで登録しないときは**

以降の画面で「キャンセル」をクリックするとMicrosoft アカウントの新規登録を中止できます。

## 8 Microsoft アカウントとして使用する任意のアカウント名を入力する

ここで入力するアカウントはメールアドレスとして使います。入力可能な文字は、半角英数字と.(ピリオド)、-(ハイフン)、_(下線)です。

## 9 登録するMicrosoft アカウントを次の欄に書きこむ

Microsoft アカウント▼

## 10 パスワードを入力する

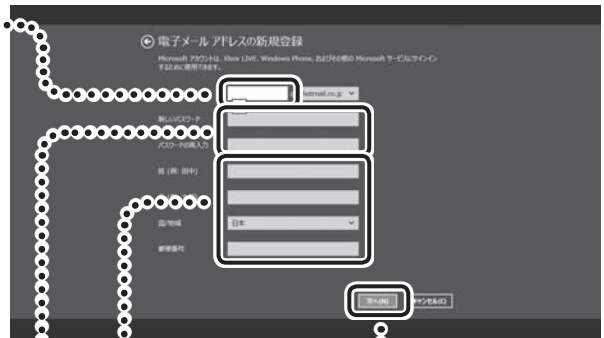
ここでは、Microsoft アカウント用のパスワードを新しく入力します。半角16文字まで入力可能です。大文字、小文字、数字、記号を組み合わせてください。

## 11 名前、郵便番号を入力する

**重要**

**入力した名前はサインイン時の表示名になります。スタート画面で常に表示されることを考えて入力することをおすすめします。**

郵便番号は半角で入力してください。- (ハイフン)はあってもなくてもかまいません。

## 12 「次へ」をクリックする

## 13 セキュリティ確認情報を入力する

**重要 セキュリティ確認情報とは**

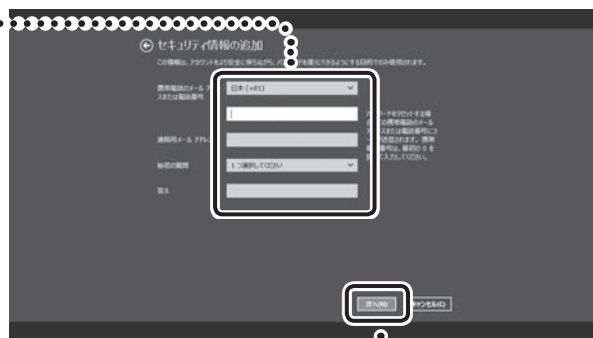
パソコンを安全に保つためや、パスワードを忘れてしまったときなどのために、次の中から2つの個人情報を入力する必要があります。

- 携帯電話のメールアドレスか電話番号
- 連絡用のメールアドレス
- 秘密の質問と答え

**電話番号について**

・ 携帯電話の電話番号を入力する際は、先頭の0を省略してください。
・ -（ハイフン）は省いて入力してください。

**連絡用のメールアドレスについて**

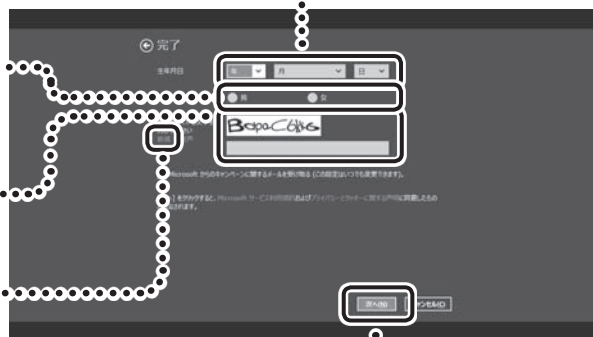
すでにお持ちのメールアドレスがあればそれを入力します。

## 14 「次へ」をクリックする

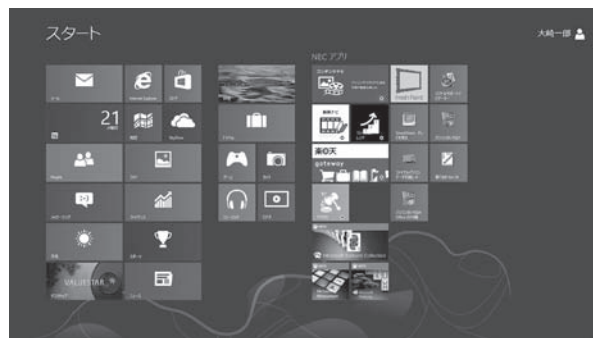
## 15 生年月日を選択する

## 16 性別の○をクリックして◉にする

## 17 画面に表示されている文字を入力する

**文字が読めない場合には**

自動読み取りによる登録を防ぐため読みにくくなっています。何度か試しても先に進めない場合には「新規」をクリックしてください。新しい文字列が表示されます。

## 18 「次へ」をクリックする

スタート画面が表示されたら、Windowsのセットアップは完了です。
画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

「Smart Update」の画面が表示されたら 参照 「Smart Updateについて」(p.1-53)
「ウイルスバスター」の画面が表示されたら 参照 「ウイルス対策をする」(p.1-51)

**「Windows 8の主な画面操作について」(p.1-32)に進んでください。**

セットアップする

## ルート②でセットアップする

1 「Windows を使うためのライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にする

2 「同意する」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

3 使用許諾の内容を確認し、「次へ」をクリックする

4 PC名を入力する

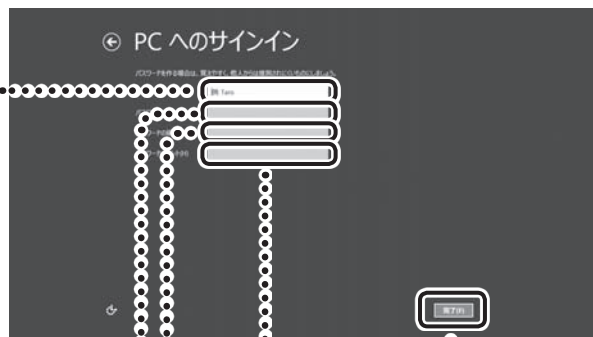
5 「次へ」をクリックする

**PC名について**
パソコンに付ける任意の名称です。半角英数字で15文字までのお好みの名前を付けてください。

**ネットワークに接続するとき**
PC名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。PC名が同じパソコンがあるときは、別のPC名を入力してください。

**6 「簡単設定を使う」をクリックする**

**7 半角英数字（a～z、A～Z、0～9）でユーザー名を入力する**

**入力してはいけない文字列**
次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
CON、PRN、AUX、CLOCK $、NUL、COM1～COM9、LPT1～LPT9、NONE

**8 入力したユーザー名を次の欄に書き込む**

ユーザー名▼

| |
|---|
| |

**ユーザー名は必ず控えてください**
セットアップ作業をやりなおす（再セットアップする）など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。

**9 この欄をクリックして、キーボードでパスワードを入力する**

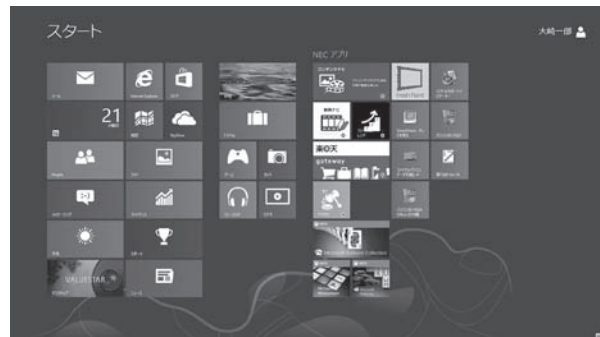
半角127文字まで入力可能です。大文字、小文字、数字、記号を組み合わせてください。

**10 この欄をクリックして、手順9で入力したパスワードと同じものをもう一度入力する**

**11 パスワードのヒントを入力する**

パスワードを忘れた場合に、思い出すためのキーワードを入力します。

**12 「完了」をクリックする**

スタート画面が表示されたら、Windowsのセットアップは完了です。
画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

「Smart Update」の画面が表示されたら 参照 「Smart Updateについて」(p.1-53)
「ウイルスバスター」の画面が表示されたら 参照 「ウイルス対策をする」(p.1-51)

**「Windows 8の主な画面操作について」(p.1-32)に進んでください。**

## セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

**1 【F2】を押す**

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

**2 【+】、【−】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**

時刻の値は数字キーでも入力できます。

**3 【Tab】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

**4 【F9】を押す**

セットアップ確認の画面が表示されます。

**5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す**

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

**6 【F10】を押す**

セットアップ確認の画面が表示されます。

**7 「Yes」を選択し、【Enter】を押す**

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、「Windowsをセットアップする」のルート①の手順(p.1-24)またはルート②の手順(p.1-28)をご覧になり、作業を続けてください。

# Windows 8の主な画面操作について

Windows 8には、大きく次の2つの画面があります。
・スマートフォンと同じような操作ができる「スタート画面」
・これまでのWindowsと同じ操作体系をもつ「デスクトップ」
ここではスタート画面の主な画面操作について説明します。

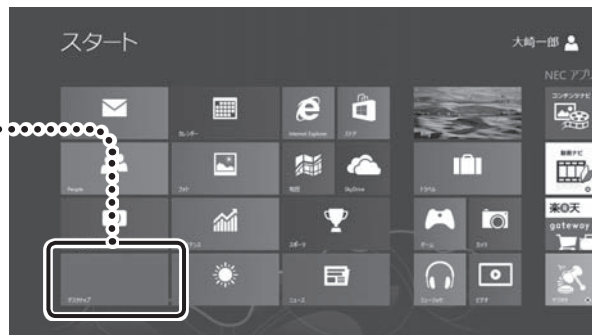
画面操作については『あんしんスタートWindows 8』もあわせてご覧ください。
また、より詳しい操作方法が動画で見られます。
「Windows 8の使い方」について 参照 「動画で学ぶ」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号94000001 で検索

## スタート画面とデスクトップの切り換え

スタート画面とデスクトップは次のように切り換えます。

### スタート画面からデスクトップに切り換える（起動する）

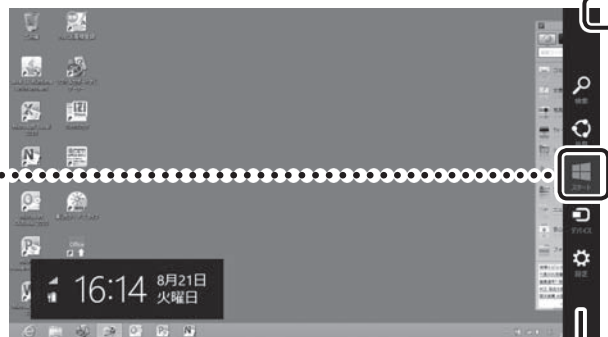
**1** 「デスクトップ」をクリックする

すでにデスクトップが起動されている場合も同じ手順でできます。

## デスクトップからスタート画面に切り換える

**1 画面右上の隅をマウスポインタで指す**

チャーム バーが表示されます。

**2 「スタート」をクリックする**

スタート画面に戻ります。

## アプリ間を切り換えるには

実際に使い始めるとスタート画面とデスクトップ間の切り換えではなく、アプリからアプリに移動する使い方が多くなります。複数のアプリを起動しているときこれらを切り換えるには次のようにします。

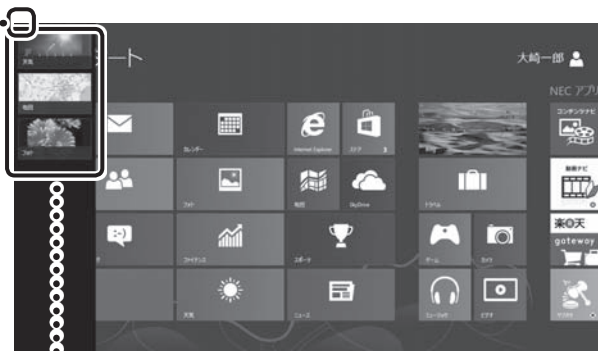
**1 画面左上の隅をマウスポインタで指す**

**2 マウスポインタを下方向に移動する**

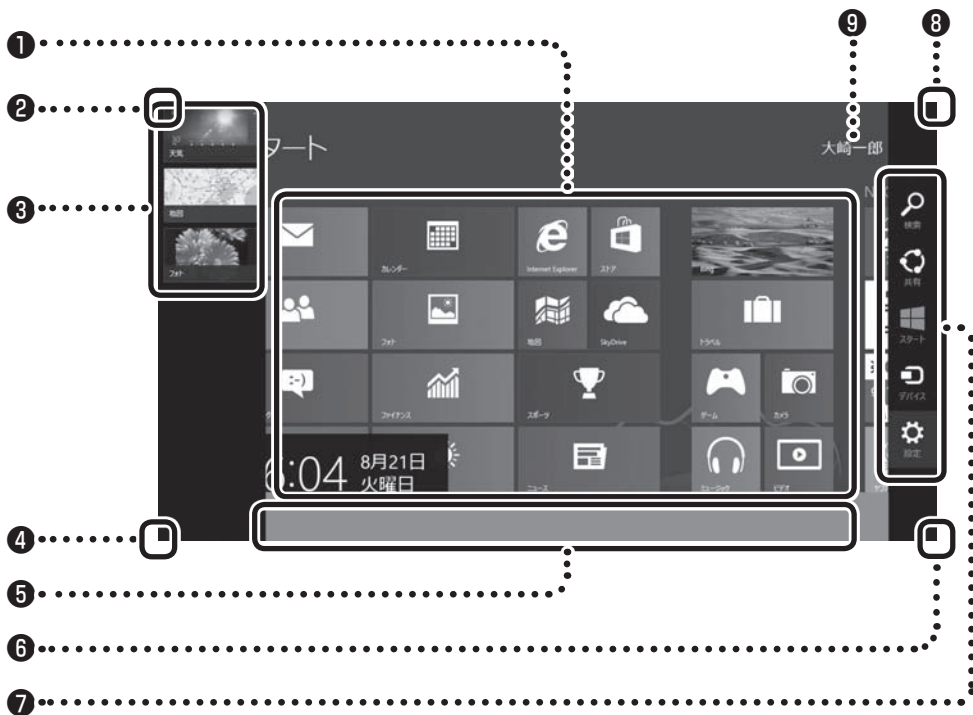
複数のアプリが表示されます。

このバーのサムネイル表示以外の領域をクリックすると、バーの表示が固定されます。

**3 起動したいアプリ(サムネイル)をクリックする**

起動しているアプリがひとつだけの場合にはサムネイルがひとつだけ左上に表示されます。

# スタート画面の基本操作

**重要**

**下記の画面は説明用の画面です。実際には、このように表示されることはありません。**

## ❶タイル

タイルをクリックすることでアプリが起動します。

すべてのアプリを表示するには、スタート画面のユーザー名以外の部分を右クリックして表示されるアプリ バーの「すべてのアプリ」をクリックします。

## ❷左上

画面左上の隅をマウスポインタで指すと、直前に使用したアプリ（起動中のアプリ）のサムネイルが表示されます。クリックするとそのアプリに切り換わります。

## ❸左側面

複数のアプリを起動している場合、マウスポインタを左上の隅に合わせ、下に動かすと起動しているアプリがサムネイルで表示されます。クリックするとそのアプリに切り換わります。

このバーのサムネイル表示以外の領域をクリックすると、バーの表示が固定されます。

## ❹左下

マウスポインタで左下の隅を指すと直前に開いた（閉じていない）画面のサムネイルが表示されます。そのままクリックするとその画面に切り換わります。
スタート画面以外の画面を開いている場合は、ここをクリックするといつでもスタート画面に戻れます。

### ❺アプリ バー
画面を右クリックするとアプリ バーが表示されます。
表示されている画面に応じたコマンドやオプションなどのメニューを表示します。

アプリ バーはアプリの状況に応じて自動で表示されることもあります。

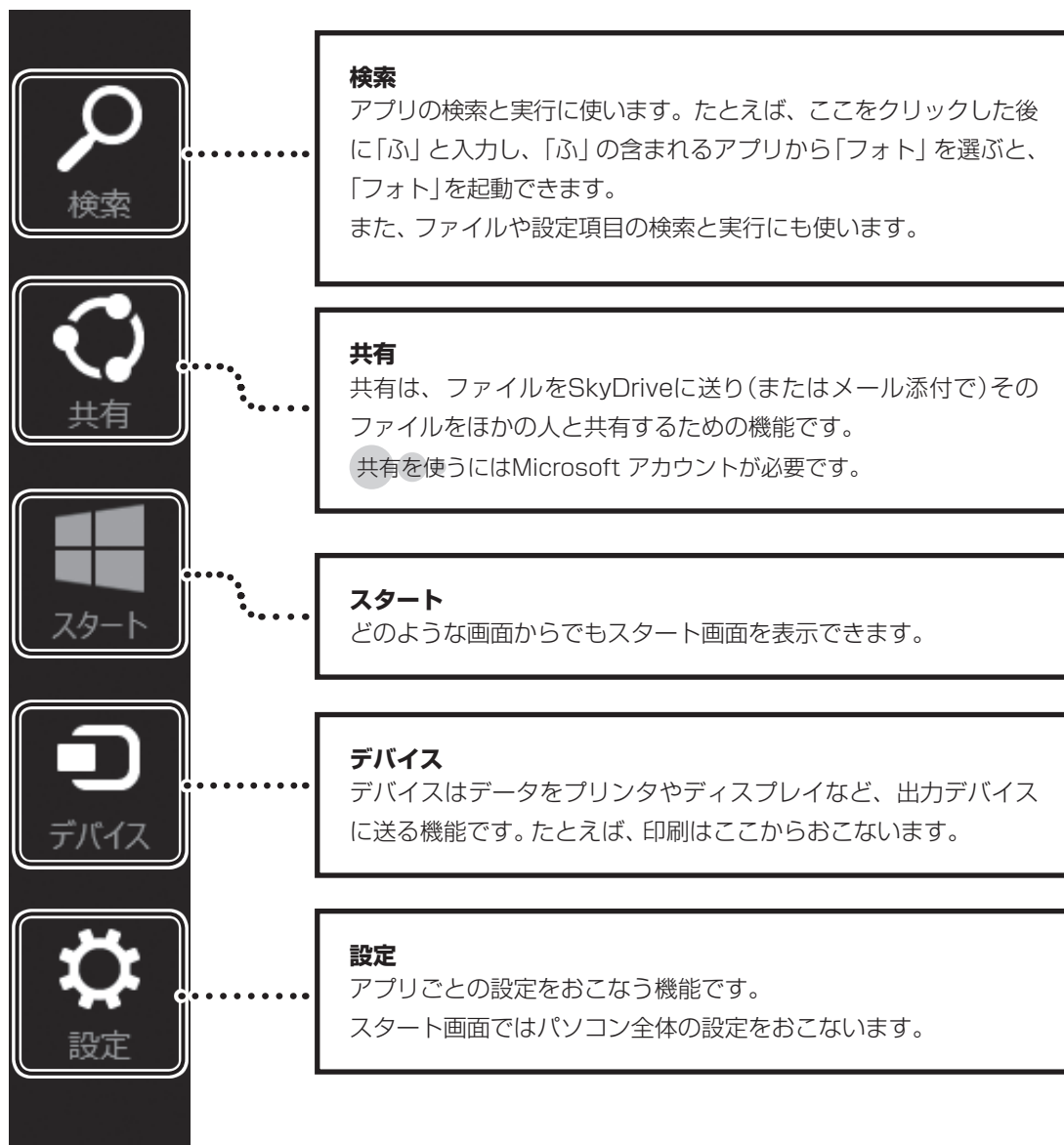
### ❻右下
「－」をクリックするとタイルが縮小表示されます。

### ❼チャーム バー
画面の右上の隅をマウスポインタで指すとチャーム バーが表示されます。
チャームについては、この後の「チャームについて」をご覧ください。

### ❽右上
マウスポインタを右上におくとチャーム バーが表示されます。

### ❾サインイン中のアカウント表示
クリックすると、サインアウトやロックがおこなえます。

## チャームについて

画面右上の隅をマウスポインタで指すとチャーム バーが表示されます。
チャーム バーはスタート画面ではWindows全般に関してのメインメニューとして機能します。アプリの起動中には、そのアプリに対応したメニューとして機能します。チャーム バーのメニューを使用するには、チャーム バーが表示された後、クリックせずにマウスポインタを下に下げます。

チャーム バーを表示すると、日付、時刻、ネットワークの接続状態の情報も表示されます。

# この後の操作について

この後おこなう設定や操作は、パソコンの状態によって異なります。

## この後の操作について

- パソコンの画面でマニュアルを見る
  参照「準備・基本編」第3章の「ソフト＆サポートナビゲーター(画面で見るマニュアル)」(p.1-56)
- パソコンを活用する
  参照「準備・基本編」の「第4章 よくある質問」(p.1-69)
- パソコンを終了する
  参照「パソコンを終了する」(p.1-45)

## 「Windowsのライセンス認証」画面が表示されたら

次のような画面が出たら「PC の設定を開く」をクリックしてください。ライセンス認証はインターネットに接続することにより自動でおこなわれます。インターネットに接続するまでは、その都度「PC設定」を終了させてください。

ライセンス認証をおこなわないと、この画面が一定時間ごとに表示されます。

# セットアップ後の設定

ここではセットアップ後の補足説明をしています。
次のような場合、ここで記載される手順をおこなってください。

**●初回セットアップ時にネットワーク設定がなかった**

参照 「セットアップ後にネットワーク設定をおこなう」

**●初回セットアップ時にMicrosoft アカウントをとらなかった**

参照 「セットアップ後にMicrosoft アカウントを取得する」(p.1-40)

## セットアップ後にネットワーク設定をおこなう

初回セットアップ時にインターネットへの接続環境がなかった場合や、ネットワーク機器やパソコンの設定が必要でインターネットへの接続ができなかった場合は、「準備・基本編」第1章の「インターネットへ接続する準備」(p.1-15)をご覧になり、ネットワーク機器の準備やパソコンとの接続をおこなってください。
その後で、ネットワーク機器に添付の説明書や、プロバイダ、回線事業者の説明書などをご覧になり、ネットワーク機器やパソコンの設定をおこなってください。
設定後、インターネットに接続するなどして、正常につながることを確認してください。

有線LANを使ってインターネットに接続する場合 参照 「LANについて」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索

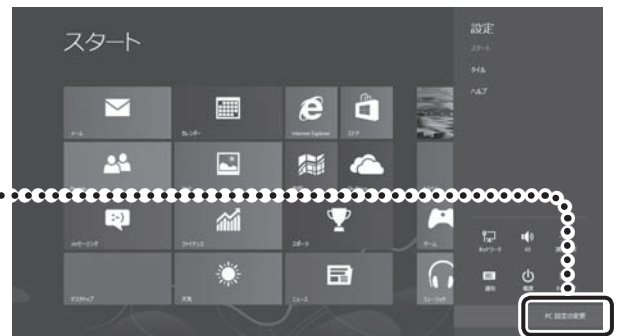
## セットアップ後にMicrosoft アカウントを取得する

Microsoft アカウントを作成しなくても(ローカル アカウントのみでも)パソコンは使えますが、クラウド接続やストア利用、ファイル共有、同期などWindows 8ならではの機能や使い方が制限されてしまいます。ここでは、ローカル アカウントでサインインしている状態からマイクロソフト社の無料メールアドレスを新規に作成し、Microsoft アカウントでサインインしなおす手順を説明します。

Microsoft アカウントは、マイクロソフト社の提供する無料のメールアドレスを使うと便利です。ふだん使っているメールアドレスを使うこともできます。

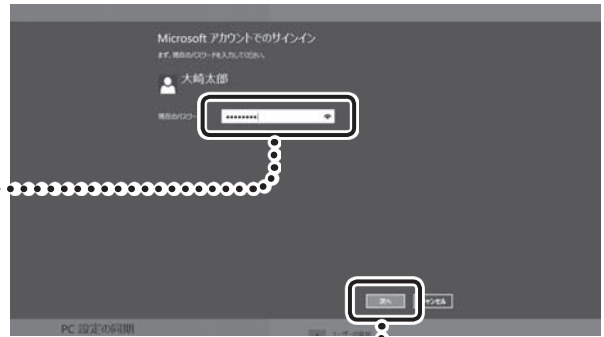
**1 画面右上の隅をマウスポインタで指す**

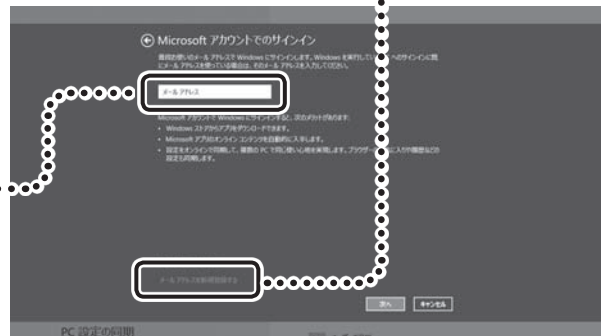
チャーム バーが表示されます。

**2 「設定」をクリックする**

**3 「PC設定の変更」をクリックする**

**4 「ユーザー」をクリックする**

**5 「Microsoft アカウントへの切り替え」をクリックする**

6 セットアップで設定したローカル アカウントのパスワードを入力する

7 「次へ」をクリックする

8 「メールアドレスを新規登録する」をクリックする

**重要 Windows Live IDについて**

Windows Live IDをお持ちの場合は、Microsoft アカウントとして使えます。

## 9 Microsoft アカウントとして使用する任意のアカウント名を入力する

ここで入力するアカウントはメールアドレスとして使います。入力可能な文字は、半角英数字と.(ピリオド)、-(ハイフン)、_(下線)です。

## 10 登録するMicrosoft アカウントを次の欄に書きこむ

Microsoft アカウント▼

## 11 パスワードを入力する

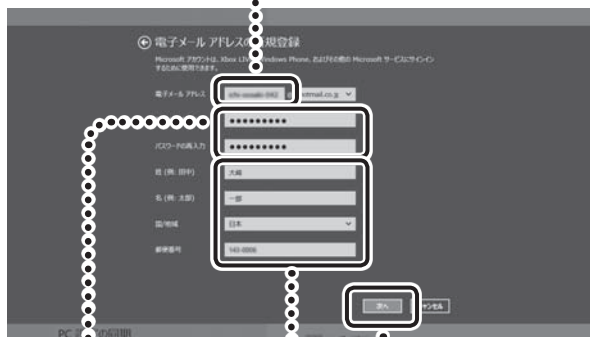
ここでは、Microsoft アカウント用のパスワードを新しく入力します。半角16文字まで入力可能です。大文字、小文字、数字、記号を組み合わせてください。

## 12 名前、郵便番号を入力する

**重要**

**入力した名前はサインイン時の表示名になります。スタート画面で常に表示されることを考えて入力することをおすすめします。**

郵便番号は半角で入力してください。-（ハイフン）はあってもなくてもかまいません。

## 13 「次へ」をクリックする

## 14 セキュリティ確認情報を入力する

**重要 セキュリティ確認情報とは**

パソコンを安全に保つためや、パスワードを忘れてしまったときなどのために、次の中から2つの個人情報を入力する必要があります。

- 携帯電話のメールアドレスか電話番号
- 連絡用のメールアドレス
- 秘密の質問と答え

**電話番号について**

・携帯電話の電話番号を入力する際は、先頭の0を省略してください。
・-(ハイフン)は省いて入力してください。

**連絡用のメールアドレスについて**

すでにお持ちのメールアドレスがあればそれを入力します。

## 15 「次へ」をクリックする

## 16 生年月日を選択する

## 17 性別の○をクリックして◉にする

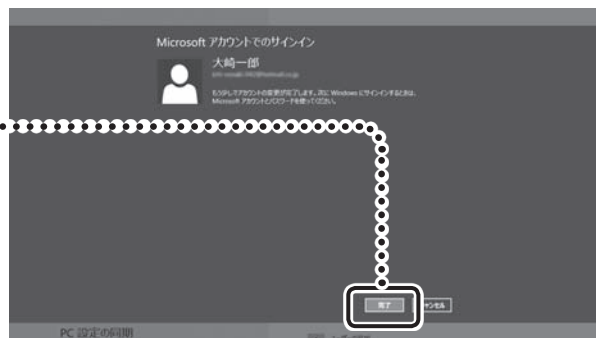
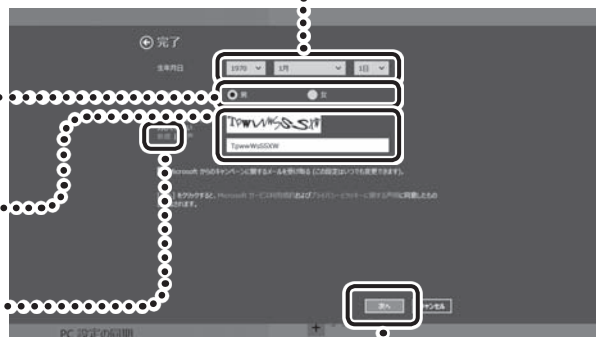
## 18 画面に表示されている文字を入力する

**文字が読めない場合には**

自動読み取りによる登録を防ぐため読みにくくなっています。何度か試しても先に進めない場合には「新規」をクリックしてください。新しい文字列が表示されます。

## 19 「次へ」をクリックする

## 20 「Microsoft アカウントでのサインイン」の画面が表示されたら「完了」をクリックする

Microsoft アカウント登録と、そのアカウントでのサインインが完了します。

## 21 「お使いのアカウント」に設定されている情報を確認する

アカウントイメージは、お好みの写真を設定することもできます。

## 22 チャーム バーを表示させ、「スタート」をクリックする

スタート画面に移動します。

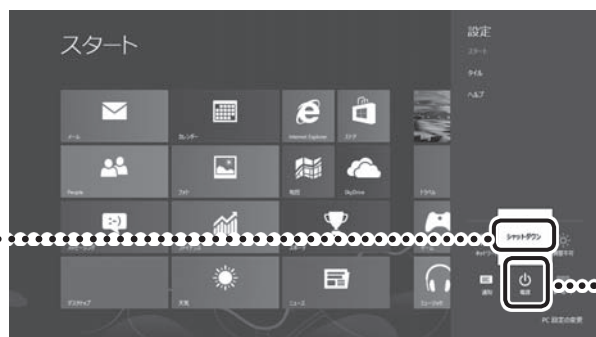
**重要**

**スタート画面に移動する代わりに、「PC 設定」を終了（アプリを閉じる）してもかまいません。画面上部をクリックし、画面の一番下までドラッグすることで閉じることができます。**

# パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常は、マウスを使ってパソコンを終了してください。本体のスイッチやボタンでパソコンの電源を切らないでください。

## パソコンの電源を切る

1. チャーム バーを表示し、「設定」をクリックする
2. ⏻をクリックする
3. 「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これで電源が切れました。

ロック画面が表示されているときは、ロック画面をクリックしてサインインの画面を表示してから、画面右下にある⏻をクリックしてください。

**重要**

- **メモリの増設や交換などで、パソコンの電源を切る必要がある場合は、「高速スタートアップ」を無効にする必要があります。**
- **Windows Update、ドライバやソフトのインストール後に再起動が必要な場合は、メッセージにしたがって「再起動」を必ず実行してください。**

高速スタートアップについて 参照 「内部メモリの増設」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93020130 で検索

## 画面からの操作で電源が切れないとき

画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でマウス、キーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、次の方法で電源を切ることができます。

**重要 アクセスランプを確認してください**

**強制的に電源を切る場合は、内蔵ドライブアクセスランプ( )やメディアアクセスランプなどが点灯していないことを確認してください。また、各種メディアは取り出しておいてください。**

内蔵ドライブアクセスランプ、メディアアクセスランプについて 参照 「各部の名称」(p.vii)

**重要 強制終了はできるだけ避けてください**

**パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。**

1. パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続ける

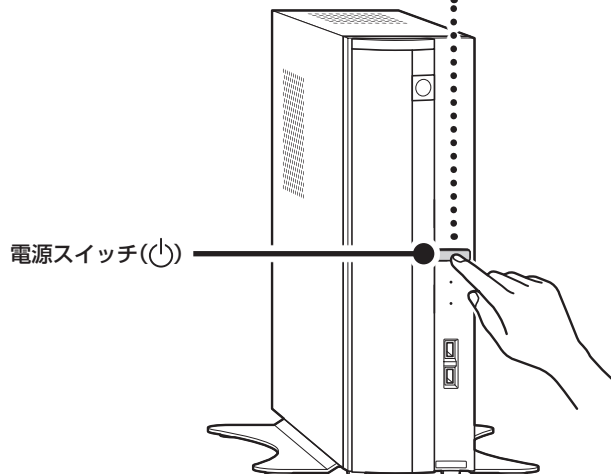
2. 電源が切れてから5秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押す

3. パソコンの電源が入り、Windowsが起動したら、改めて前の「パソコンの電源を切る」(p.1-45)の操作で電源を切る

# パソコンの電源を入れる

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

## 1 電源スイッチ(⏻)を押す

電源スイッチ(⏻)

## 2 ロック画面をクリックする

電源を入れ、最初に表示される写真の画面を「ロック画面」といいます。

## 3 パスワードを入力し、【Enter】を押す

スタート画面が表示されます。

パソコンに複数のユーザー アカウントを作成したときは、この手順の前にアカウントを選択する画面が表示されることがあります。

# Office 2010モデルを ご購入いただいたお客様へ

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキー入力やライセンス認証が必要となります。

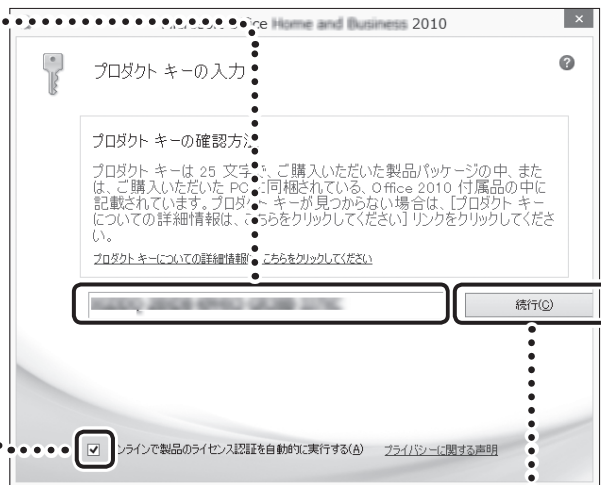
ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

**重要**

Microsoft Office 2010をWindows 8でお使いになる場合、Microsoft Office IME 2010はご使用になれません(自動的に無効になります)。

## プロダクトキーの入力について

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキーを入力する必要があります。

1. プロダクトキー(25文字の英数字)を入力する
2. チェックが入っていることを確認する
3. 「続行」をクリックする

**重要 プロダクトキーの記載場所について**

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中に入っているDVD-ROMケースに記載されています。

**重要 ライセンス条項が表示されたら**

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示された場合は、条項の内容に同意の上、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

画面はモデルによって異なります。

## ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、プロダクトキーの入力後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。ライセンス認証について、詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

**! 重要 ライセンス認証しないと**

**30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。**

**! 重要 パッケージは大切に保管してください**

**再セットアップや「Microsoft Office 2010」を再インストールした場合は、プロダクトキー入力やライセンス認証も再度必要となります。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。**

## 64ビット版「Microsoft Office 2010」の追加について

64ビット版「Microsoft Office 2010」を使用するには、インストールされている32ビット版「Microsoft Office 2010」をアンインストールしてから、別途インストールする必要があります。
詳しくは、「Microsoft Office 2010」に含まれる各ソフト(「Word 2010」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94130923 で検索)など)をご覧ください。

# 電子メールを設定する

電子メールの設定のしかたについては「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

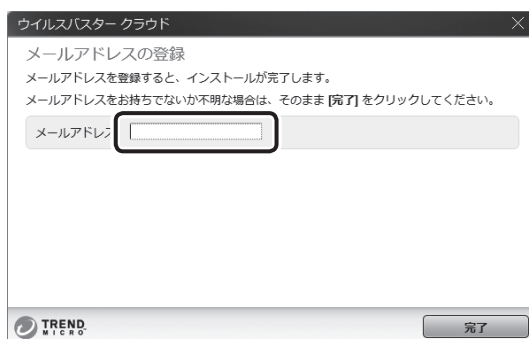
電子メールを設定するには 参照 「メールの設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91070040 で検索

# ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。このパソコンにはウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」がインストールされています。「ウイルスバスター」でウイルス対策を始めるための手順について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

ウイルス対策を始めるための詳しい手順について 参照 「ウイルスからパソコンを守る」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91040010 で検索

**重要 無料試用期間について**

「Windowsをセットアップする」(p.1-22)でウイルスバスターの使用許諾に同意した場合には、デスクトップに次の画面が表示されたときに、メールアドレスを入力することでユーザー登録をすることができます。
メールアドレスをお持ちでない場合はそのまま「完了」をクリックしてください。メールアドレスの入力がない場合でも「ウイルスバスター」の登録は完了します。

ユーザー登録をした日から90日間、ウイルスバスターを無料で試用することができます(その間、アップデートは自動的におこなわれます)。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。

**重要 ウイルス対策ソフトの使用許諾をされなかった場合**

「Windowsをセットアップする」(p.1-22)でウイルスバスターの使用許諾に同意されなかった、または項目をスキップされた場合は、ウイルスバスターは動作していないため、セキュリティ対策がない状態となります。

- ウイルスバスター以外のセキュリティ対策ソフトを使用される場合は、ソフトインストーラでウイルスバスターを削除した後、セキュリティ対策ソフトをインストールしてください。
- ウイルスバスターを使用される場合は、Windowsの起動時にデスクトップに表示されるウイルスバスターのウィンドウから「使用開始」をクリックするか、デスクトップの「ウイルスバスターの登録」アイコン( )をダブルクリックして、ユーザー登録をしてください。

**重要 インターネット接続を従量制で契約されているかたへ**

ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

## その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

**●Windows Updateをする**
このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

パソコンを最新の状態に保つには 参照 「Windows Updateを使って更新する」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91060030 で検索

**●ファイアウォール機能を使う**
ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」に加え「ウイルスバスター」のファイアウォールチューナー機能を追加で使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」のみが有効になっています。

不正アクセスから守るためには 参照 「ファイアウォールで不正アクセスを防ぐ」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91050010 で検索

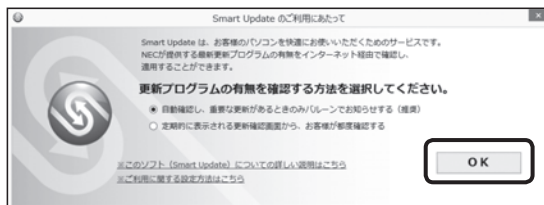
「ソフト＆サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

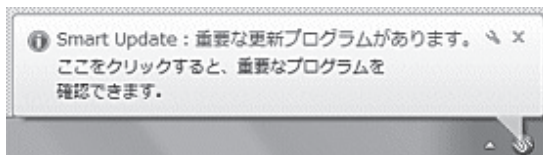
パソコンを安全に使うために 参照 「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010 で検索

# Smart Updateについて

「Smart Update」は、パソコンを快適にお使いいただくための更新プログラムをインターネット上で自動的に確認し、必要に応じてアップデートをおこなうためのサービスです。ご利用になるには、インターネット接続が必要です。

## Smart Updateの画面が表示されたら

セットアップ後、デスクトップに次の画面が表示されます。

「自動確認し、重要な更新があるときのみバルーンでお知らせする（推奨）」が◉になっていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

更新が必要なプログラムがある場合は、次のように画面右下の通知領域にメッセージで通知します。

## 更新プログラムを適用する

更新プログラムの適用は次の手順でおこなってください。

**重要 更新プログラムを適用する前に**

**更新プログラムを確実に適用するために、ほかのソフトを終了してから作業をおこなってください。**

### 1 デスクトップの通知領域のメッセージをクリックする

「Smart Update 重要な更新プログラム」が表示されます。

**「重要な更新プログラム」が表示されない場合**

通知領域のメッセージをクリックしても「重要な更新プログラム」が表示されない場合は、アプリ画面からSmart Updateを起動してください。

### 2 「重要な更新プログラム」に「「重要な更新プログラム」が○件あります。」と表示されていることを確認し、「今すぐ適用する」をクリックする

「ユーザー アカウント制御」が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

この後は、画面の表示をご覧になり、必要な更新プログラムの適用をおこなってください。

**重要 手動による更新について**

**一部の「重要な更新プログラム」は「手動」で適用していただく場合があります。**

「Smart Update」について 参照 「Smart Updateを使って更新する」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

準備・基本編

第3章

# 基本機能

**この章では、音量の調節や消費電力を抑える方法、DVDなどのディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときのもっとも基本的な操作を説明します。**

# ソフト＆サポートナビゲーター（画面で見るマニュアル）

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、パソコンの詳しい使い方を知りたいときや困ったときに役立つ、画面で見るマニュアルとしての機能を持っています。また目的に合ったソフトを探して使い方を見たり、そのままインストールや起動をしたりすることができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」は次のようなときに便利です。

・Windowsの便利な使い方を知りたい。
・目的に合ったソフトを探したり、見つけたソフトをすぐに起動したい。
・うまくいかないときや、故障かな？と思ったときの対処法を知りたい。
・パソコンの省電力機能や表示機能など、パソコンの機能についてより詳しく知りたい。
・用語集でわからない単語の意味を調べたい。

**! 重要 削除しないでください**

**「ソフト＆サポートナビゲーター」は削除しないでください。もし削除した場合、もとに戻すには、パソコンの再セットアップが必要になります。**

## ソフト＆サポートナビゲーターを起動する

デスクトップのタスク バーにある（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

画面はモデルによって異なります。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

キーボード上部にあるワンタッチスタートボタン（ソフト）を押すことでも起動できます。

## ソフト＆サポートナビゲーターを使う

知りたい項目があるときは項目を選んでクリックします。「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目が見つからないときは、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

知りたい項目が見つからないときに検索できます

使いたい項目を選んでクリックします

画面はモデルによって異なります。

## 番号検索について

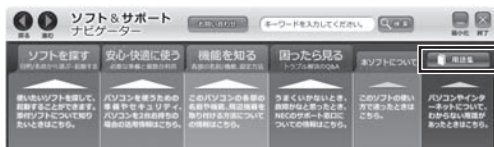
マニュアルに出てくる検索番号を「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

**例）検索番号が「91060010」の場合**

❶マニュアルに出てくる検索番号（8桁の数字）を入力する

❷「検索」をクリックする

## 用語集について

「ソフト＆サポートナビゲーター」には、パソコンやネットワークなどに関する用語集が用意されています。用語の意味がわからないときや、理解を深めたい場合に便利です。

## 動画で使い方を学ぶ

ソフトの使い方や設定が難しそうな作業がある場合には、「ソフト＆サポートナビゲーター」の「動画で学ぶ」が便利です。バックアップやインターネットの設定など、いくつかの項目について動画の説明を見ながらソフトの使い方を学べます。

「動画で学ぶ」について 参照 「動画で学ぶ」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94000001 で検索

### 「動画で学ぶ」の使い方

**1** 「ソフトを探す」-「動画で学ぶ」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

**2** 見たい動画の「見る」をクリックする

## おすすめメニューNavi

このパソコンには、パソコンの機能をやりたいことから探したり、インターネットで知りたい情報を検索したりできる「おすすめメニューNavi」が用意されています。「おすすめメニューNavi」では、検索のほかにも、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することや、お好みの情報をいつでも表示しておくことなどもできます。操作方法など詳しくは「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

# パソコンのいろは（パソコン練習ソフト）

「パソコンのいろは」を使って、パソコンやWindows 8の基本操作を学ぶことができます。またOffice 2010モデルでは「Microsoft Office 2010」の操作も学習できます。

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

## 「パソコンのいろは」とは

初心者のかたがパソコンを学ぶためのソフトです。マウスやキーボードの使い方からホームページの見方といった「パソコンのいろは」を学ぶことができます。パソコンやWindowsの基本操作をまず覚えたいかたは、「パソコンのいろは」で学習を始めてください。

### 「パソコンのいろは8」を起動する

**1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソコンのいろは8」の「ソフトを起動」をクリックする**

自動的に「パソコンのいろは8」が始まります。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

**キーボードのイラストについて**
「パソコンのいろは8」に登場するキーボードは、このパソコンのキーボードとデザインが異なります。

**「Microsoft Office 2010」を学習したいときは**
「パソコンのいろは4 Office 2010編」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94091808で検索）の「ソフトを起動」をクリックします。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

### 「パソコンのいろは8」を終了する

画面に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

# キーボード、マウス

キーボードやマウスの設定を自分の使いやすいように変更できます。また、便利なボタンやショートカットキーについて知ることができます。詳しい使い方については、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

| 機能 | 説明 | 検索番号 |
|---|---|---|
| キーボードの詳しい使い方を知る | キーボードのキーの名前やショートカットキー、ワンタッチスタートボタンの使い方について詳しく説明しています。 | →「キーボード/ワンタッチスタートボタン」<br>▶93040010 |
| キーボードの使い方について | ショートカットキーや特殊なキーの使い方を知ることで、煩雑な操作が簡単にできることがあります。 | →「キーの使い方」<br>▶93040030 |
| ワンタッチスタートボタンについて | キーボードのワンタッチスタートボタンを押すだけで、登録したデスクトップ アプリを起動することができます。<br>1つのボタンで、最大5つのデスクトップアプリを同時に起動することができます。 | →「キーボード上部のボタンなど」<br>▶93040040 |
| キーボードの設定を変更する | キーボードを打ったときの表示までの待ち時間や表示の間隔を変更できます。 | →「キーボードの設定を変更する」<br>▶93040050 |
| マウスの設定を変更する | ダブルクリックのタイミングやマウスポインタの変更ができます。 | →「マウスの設定を変更する」<br>▶93030050 |

# 省電力機能 

このパソコンでは、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的に画面を暗くするなど、省電力機能が設定されています。

省電力機能の詳細、設定の変更について 参照 「省電力機能」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

## 省電力状態の概要

次の省電力状態で消費電力が節約できます。

**●ディスプレイの電源を切る**

何も操作しない状態が続いたとき、ディスプレイの電源を自動的に切る時間が設定できます。ご購入時は、20分でディスプレイの電源が切れるように設定されています。

**●スリープ状態にする**

ディスプレイの電源が切れてからも、操作しない状態が続いたとき、ハードディスクなどの電源を切って消費電力を節約するように設定できます。ご購入時は、60分でスリープ状態になるよう設定されています。

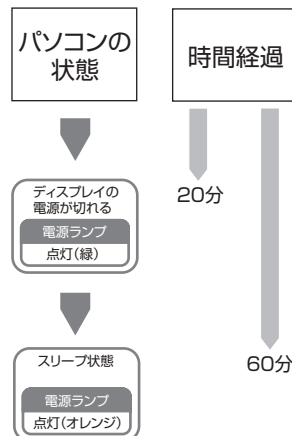
**●休止状態にする**

パソコンの状態や作業中のデータをディスクに保存した上で、Windowsは終了せずにパソコンの電源を切るように設定できます。ご購入時の状態では、設定を変更しないかぎり休止状態になりません。

休止状態になるように設定する 参照 「省電力機能を使う」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160020 で検索

ご購入時、このパソコンにはハイブリッドスリープが設定されています。ハイブリッドスリープとは、スリープ状態になるとき、ハードディスクに作業中のデータを保存するような設定です。スリープ状態時に電源コードが抜けるなどの不測の事態が発生しても、問題なく作業を再開することができます。

### 操作していない時間と省電力状態の概要

**●パソコンを使っていない時間と省電力状態**

## 画面が暗くなったときには

省電力機能で画面が暗くなっているときは、キーボードのキー(【Shift】など)を押してください。
それでも画面が明るくならないときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

## 電源ランプ

パソコンの電源の状態は電源ランプでわかります。

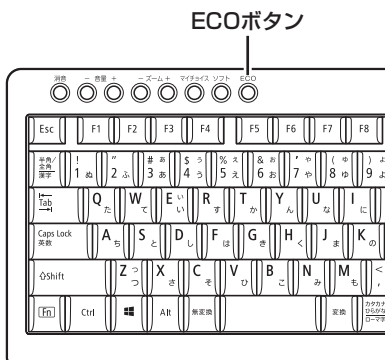
**●電源ランプ(⏻)と電源の状態**

| 電源ランプの状態 | パソコンの状態 |
|---|---|
| 緑色に点灯 | 電源が入っている |
| オレンジ色に点灯 | スリープ状態 |
| 消灯 | 電源が切れている、または休止状態 |

# 節電機能

このパソコンには、省電力機能のほかにも消費電力を節約するためのいろいろな節電機能があります。

## ECOボタン

ECOボタンに登録してある2つの電源プランを、ECOボタンを押すことで簡単に切り換えることができます。電源プランとは、Windowsのシステムとパソコンの、電力に関連する設定を集めて管理するためのものです。ご購入時の設定では電源プランとして「VALUESTAR」と「ECO」が登録されています。

ECOボタン

| アイコンの色 | 電源プラン | パソコンの状態 |
|---|---|---|
| 青色 | VALUESTAR | パフォーマンスと電力の節約のバランスをとった設定です。 |
| 緑色 | ECO | パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定です。 |

ECOボタンについて 参照 「キーボード上部のボタンなど」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93040040 で検索

## 「ECOモード設定ツール」

「ECOモード設定ツール」を使うことで、ECOボタンに登録する電源プランを設定したり、プランの内容を変更したりできます。
また、「ECOモード設定ツール」の自動切り替え設定をおこなうことで、各電力会社が供給している電気の使用状況をもとに、自動で電源プランを「ECO」に切り換えることができます。

「ECOモード設定ツール」について 参照 「ECOモード設定ツール」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94050315 で検索

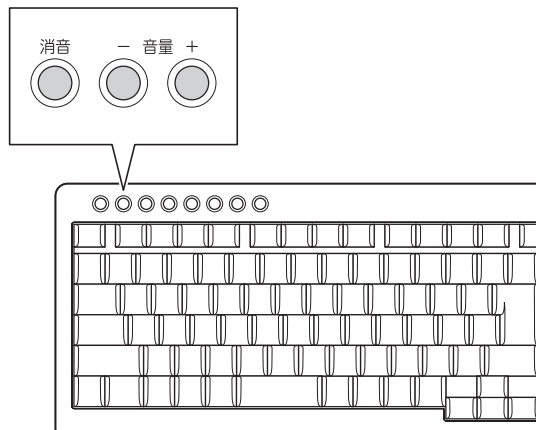
# 音量、画面の明るさ、文字サイズの調節

## 音量の調節

パソコンの音が大きすぎたり、小さすぎたりすると感じるときは、キーボードやディスプレイでスピーカの音量を調節することができます。

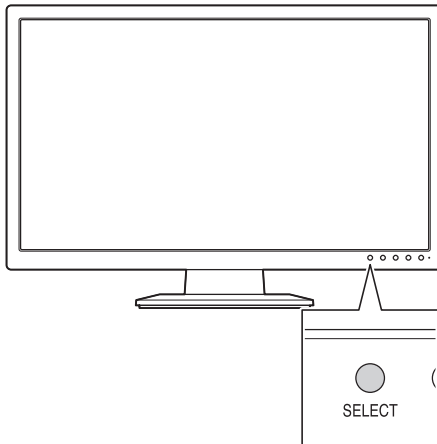
### キーボード

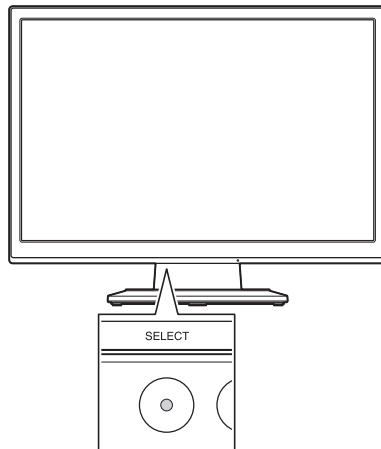
【音量】の－を押すと、音が小さくなります。
【音量】の＋を押すと、音が大きくなります。
【消音】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。

音量の調節をすると、画面にボリュームコントロールのスライダーが表示されます。
・ 音量は0から100の数字で表されます。
・ 消音の操作をすると×が表示されます。

### ディスプレイ

液晶ディスプレイセットモデルの場合、ディスプレイから音量を調節できます。詳しくは、各ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

**●F23W3A(W)**

ディスプレイのSELECTボタンから調節します。

**●F19W2A-S**

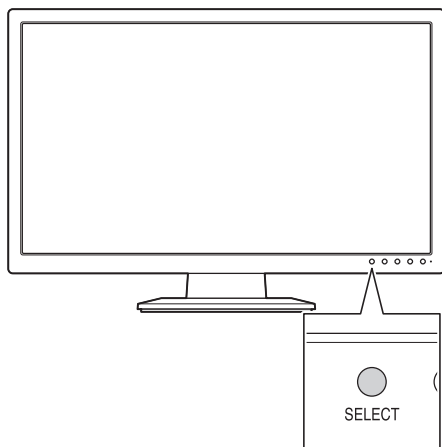
ディスプレイ底面のSELECTボタンから調節します。

## 画面の明るさの調節

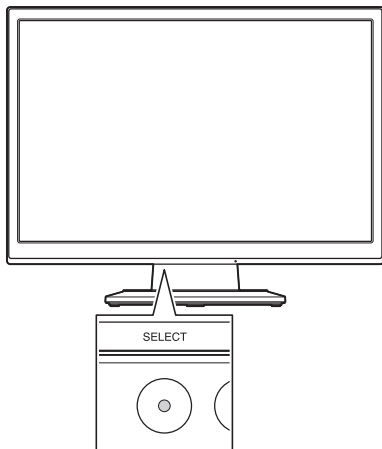
液晶ディスプレイセットモデルの場合、画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると感じたときは、ディスプレイから輝度(画面の明るさ)を調節できます。詳しくは各ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

**重要**

**液晶ディスプレイセットモデルのディスプレイ以外の場合、接続しているディスプレイによって輝度を調節できる場合と、できない場合があります。詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。**

**●F23W3A(W)**

ディスプレイのSELECTボタンから調節します。

**●F19W2A-S**

ディスプレイ底面のSELECTボタンから調節します。

・液晶ディスプレイセットモデルの場合、ECOボタンを押して電源プランが「ECO」に設定されると、セットのディスプレイの輝度が自動的に50%に設定されます。
・ディスプレイのボタンで調節した輝度は、パソコンを再起動したり、省電力状態から復帰すると、「ECOモード設定ツール」の電源プランで設定されている輝度に戻ります。

## 文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

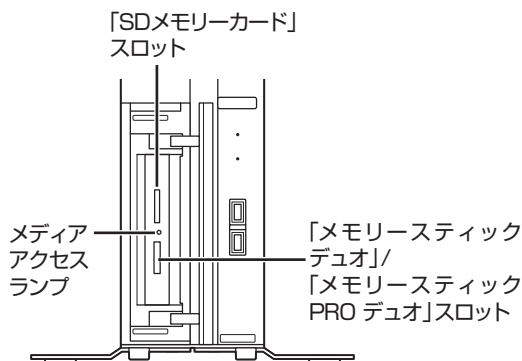
「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

**重要 変更できるのはデスクトップ**

**「パソらく設定」で変更できるのはデスクトップの設定です。スタート画面の設定は変更できません。**

「パソらく設定」について 参照 「パソらく設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号94161819 で検索

# メモリーカード

SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデルでは、次の図で示す位置にSDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットがあります。

## 使用できるメモリーカードの種類

SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデルでは、次のメモリーカードを使用することができます。

・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・SDXCメモリーカード
・メモリースティック デュオ
・メモリースティック PRO デュオ

## 市販のアダプタが必要なメモリーカード

次のメモリーカードを使用する場合には必ず市販のアダプタにセットしてから使用してください。

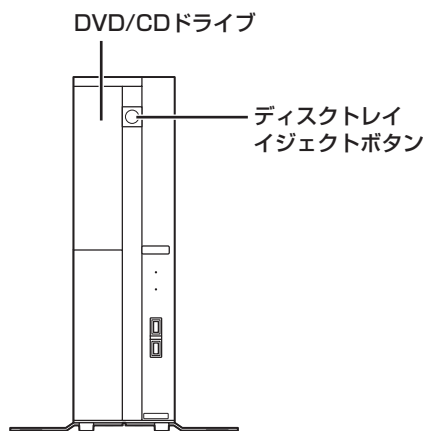
・miniSDカード、microSDカード
・メモリースティック マイクロ(M2)

メモリーカードやアダプタの形状、メモリースロットへの出し入れのしかた、注意事項について 参照 「SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロット」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020040 で検索

**重要 市販のアダプタが必要なメモリーカードは必ずアダプタを使用**

市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。
各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。
必ずアダプタにセットしてから使用してください。

# ディスク(DVD/CDなど)

このパソコンのDVD/CDドライブは次の図で示す位置にあります。

**重要 ディスク使用時のご注意**

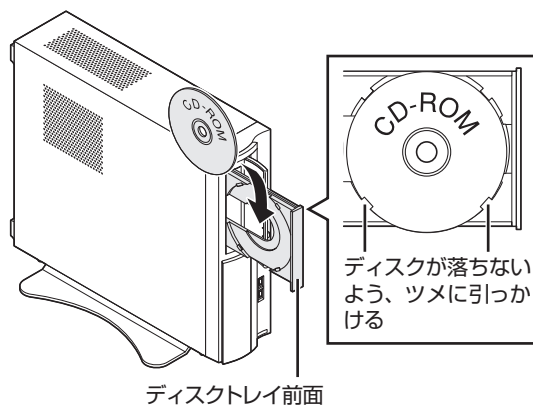
- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

使用できるディスクやデータ形式、注意事項について 参照 「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070010 で検索

## ディスクをセットする

**1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す**

ディスクトレイが出てきます。

**2 ディスクをセットする**

**3 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを収納する**

## ディスクを取り出す

**重要**

- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

**1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す**

ディスクトレイが出てきます。

**2 ディスクを取り出す**

**3 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを収納する**

## ディスクが取り出せなくなったときは

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、「トラブル予防・解決編」第3章の「その他のトラブル」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧ください。

# おすすめ機能について知る

ここでは、このパソコンを使いこなすためのさまざまな機能について紹介します。詳しい使い方については、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

| 機能 | 説明 | 検索番号 |
|---|---|---|
| HDMIコネクタ※<br>(外部入力) | 液晶ディスプレイセットモデルのF23W3A(W)では、HDMIコネクタ(入力)にHDMI規格に準拠したAV機器、ゲーム機およびパソコンなどを接続して、映像をディスプレイに表示できます。 | →「ディスプレイの設定をおこなうときの注意事項」-「ディスプレイのHDMIコネクタ(入力)へ外部機器を接続するときの注意」<br>▶93180190<br>▶「ディスプレイのHDMIコネクタ(入力)へ外部機器を接続するときの注意」 |
| Homeリンク<br>マネージャ | USBメモリーやメモリーカードと同じような手軽さで、スマートフォンやタブレットにあるデータを扱うことができる機能です。設定をすることで「ムービーフォトメニュー」を使って、スマートフォンやタブレットに保存している写真やビデオ、音楽ファイルにアクセスできます。 | →「Homeリンクマネージャ」<br>▶94082102 |
| コンテンツナビ | パソコン内やSkyDrive上にある写真や動画を見ることができます。メールやほかのWindows ストア アプリと写真を共有したり、SkyDriveを使って家族と写真や動画を共有することも可能です(「ストア」から最新版をインストールできます)。 | →「コンテンツナビ」<br>▶ 94032014 |

※:搭載モデルのみ。

# 周辺機器を取り付ける

ここではこのパソコンに取り付けられる周辺機器や取り付けるためのコネクタの位置などについて説明します。具体的な取り付けの手順や注意については、各周辺機器のマニュアルや「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

コネクタなどの位置について 参照 「各部の名称」(p.vii)

## 取り付ける周辺機器と使用するコネクタ

| 取り付ける機器 | 使用するコネクタ |
|---|---|
| プリンタ、イメージスキャナ、USBマウス、USBメモリーなど | USBコネクタ<br>参照 「USBコネクタ」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020010 で検索 |
| HDMI規格に対応したテレビや外部ディスプレイ | ・HDMIコネクタ※1<br>参照 「HDMIコネクタ」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020100 で検索<br>・HDMIコネクタ/DVI-Iコネクタ<br>参照 「別のディスプレイと連携させる」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180080 で検索 |
| SDメモリーカード、メモリースティック デュオ | SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロット※2<br>参照 「SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロット」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020040 で検索 |
| マイクロフォン | マイク入力端子<br>参照 「マイク入力端子」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020085 で検索 |
| ヘッドフォン、オーディオ入力のあるAV機器 | 音声入力端子/音声出力端子<br>参照 「音声出力/入力端子／ヘッドフォン端子」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020060 で検索 |
| PCI Expressボード | PCI Express(×16)スロット/PCI Express(×1)スロット<br>参照 「PCI Express(×16)スロット/PCI Express(×1)スロット」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶ 検索番号 93020140 で検索 |
| メモリ | メモリスロット<br>参照 「内部メモリの増設」<br>▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶ 検索番号 93020130 で検索 |

※1:搭載モデルのみ

※2:SDメモリーカードスロット/メモリースティック デュオスロットモデルのみ

準備・基本編

第4章

# よくある質問

ここでは、パソコンを使っているときのちょっとした疑問への対処方法や、知っていると便利な機能について説明しています。

# 文字入力

## ローマ字入力がひらがな入力になる

入力モードが切り換わっている可能性があります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】を押して、入力モードをローマ字入力に切り換えてください。

## パスワードが間違っているというメッセージが表示される

大文字／小文字が間違って入力された可能性があります。
キーボード右上にある が点灯していると大文字が、消灯していると小文字が入力されます。
【Shift】+【Caps Lock】を押して、点灯／消灯を切り換えてください。

## テンキーで数字が入力できない

テンキーでの数字入力が無効になっている可能性があります。
キーボード右上にある が消灯していると、テンキーからの数字入力ができません。
消灯している場合は【Num Lock】を押して点灯させてください。

# インターネット

## Internet Explorerでメニュー バーを表示したい

### Internet Explorer

Internet Explorerにはメニュー バーはありません。編集や表示メニューについては画面上の操作からおこなえます。また、印刷や設定についてはチャーム バーからおこないます。

Internet Explorerの操作について 参照 『あんしんスタートWindows 8』

### デスクトップ版Internet Explorer

**1** ツールバーの何もないところを右クリックする

**2** 「メニュー バー」をクリックする

メニュー バーが表示されます。

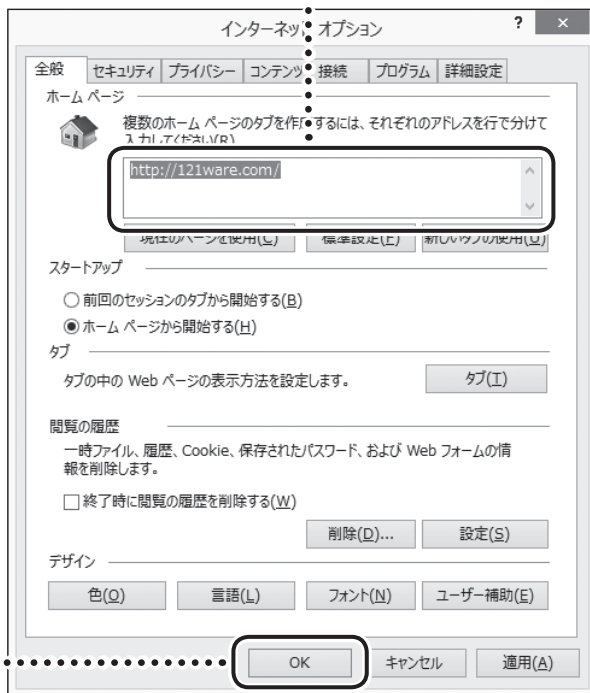
## Internet Explorerで起動直後に表示されるページを変更したい

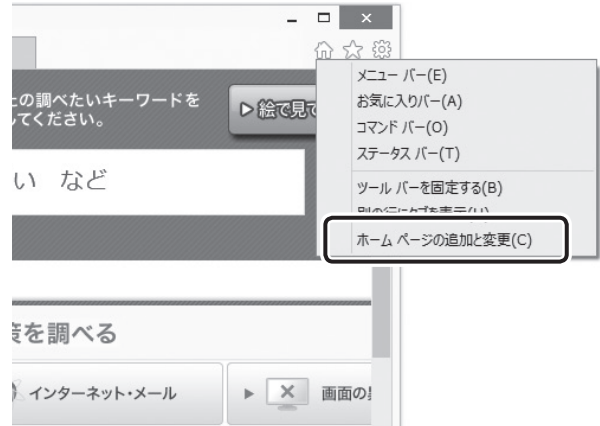
「Internet Explorer」のホームページ(起動直後に表示されるページ)はデスクトップ版Internet Explorerから設定します。デスクトップ版Internet Explorerの設定を変更することで、スタート画面から起動してもデスクトップから起動しても同じホームページを表示できます。

**1 ツールバーの⚙をクリックする**

**2 「インターネット オプション」をクリックする**

**3 URLを入力する**

表示中のページをホームページにするときはURL欄のすぐ下にある「現在のページを使用」をクリックします。

**4 「OK」をクリックする**

表示中のページをホームページにするには、ツールバーの🏠を右クリックして表示されるメニュー(「ホームページの追加と変更」)からもおこなえます。

# ソフト

## デスクトップにショートカットアイコンを作成したい

次のようにしてショートカットを作成します。

**重要**

Windows ストア アプリのショートカットをデスクトップに作成することはできません。

**1** チャーム バーを表示し、「検索」をクリックする

**2** 「アプリ」をクリックする

アプリ画面が表示されます。

**3** ショートカットを作成したいデスクトップ アプリを右クリックする

アプリ バーが表示されます。

ここでは「ペイント」のショートカットを作成します。

**4** アプリ バーの「ファイルの場所を開く」をクリックする

デスクトップが表示されます。

表示されたデスクトップのウィンドウでは指定したデスクトップ アプリのショートカットが選択された状態になっています。

5 選択されているデスクトップアプリのショートカットを右クリックする

6 表示されたリストから「送る」をクリックする

7 「デスクトップ(ショートカットを作成)」をクリックする

これでショートカットが作成できました。

# 第1章 トラブルの予防

パソコンにトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまうことがあります。ハードディスクに大きな問題が起きたときは、パソコンのシステムそのものが正常に動かなくなることもあります。
トラブルの原因はさまざまですが、ちょっとした注意でトラブルが起こるリスクを減らすことができます。また、もしものときに備えて、あらかじめ準備をしておくことも大切です。

この章では、トラブルを予防するために心がけていただきたいことについて説明しています。また、万が一トラブルが起きたときあわてないよう、大切なデータの控えを残しておく「バックアップ」の方法と、パソコンをご購入直後の状態に戻すために必要な「再セットアップメディア」の作成方法について説明しています。

# トラブルを予防するには

ちょっとした注意で、トラブルが起こるリスクを減らすことができます。

## 適切な場所に設置する

パソコンは精密な機器を組み合わせて作られています。落としたり強い衝撃を与えると、機器に不具合が生じてトラブルが起こることがあります。人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないことが、トラブルを回避する第一歩です。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置することも、パソコンの不具合の原因になります。

VALUESTARの設置場所については、「準備・基本編」の「第1章 セットアップの前に」で、さらに詳しく説明しています。

## 定期的に通風孔(排熱孔)を清掃する

通風孔(排熱孔)とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔(排熱孔)の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。通風孔の清掃については、「付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

## 電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、「準備・基本編」第2章の「パソコンを終了する」をご覧ください。

## ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフトを活用しましょう。このパソコンにはあらかじめ「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが用意されています。

ウイルスバスターについて 参照 「ウイルスバスター クラウド」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索

**重要**

**パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、「トラブル予防・解決編」の「第3章 トラブル解決Q&A」の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.2-23)をご覧になり、対処してください。**

## パソコンを最新の状態にする

**●Windows Updateを使う**

Windows Updateは、マイクロソフト社の提供するサポート機能です。インターネット経由でWindowsやマイクロソフト社のソフトを最新の状態に更新したり、問題点を修正できます。また、ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もおこなわれます。

Windows Updateについて 参照 「Windows Updateを使って更新する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060030 で検索

**●Smart Updateを使う**

Smart Updateは、インターネット経由で、NECが提供する更新プログラムの有無を自動で確認し、新機能の追加や問題点を修正するための更新プログラムのアップデートをおこなうサービスです。重要な更新プログラムがあったときにお知らせします。

Smart Updateについて 参照 「Smart Updateを使って更新する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

**●ストアを使って更新する**

Windows ストア アプリの更新プログラムは、「ストア」から適用することができます。

「ストア」について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

## 万が一のトラブルに備える

パソコンが正常に動作しているときに、あらかじめ準備しておいていただきたいことについて説明しています。

**●バックアップを取る(p.2-3)**

Windowsが起動しなくなった場合や大切なデータを誤って消してしまった場合に備えて、データの控え(バックアップ)を取ってください。

**●再セットアップメディアを作る(p.2-10)**

「再セットアップメディア」を使うことで、「おてがるバックアップ」でパソコン全体をバックアップしたデータを復元することができます。

また、ハードディスクの再セットアップデータから再セットアップできないときも、再セットアップメディアを使って再セットアップをおこなうことができます。

# 大切なデータの控えを取っておく

## バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、ハードディスクに次のようなデータが蓄積されていきます。

・重要な情報(知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など)
・大切な思い出(デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など)
・趣味や娯楽のためのデータ(音楽、動画、ゲームなど)
・インターネットを使うための情報(お気に入り、パスワードなど)

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」(バックアップする、バックアップを取る)と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

壊れたり消えたりしたデータの復旧サービスもあります(http://121ware.com/navigate/support/restoration/index.html)。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

・パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)
・DVD-Rなどの光ディスク
・外付けハードディスク
・USBメモリーやメモリーカード

**パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)をバックアップ先に選ぶと、ハードディスク自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまう恐れがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたハードディスク以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。**

## バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

・ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
・古いパソコンからデータを移動してきたとき
・前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

# おてがるバックアップを使ってバックアップを取る

このパソコンには、バックアップを取るためのソフト「おてがるバックアップ」が搭載されています。複数のバックアップ方法が用意されているので、用途に合わせて使い分けることで、効果的にバックアップをおこなうことができます。

**自動バックアップ(有料)もあります**
もっと手軽にバックアップを取りたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しています(p.2-66)。

## おてがるバックアップの機能

**●ワンクリックバックアップ**
あらかじめ設定されたデータのバックアップを取ります。

| 機能名 | 概要 |
|---|---|
| マイ データ | よく使うデータや、自作のデータが通常保存されているフォルダ、インターネットの設定などのバックアップを取ります。 |
| パソコン全体 | トラブルに備えて、正常に動作しているときに内蔵ハードディスク(内蔵SSD)全体のバックアップを取ります。インターネットやメールの設定、自分でインストールしたソフトなど、セットアップ後におこなった設定をそのままバックアップ/復元できます。 |

どの方法でバックアップすればよいかわからない場合は、「おてがるバックアップ」の「ワンクリック バックアップ」-「マイ データ」をおすすめします。

**●こだわりバックアップ**
自分でバックアップの対象を設定してバックアップを取ります。定期的に自動でバックアップを取ることもできます。詳しくは「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。

## バックアップを取る場所について

「おてがるバックアップ」では、バックアップ方法によって、バックアップ先に設定できる場所が異なります。
・ バックアップ対象：内蔵ハードディスク、内蔵SSD（搭載モデルのみ）

| バックアップ方法 | | ワンクリックバックアップ | | こだわりバックアップ | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | マイ データ | パソコン全体 | マイ データ | ディスク、またはパーティション |
| バックアップ先※5 | ローカルディスク（お使いのパソコンのハードディスク） | ○ | × | ○ | ○※1 |
| | USB接続の外付けハードディスク/Thunderbolt™接続の外付けハードディスク※2（Thunderbolt™規格に対応したモデルのみ） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 内蔵SSD（搭載モデルのみ） | ○ | × | ○ | ○※1 |
| | NAS（ネットワーク接続ストレージ） | × | × | ○ | × |
| | USBメモリー | ○ | × | ○ | × |
| | 次の光ディスク※3<br>BD-R/BD-RE/BD-R（2層）/BD-RE（2層）/BD-R XL（3層）/BD-RE XL（3層）/DVD-R | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 次のメモリーカード※4<br>SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード/メモリースティック/メモリースティックPRO | ○ | × | ○ | × |

※1：システムドライブを含む場合は、バックアップ先に設定できません。
※2：インテル®とアップルが開発した新しい高速汎用データ伝送技術のことです。
※3：お使いのDVD/CDドライブによって、使用できる光ディスクが異なります。
※4：お使いのモデルによって、使用できるメモリーカードが異なります。
※5：USB外付け機器は必ず機器付属の説明書に書かれた用法を守ってお使いください。

大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。なお、外付けハードディスクをバックアップ先にする場合は、USB接続のハードディスクを使用してください。

## 「おてがるバックアップ」を使うときの注意

おてがるバックアップをお使いになるときは、次のことに注意してください。

・おてがるバックアップでバックアップを取ったデータは、このパソコンでのみ復元できます。
・バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。
・バックアップを取るデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
・暗号化機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
・定期的にバックアップを取る場合、バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。
・TVモデルの場合、録画予約の時間、番組表の受信時刻とバックアップの時間が重ならないようにしてください。
・テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「ワンクリック バックアップ」-「マイ データ」を使ってバックアップを取ることができません。
著作権が保護されたデータのバックアップについては、録画や購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。テレビ番組の録画データについては『テレビを楽しむ本』をご覧いただき、DVDなどに保存するか、外付けハードディスクに移動してください。
・「パソコン全体」でバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVision上で消去したデータは、復元後、データがCドライブに復元されても利用できません。また、パソコンが故障した場合、故障内容によっては、故障もしくは修理前にバックアップしたデータを復元しても、復元した録画番組を利用できない場合があります。
・複数のパソコンでそれぞれ「おてがるバックアップ」を使って外付けハードディスクにバックアップする場合、それぞれのパソコンごとに別々の外付けハードディスクをご用意ください。
・「おてがるバックアップ」では、隠しパーティションを指定してバックアップすることはできません。隠しパーティションをバックアップするには、「ワンクリック バックアップ」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定するか、「こだわりバックアップ」の「ディスク、またはパーティション」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定(ご購入時の状態)してください。

## 「おてがるバックアップ」の使い方

### おてがるバックアップを起動する

**1** 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

「おてがるバックアップ」が起動します。

**重要**

**次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。**

- **「エンド ユーザー使用許諾契約」**
- **「製品の登録」**
- **「おてがるバックアップのご紹介」**

画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

### 動画で使い方の説明を見る

「ソフト＆サポートナビゲーター」の「動画で学ぶ」-「データのバックアップ」で、おてがるバックアップを使ったバックアップ手順を動画で見ることができます。ステップごとの手順が動画を使って説明されているので、わからないところもくり返し確認しながらバックアップすることができます。

「動画で学ぶ」について 参照 「動画で学ぶ」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号94000001 で検索

**重要**

**動画が起動しないときは、動画がダウンロードされていない場合があります。「ストア」から「動画ナビ」を適用してください。**
**「ストア」を利用するには、あらかじめインターネットの接続環境が必要です。**

「データのバックアップ」は、次の手順で見ることができます。

**1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「使い方動画を見る」をクリック**

この後は、画面の指示にしたがってください。

## その他のバックアップ方法について

ここでは、「おてがるバックアップ」以外のバックアップ方法について紹介します。手動でバックアップを取ったり、Windowsの機能を使ってバックアップを取ることができます。

### 手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

**●テレビ番組の録画データをDVDなどに保存する（TVモデル）**

テレビ番組の録画データは「おてがるバックアップ」の「ワンクリック バックアップ」-「マイ データ」ではバックアップできません。必要な録画データは、DVDなどに保存するか、外付けハードディスクに録画データを移動してください。操作方法について詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

**重要**

- **TVモデルの場合、テレビ番組の録画データは、ご購入時の状態ではCドライブに保存されます。「おてがるバックアップ」などでCドライブをまるごとバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVisionで消去したデータは、復元後、データがCドライブに復元されても利用できません。**
- **パソコンが故障した場合、故障内容によっては、修理前にバックアップしたデータを復元しても、復元した録画番組を再生できない場合があります。**

**●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る**

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

## ファイル履歴でバックアップを取る

ファイル履歴は、Windows 8の機能です。「ライブラリ」、「連絡先」、「お気に入り」、「デスクトップ」フォルダの内容を自動的にバックアップするので、ファイルの破損や紛失に備えることができます。
この機能は、購入時の設定では無効になっています。この機能を利用する場合は、次の手順で有効にしてください。

**●ファイル履歴をオンにする**

①スタート画面で「デスクトップ」をクリック
②チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
③「コントロール パネル」をクリック
④「システムとセキュリティ」の「ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存」をクリック
「ファイル履歴」が表示されます。
⑤「ドライブの選択」で保存するドライブを選ぶ
ドライブがCドライブしかない場合は、ファイル履歴用に市販の外付けハードディスクなどを用意するか、ネットワーク上にファイル履歴保存用の共有フォルダを用意してください。
⑥「オンにする」をクリック
コピー先に保存先のドライブが表示され、自動的に1回目のファイルコピーが始まります。
この後は、指定されたスケジュール(購入時は1時間ごと)で指定したコピー先にバックアップされます。コピー先の容量がいっぱいになると、古い履歴から自動的に削除されます。

バックアップする間隔を変更する場合は、左側のメニューにある「詳細設定」で「ファイルのコピーを保存する頻度」を変更してください。

**●ファイル履歴から復元する**

①「ファイル履歴をオンにする」の手順4までをおこなう
②左側のメニューの「個人用ファイルの復元」をクリック
最新のバックアップセットが表示されます。
③必要なファイルを選んでをクリック
復元が始まります。

**重要**

**ファイルやフォルダを復元させる場合、もとのファイルと同じ場所に上書きされます。
同じ名前のファイルがある場合、「ファイルの置換またはスキップ」の画面が表示されるので、適切な操作を選択してください。
もとのファイルと別の場所に復元させる場合は、をクリックして表示されるメニューから復元先をクリックし、復元先を変更してください。**

# 再セットアップメディアを作成する

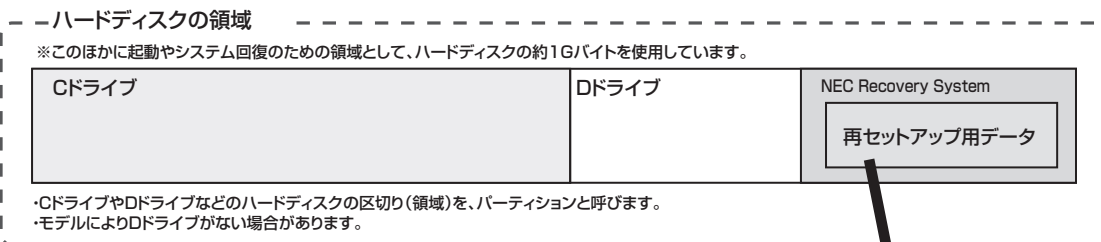
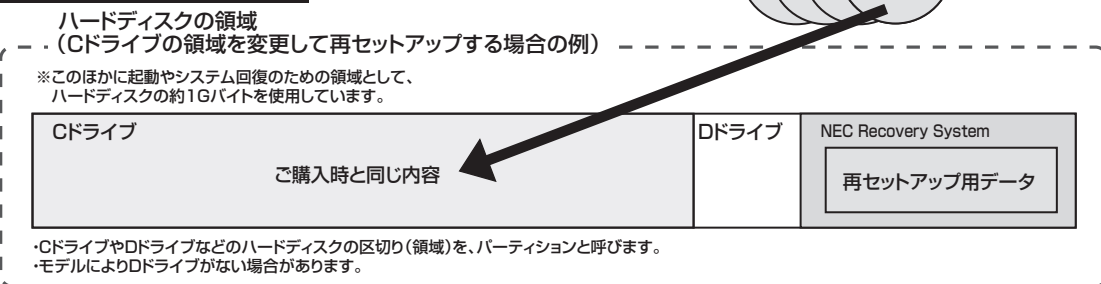
## 再セットアップメディアとは

頻繁にエラーやフリーズが発生したり、動作が極端に遅くなるなど、Windowsの状態が良くない場合にパソコンをご購入時の状態に戻すことができます。通常は、ハードディスク内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップメディア」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**
- **「おてがるバックアップ」で「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」をバックアップしたディスクを利用して、ハードディスクを復元する場合**

再セットアップメディアは、パソコンのハードディスクから「再セットアップ用データ」をDVD-Rなどのディスクやメモリーなどに移して作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップメディアを作成しておくことを強くおすすめします。

- **再セットアップについて詳しくは、「トラブル予防・解決編」第4章の「この章の操作をおこなう前に」(p.2-46)をご覧ください。**
- **再セットアップメディアを使ってできる再セットアップについては、「トラブル予防・解決編」第4章の「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.2-53)をご覧ください。**

**●再セットアップメディアを作成して再セットアップする場合の一例**

**! 重要**

Windows 8には、主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを保持したままOS(Windows 8)を再インストールする「PCのリフレッシュ」(p.2-47)があります。

## 再セットアップメディア作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップメディア作成ツール」を使って、再セットアップメディアを作成します。
再セットアップメディアの作成には、ディスクの場合は2〜3時間程度、USBメモリーなどの場合は20〜30分程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

**重要**
**再セットアップメディアは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。**

### 未使用のディスク(DVD-RやBD-R)またはUSBメモリーを準備する

再セットアップメディアの作成には、DVD-RやBD-R、またはUSBメモリーが必要です。

**●ディスクを使う際の注意**

※ブルーレイディスク(BD-R)を使用できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「ディスクで再セットアップメディアを作成する」の手順2(p.2-12)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  **DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの**
  **DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの**
  **BD-Rディスクの場合:25Gバイトのもの**
  **BD-R(2層)ディスクの場合:50Gバイトのもの**
- **次のディスクは使用できません。**
  **CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R XL、BD-RE XL**

**●USBメモリーを使う際の注意**

再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。

#### 再セットアップディスクの販売について

各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

### 市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

### 作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- **スクリーンセーバーが起動しないようにする**
  次の手順で設定を変更します。
  ①スタート画面で「デスクトップ」をクリック
  ②チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
  ③「個人用設定」をクリック
  ④「スクリーン セーバー」をクリック
  ⑤「スクリーン セーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  ⑥「個人設定」の×をクリック
- **起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)**
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。
- **TVモデルでは、次の予約時間とディスク作成の時間が重ならないようにする**
  **- 録画予約の時間**
  **- 番組表の受信時刻**
  **予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。**

**重要**
**再セットアップメディアの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、サインアウト、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。**

## 再セットアップメディアの作成

**とくに重要**

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

**重要**

「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップメディアを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。

- 「回復パーティションを削除します」欄にチェックを入れて再セットアップメディアをUSBメモリーなどで作成した場合
- 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

### USBメモリーで再セットアップメディアを作成する

**1** 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「再セットアップメディア作成ツール」の「ソフトを起動」をクリック

**2** 「USBメモリー」を選んで「次へ」をクリック

**3** 「回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。」を☑にして「次へ」をクリック

**重要**

☑を☐にすると、再セットアップに使用できないのでご注意ください。

「USB フラッシュ ドライブの接続」が表示され、再セットアップメディアの作成に必要なUSBメモリーの容量が表示されます。

**4** USBメモリーをセットする

**重要**

- 再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。
- 再セットアップメディアを作成する際は、実際に利用可能な容量が、画面に表示された容量以上のUSBメモリーが必要です。
  USBメモリーの中には、実際に使用できる容量が表示サイズ以下の場合があります。この場合は、再セットアップメディアを作成することはできません。

この後は画面の指示にしたがって操作してください。

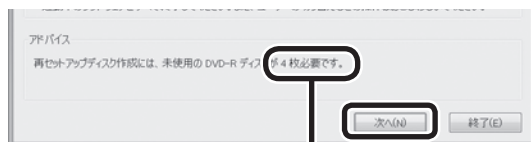
**重要**

作成した再セットアップメディアは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

### ディスクで再セットアップメディアを作成する

**1** 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「再セットアップメディア作成ツール」の「ソフトを起動」をクリック

**2** ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

DVD-RやDVD-R(2層)の場合、必要なディスクの枚数が×~×枚というように表示される場合があります。最初のディスクを作成した時点で必要枚数が確定します。

**3** 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

**重要**

- **「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。**
- **書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。**

### 4 用意したディスクをセットする

ディスクが認識されるまで10秒程度待ってから次の手順に進んでください。

### 5 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

### 6 「OK」をクリック

### 7 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する

複数枚作成される場合、続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

**重要**

**作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。**

トラブル予防・解決編

第2章

# トラブル解決の第一歩

パソコンを使っていると、どうしてもトラブルに遭遇することがあります。
特に、あなたが初心者なら、操作に迷うこともしばしばあるかもしれません。
あわてずに、まず、この章をご覧ください。

## 状況を確認する

トラブルが起きたときは、まず冷静になることが重要です。あわてて、適切でない操作をすると状況が悪化する場合もあるので、落ち着いて状況を確認しましょう。
電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定を忘れていたなど、意外に単純な原因であることもよくあります。

> パソコンから煙が出ていたり、異臭や異常な音がしたり、手で触れられないほど熱くなっているとき、パソコンやディスプレイ類に目に見える異常が生じたときは、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外し(LaVieのみ)、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にご相談ください。

**●しばらく様子を見る**
パソコンの処理に時間がかかっていると、動作が止まったように見えることがあります。あわてて電源を切ったり、マウスやキーボードを操作せずに、しばらく待ってみてください。

**●メッセージを書き留める**
パソコンの画面に何かメッセージが表示されているときは、紙に書き留めてください。トラブルの原因を調べるときに役立つことがあります。

**●直前の操作を思い出す**
トラブルが起きたときどんな操作をしていたか、いつもと違う操作をしなかったかを思い出してください。また、最近、新しい周辺機器を付けた、新しいソフトをインストールした、といったことも解決のヒントになります。

**●トラブルの内容が確認できたら**
トラブルの内容が確認できたら、状況に合わせてトラブル解決の方法を探します。

## トラブルの解決法

パソコンの状況を確認したら、状況に応じた対処方法を確認してください。

### パソコンが使えない状態のとき

ソフトや画面が反応しなくなったときやパソコンが起動しないなど、パソコンが使えない状態のときは、このマニュアルの「トラブル予防・解決編」の「第3章 トラブル解決Q&A」(p.2-21)をご覧ください。

### パソコンが使える状態のとき

インターネットが使える状態なら、NECのWebサポート「121ware.com」(p.2-17)で対処方法を調べてください。「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」で対処方法を調べることもできます(p.2-18)。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の検索では、NECのWebサポート「121ware.com」以外に、「Yahoo!知恵袋」などの他社サイトを検索範囲に追加して対処方法を調べることもできます。

### インターネットのトラブルのとき

インターネットにつながらないときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」-「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」で対処方法を調べてください。

### テレビに関するトラブルのとき

TVモデルで、テレビが映らないなどのトラブルのときは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

### Windowsのトラブルのとき

Windows 8の機能である「コンピューターの問題のトラブルシューティング」や「ヘルプとサポート」で対処方法を調べることができます(p.2-19)。
また、インターネットが使える状態なら、「Microsoft Fix itソリューションセンター」で解決策を調べることもできます(p.2-19)。

### 各ソフトのトラブルのとき

ソフトを使っているときに起きた問題は、そのソフトのヘルプをのぞいてみましょう。トラブルの解決法が書かれていることがあります。
各ソフトのヘルプの表示方法は、Windows ストアアプリとデスクトップ アプリで異なります。

**・Windows ストア アプリの場合**

①各ソフトを起動した状態でチャーム バーを表示し、「設定」をクリック
②「ヘルプ」が表示されている場合は「ヘルプ」をクリック

ソフトにヘルプが存在しない場合は表示されません。

**・デスクトップ アプリの場合**

画面上の「?」や「ヘルプ」をクリックして起動します。

ソフトによっては、チャーム バーを表示し、「アプリ」をクリックして表示される一覧にヘルプが表示されている場合もあります。

上記の方法を試しても問題が解決しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話をしてください。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へのお問い合わせ方法やお問い合わせのコツについては、「トラブル予防・解決編」第5章の「NECのサポート窓口に電話する」(p.2-61)をご覧ください。

## NECのWebサポート(121ware.com)でトラブルの事例を探す

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」は、あなたのパソコンライフに合わせたサービスを提供するホームページです。サポート情報も日々更新されているので、トラブル解決のために有効に活用してください。

**●121ware.comのサポートコーナーを見る**

「サービス&サポート」をご覧ください。
Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

・サポートのコーナー「サービス&サポート」
　http://121ware.com/support/

## 「ソフト＆サポートナビゲーター」を活用する

「ソフト＆サポートナビゲーター」では、トラブル解決のためのQ&A一覧のほかにも、NECのサポートやサービスの情報も書かれています。

### 1 「ソフト＆サポートナビゲーター」画面上部の「困ったら見る」をクリック

### 2 見たい項目をクリックして、トラブル解決法を探す

#### 検索機能を使う

知りたい項目が見つからないときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」の画面上部の検索にキーワードや文章を入力し、「検索」をクリックします。

検索方法について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「本ソフトについて」-「本ソフトの使い方」-「知りたいことを検索する方法」をご覧ください。

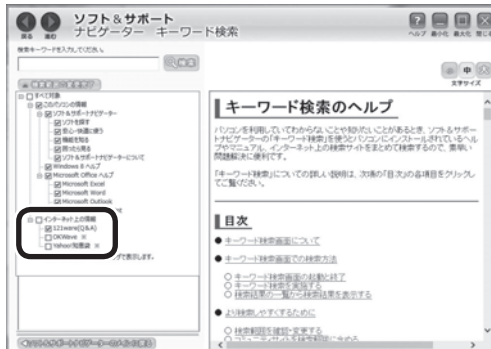
#### より検索しやすくするために

パソコン内のオンラインマニュアルやヘルプ、インターネット上の情報から、検索範囲を選ぶことができます。
ここでは、インターネットの検索範囲を追加する手順を説明します。

### 1 「ソフト＆サポートナビゲーター」画面上部の「検索」をクリック

「キーワード検索」画面が表示されます。
検索対象を追加する画面が表示されたときは、「追加して検索する」をクリックしてください。

### 2 「検索範囲の確認・変更」をクリック

### 3 「インターネット上の情報」で追加したい項目をクリック

### 4 「検索範囲の変更完了」をクリック

設定後、質問文やキーワードを入力して検索します。

## Windows 8のトラブル解決法

**●「コンピューターの問題のトラブルシューティング」を活用する**

Windows 8には、一般的なコンピュータのトラブル解決法をまとめた「コンピューターの問題のトラブルシューティング」があります。

「コンピュータの問題のトラブルシューティング」は、デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」の「問題の発見と解決」をクリックして起動できます。

Windows 8を使っていて何か困ったとき、トラブルが起きたときに、ここで対処法を調べてみましょう。

また、「ヘルプとサポート」にもトラブル解決の情報が記載されている場合があります。必要に応じて利用してください。

「ヘルプとサポート」は、チャーム バーを表示し、「検索」-「アプリ」-「ヘルプとサポート」をクリックして起動します。

## 「Microsoft Fix itソリューションセンター」のご紹介

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindowsやその更新プログラムであるWindows Update、またインターネット接続ブラウザ(Internet Explorer)で発生した問題も含まれています。

これらについては開発元であるマイクロソフト社が、解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

http://support.microsoft.com/fixit

トラブル予防・解決編

第3章

# トラブル解決Q&A

ここでは、インターネット接続、起動時のエラー、ソフト使用中のフリーズ(動かなくなる状態)など、よくあるトラブルへの対処方法を説明しています。
また、パソコンの電源が入らないときなど、ソフト&サポートナビゲーターや121ware.comでトラブルの原因を探せないときの解決方法も、ご紹介しています。



※テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

※添付されるマニュアルは、モデルによって異なります。
また、表紙のデザインは、お使いのモデルによって異なる場合があります。

## パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

**●操作をキャンセルしてもとに戻す**

ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

**●異常が起きているソフトを終了させる**

通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

**! 重要**

**この方法で終了した場合、データは保存できません。**

**1 キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す**

**2 「タスク マネージャー」をクリック**

「タスク マネージャー」が表示されます。

・簡易表示

・詳細表示

**3 「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック**

「詳細」画面の場合は、「プロセス」タブにタスク(ソフト)が表示されます。

**●Windowsをいったん終了する**

次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

**1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**

**2 「電源」-「シャットダウン」をクリック**

パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

### Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

**! 重要**

- **ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。**
- **この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。**
- **CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。**
- **SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。**
- **アクセスランプが消えていることを確認してください。**
- **電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。**

アクセスランプについて 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

**1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける(通常、4秒以上)**

この操作を「強制終了」といいます。

### 2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

### 3 Windowsが起動したら、チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

### 4 「電源」-「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。
この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。

VALUESTAR Lで、上記の操作でも電源が切れないときは、いったんパソコン本体とディスプレイの電源コードのプラグをコンセントから抜いて、90秒以上待ってからコンセントに入れなおしてみてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)へお問い合わせください。

## ウイルスの感染が疑われるとき

**●「ウイルスバスター」をご使用の場合**
「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLANはオフにしない)状態でウイルスの駆除をおこなってください。

ウイルス対策ソフトについて 参照 「ウイルスからパソコンを守る」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91040010で検索

**●「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合**
インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。
なお、使用しているウイルス対策ソフトによって対処方法が異なる場合があります。詳しくは、各ウイルス対策ソフトのマニュアルなどをご覧ください。

**重要**
**パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。**

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

**●届出先**
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX: 03-5978-7518
E-mail: virus@ipa.go.jp
URL: http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL: 03-5978-7509

# パソコン起動時のトラブル

**重要 省電力状態からの復帰に失敗しないために**

**省電力状態からの復帰(再開)に失敗した場合、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。この場合、保存していないデータは失われるため、必要なデータは省電力状態にする前に必ず保存してください。**

次のような場合、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ換えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・プリンタへ出力中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 電源を入れても画面に何も表示されない | 電源コードやACアダプタ(添付モデルのみ)が正しく接続されていない | 「準備・基本編」の第1章をご覧になり、電源コードやACアダプタが正しく接続されているか確認してください。<br>VALUESTARでキーボードやリモコン(添付モデルのみ)の電源スイッチで電源が入らない場合は、パソコン本体の電源スイッチを押してみてください。 |
| | **LaVie**<br>バッテリ残量が少ない | ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。 |
| | **LaVie**<br>バッテリパックが正しく取り付けられていない | 「準備・基本編」の第3章をご覧になり、バッテリパックが正しく取り付けられているか確認してください。 |
| | 周辺機器やUSBメモリーが接続されている | パソコンの電源を切って周辺機器やUSBメモリーなどを取り外し、電源を入れなおしてください。 |
| | CD-ROMなどのディスクがセットされている | ディスクを取り出してから、パソコンの電源を入れなおしてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 電源を入れても画面に何も表示されない | パソコン本体が帯電している | 次の操作をおこない、放電してみてください。<br>**VALUESTARの場合**<br>1. パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜く<br>2. そのまま90秒以上放置する<br>3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおす<br>**LaVieの場合**<br>1. パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを外す<br>2. そのまま90秒以上放置する<br>3. バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおす<br>バッテリパックの取り外し方について 参照 「準備・基本編」第3章の「バッテリ」 |
| | BIOSの設定が正しくない | BIOSの設定を購入時の状態に戻してください(p.2-26)。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | 「再セットアップする」(p.2-45)をご覧になり、再セットアップしてください。<br>それでも問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください(p.2-61)。 |
| 再セットアップを促すメッセージが表示された | ー | 「再セットアップする」(p.2-45)をご覧になり、再セットアップしてください。 |

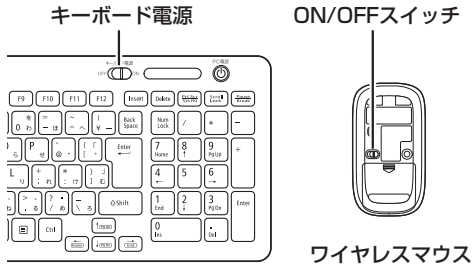
| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった | システムの設定が正しくない可能性がある | 次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。<br>なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。<br>**重要**<br>**BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。**<br>1. 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す<br>2. パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す<br>BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。<br>3. 【F9】を押す<br>セットアップ確認の画面が表示されます。<br>4. 「はい」(または「Y」、「Ok」、「Yes」)を選んで【Enter】を押す<br>システムの設定が初期値に戻ります。<br>5. 【F10】を押す<br>セットアップ確認の画面が表示されます。<br>6. 「はい」(または「Y」、「Ok」、「Yes」)を選んで【Enter】を押す<br>システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。 |
| 省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない | 省電力機能に対応していないソフトや周辺機器を使っている | 省電力機能に対応していないソフトや周辺機器を使用するときは、省電力状態にしないでください。<br>パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押して電源を強制的に切った後、電源を入れなおしてください。その後、省電力機能の設定を変更してスリープや休止状態にならないように設定を変更してください。<br>なお、この方法で電源を切ると、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。<br>参照 「省電力機能について」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索 |

パソコンの起動をおこなえる「クイックパワーオン」も省電力機能の1つです。省電力機能についてのQ&Aで問題が解決することがありますので、あわせてご覧ください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない | 電源スイッチを4秒以上押してしまった | 電源スイッチを4秒以上押し続けた場合、強制的に電源が切れます。電源スイッチを押して、パソコンの電源を入れてください。<br>なお、強制的に電源が切れた場合、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。 |
| | 休止状態のときに周辺機器などの接続を変更した | 周辺機器をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。 |
| | CD-ROMなどのディスクがセットされている | パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押して電源を強制的に切った後、電源を入れなおしてください。省電力状態にする場合は、CD-ROMを取り出してから省電力状態にしてください。<br>なお、この方法で電源を切ると、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。 |
| | Cドライブの容量が少ないため、ハイブリッドスリープがオフになっている | ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。<br>ハイブリッドスリープがオフになっていると、次のような状態になったとき、スリープになる前の状態が失われます。<br>・電源コードが抜けたとき(VALUESTAR)<br>・バッテリが消耗したとき(LaVie)<br>次の手順でハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。<br>1.スタート画面で「デスクトップ」をクリック<br>2.チャーム バーを表示し、「設定」をクリック<br>3.「コントロール パネル」をクリック<br>4.「システムとセキュリティ」-「電源オプション」-「プラン設定の変更」-「詳細な電源設定の変更」をクリック<br>表示された画面で「スリープ」-「ハイブリッド スリープを許可する」がオンになっているか確認してください。<br>ハイブリッドスリープの設定について 参照 「省電力機能について」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索 |
| | **VALUESTAR**<br>スリープ状態への移行中に停電した | このような場合は、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。 |
| | **VALUESTAR**<br>スリープ状態のときに電源コードやACアダプタ(添付モデルのみ)が抜けた | このような場合は、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。<br>電源コードやACアダプタ(添付モデルのみ)の接続を確認してください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない | **VALUESTAR**<br>画面消灯モードになっている(VALUESTAR Lを除く) | 画面消灯ランプが点灯している場合は、明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押し、画面消灯モードのオン/オフを切り換えてください。<br>画面消灯モードについて 参照 「画面消灯モードについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93180170 で検索 |
| | **LaVie**<br>Windowsの終了中に液晶ディスプレイを閉じた | このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。<br>電源スイッチを押して電源を入れた後、メッセージが表示された場合は画面の指示にしたがって操作してください。 |
| | Windowsの終了中に省電力状態にした | |
| | Windowsの終了中に電源を切った | |
| | **LaVie**<br>バッテリの残量が少ない | ACアダプタを接続した後、液晶ディスプレイを開いた状態で電源スイッチを押してください。 |
| シャットダウン時にエラーメッセージが表示される | ソフトの終了に時間がかかっている | シャットダウンできない場合は、「Windowsを強制的に終了する」(p.2-22)をご覧になり、電源を切ってください。 |

# パソコンの様子がおかしい

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 煙や異臭、異常な音がする | － | すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して(LaVieのみ)、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にお問い合わせください。<br>電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。 |
| 手でさわれないほど熱くなっている | － | |
| パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた | － | |
| ピーッというエラー音がした | ハードディスクの障害の可能性がある | メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)へお問い合わせください。 |
| パソコンを使っているとカリカリと変な音がする | － | パソコンが自動的にデータの保存などの作業をおこなっているためで、問題ありません。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にお問い合わせください。 |
| **LaVie、VALUESTAR N**<br>ACアダプタから異音がする | － | ACアダプタの仕様によるもので、故障ではありません。<br>ACアダプタにはAC電源(交流)をDC電源(直流)に変換するトランスや電圧を安定させたりノイズを除去するコンデンサなどの部品が内蔵されており、ACアダプタを使用(LaVieはバッテリ充電中を含む)すると、これらの部品が振動するため、音が発生する場合があります。<br>これは、パソコンだけでなく液晶ディスプレイや周辺機器など、ACアダプタを使用しているすべての機器でおこります。 |
| ファンの音が大きい | － | パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。<br>ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。 |
| | 通風孔(排熱孔)にほこりがたまっている | パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)へお問い合わせください。 |
| パソコンが熱をもっている | パソコンの起動時、または多くの処理を同時におこなっている | 内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。 |
| | 通風孔(排熱孔)にほこりがたまっている | パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)へお問い合わせください。 |

# マウス、キーボード、NXパッド(LaVieのみ)がおかしいとき

**動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。**

アクセスランプについて 参照 「各部の名称」

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| マウス、NXパッド(LaVieのみ)を動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い | ー | マウスポインタがの形に変わっていないか確認してください。<br>マウスポインタがの形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッド(LaVieのみ)の操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。<br>「パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」(p.2-22)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。 |
| USBマウスが正しく動作しない | 正しいコネクタに接続されていない | 「準備・基本編」をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。 |
| 光学式マウスが正しく動作しない | ー | 光学式マウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のようなものの上では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。<br>・反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)<br>・光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)<br>・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)<br>・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの<br>操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない無地の印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。 |
| レーザーマウスが正しく動作しない | ー | レーザーマウスは、マウス底面からのレーザーをセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。反射しやすいもの(鏡、透明なガラスなど)の上では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。<br>操作どおりにマウスポインタが動かないときは、レーザーマウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ポインタが表示されない | マウスポインタの設定が変更されている | ソフトによっては、マウスポインタの設定によりポインタが表示されなくなることがあります。<br>**VALUESTARの場合**<br>参照 「マウス」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93030010 で検索<br>**LaVieの場合**<br>参照 「マウスとスライドパッド」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93030010 で検索 |
| ワイヤレスマウスやワイヤレスキーボードが正しく動作しない | キーボード電源またはマウスのスイッチがOFFになっている | キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチをONにしてください。<br>キーボード電源 / ON/OFFスイッチ<br>ワイヤレスキーボード / ワイヤレスマウス |
| | パソコン本体から離れたところで操作している | 周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウス、キーボードをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。 |
| | 周辺からの電波の影響を受けている | 次のような状態になっている場合は、電波の影響を受けやすいので避けてください。<br>・パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある<br>・パソコン本体の前に周辺機器を設置してある<br>・このパソコンを複数、隣接して使っている<br>・このパソコンに隣接した場所で電気製品を使用している<br>・周囲で2.4GHz帯(2.4〜2.4835GHz)を使用する機器(無線LAN、Bluetooth®(ブルートゥース)テクノロジー対応機器、電子レンジなど)を使用している<br>・携帯電話やコードレス電話などで話し中 |
| | **LaVie L**<br>ワイヤレススイッチがオフになっている | 本体前面にあるワイヤレススイッチ( )がオンになっているか確認してください。<br>ワイヤレススイッチについて 参照 「各部の名称」 |
| | **LaVie**<br>機内モードがオンになっている | ワイヤレスマウスを使うときは、機内モードがオフになっている(ワイヤレスランプが点灯している)ことを確認してください。 |
| | 無線でマウス、キーボードからパソコン本体に信号を送るための登録内容が消えている | このパソコンのご購入時には登録されていますが、何らかの原因で登録内容が消えることがあります。「付録」をご覧になり、登録をしなおしてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| ワイヤレスマウスやワイヤレスキーボードが正しく動作しない | キーボード、マウスの電池が切れている | 「準備・基本編」をご覧になり、電池を新しいものに交換してください。 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチを切り、10秒後に再度スイッチを入れなおしてください。<br>それでも正しく動作しないときは、キーボードやマウスの故障かパソコン本体の電波受信部の故障が考えられます。NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.2-61）にお問い合わせください。修理、交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、パソコン本体のすべてを点検いたします。 |
| **LaVie**<br>NXパッドが正しく動作しない | 指先やNXパッドが汚れている | 水分や油分などの汚れをふき取ってから操作してください。 |
| | NXパッドの2か所以上に同時に触れている | マルチタッチ・ジェスチャーでの操作以外では、NXパッドの1か所だけに触れるようにしてください。 |
| | キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしている | ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッドのタップ操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。<br>1.スタート画面でデスクトップをクリック<br>2.チャーム バーを表示し、「設定」をクリック<br>3.「コントロール パネル」をクリック<br>4.「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック<br>「マウスのプロパティ」が表示されます。<br>5.「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップを無効にする」のチェックを外す<br>6.「OK」をクリック<br>これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。 |
| | NXパッドが無効になっている | キーボードの【Fn】を押しながら【スペース】を押してNXパッドを有効に切り換えてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった | ー | **VALUESTARの場合**<br>やわらかい布などでふき取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にお問い合わせください。<br>**LaVieの場合**<br>キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にお問い合わせください。<br>**重要**<br>● ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、パソコン(LaVieの場合)やキーボードが故障することがあります。<br>● パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。 |

# 電源／バッテリのトラブルがおきたとき

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 電源スイッチを押しても電源が入らない | **VALUESTAR**<br>本体の電源コードが正しく接続されていない | 「準備・基本編」の第1章をご覧になり、電源コードの接続を確認してください。<br>VALUESTAR Nの場合は、ACアダプタの接続状態も確認してください。 |
| | **LaVie**<br>バッテリパックやACアダプタが正しく接続されていない | 「準備・基本編」の第1章、第3章をご覧になり、バッテリパックやACアダプタの接続状態を確認してください。 |
| | **LaVie**<br>ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足している | ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)へお問い合わせください。 |
| | 正しい操作方法で電源を入れていない | 下記をご覧になり、正しく電源を入れているか確認してください。<br>**電源スイッチの操作方法**<br>「準備・基本編」第2章の「パソコンの電源を入れる」<br>**電源ランプが点灯している場合**<br>参照 「電源を入れても画面に何も表示されない」(p.2-24) |
| | パソコン本体が帯電している | 次の操作をおこない、放電してみてください。<br>**VALUESTARの場合**<br>1. パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜く<br>2. そのまま90秒以上放置する<br>3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおす<br>**LaVieの場合**<br>1. パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを外す<br>2. そのまま90秒以上放置する<br>3. バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおす<br>バッテリパックの取り外し方について 参照 「準備・基本編」第3章の「バッテリ」 |
| **VALUESTAR**<br>リモコン(添付モデルのみ)やキーボードの電源スイッチで電源が入らない | − | 本体の電源スイッチを押してみてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| **VALUESTAR**<br>電源スイッチを押して電源ランプが点灯したのに、画面に何も表示されない | ディスプレイが正しく接続/設定されていない | **VALUESTAR Lの場合**<br>「準備・基本編」第1章の「電源コードを接続する」をご覧になり、ディスプレイの電源の接続を確認してください。<br>**VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合**<br>「準備・基本編」第3章の「音量、画面の明るさ、文字サイズの調節」をご覧になり、画面消灯モードになっていないか確認してください。<br><br>この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、「電源を入れても画面に何も表示されない」(p.2-24)の対処方法をおこなってください。 |
| **VALUESTAR**<br>電源コードをまちがって抜いた<br>停電で急に電源が切れた | ー | 落ち着いて電源コードのプラグを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。<br>普段どおりパソコンが起動して、Windowsの画面が表示されれば大丈夫です。<br>おかしな画面が表示されたときは、「パソコン起動時のトラブル」(p.2-24)でその現象を探してください。 |
| 電源が切れない<br>強制的に電源を切りたい | ー | 「Windowsを強制的に終了する」(p.2-22)をご覧ください。 |
| パソコンの電源が勝手に入ってしまう | ー | 「おてがるバックアップ」で、バックアップのスケジュール設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。<br>また、TVモデルの場合は、予約の実行や番組表を自動取得する前にパソコンが自動的に起動して、予約や番組表取得に備えます。<br>ご購入時の状態では、番組表の受信のため、毎日午前10時にパソコンが自動的に起動します。起動のタイミングについて詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。<br>そのほか、インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなど更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。 |
| パソコンの電源が勝手に切れる | ー | このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「準備・基本編」第3章の「省電力機能」をご覧ください。<br>TVモデルの場合、ご購入時の状態では、予約実行後にクイックモードで終了します。<br>いずれの場合も、電源が切れたわけではありません。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された | CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされている | CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。 |
| **LaVie**<br>バッテリの駆動時間が短くなった<br>フル充電できない | ー | 次の手順で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使ってバッテリリフレッシュをおこなってください。<br>1.パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む<br>2.チャーム バーを表示し、「検索」-「アプリ」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック<br>「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。<br>3.「次へ」をクリック<br>4.「開始」をクリック<br>5.「はい」をクリック<br>バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。<br>6.診断結果を確認する<br>「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリパックを交換してください。<br>**重要**<br>**●バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。**<br>**●バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。**<br>**●バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。**<br>お使いの機種で使用できるバッテリパックについては、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス＆サポート」(http://121ware.com/support/)の「商品情報検索」で確認できます。<br>バッテリパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/)にお問い合わせください。<br>使用済みバッテリパックのリサイクルについて 参照<br>「バッテリパックのリサイクルについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150050 で検索 |

# 使用中に画面に何も表示されなくなったとき

パソコン起動時の画面表示のトラブルのときは、「パソコン起動時のトラブル」(p.2-24)をご覧ください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| ディスプレイ(画面)に何も表示されない | ディスプレイが省電力状態になっている | キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、マウスを軽く動かしてみてください。<br>ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。 |
| | パソコン本体が省電力状態になっている | パソコン本体の電源スイッチを押してください。ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。<br>省電力機能について 参照 「準備・基本編」第3章の「省電力機能」 |
| | ー | 省電力状態から正常に復帰できないときは、「省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.2-26)をご覧ください。 |
| | パソコン本体やディスプレイのケーブルなどが正しく接続されていない | 「準備・基本編」をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。<br>それでも問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください(p.2-61)。 |
| | ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっている | 「準備・基本編」第3章の「音量、画面の明るさ、文字サイズの調節」をご覧になり画面の輝度(明るさ)を調節してください。ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイのマニュアルをご覧になり、画面の輝度(明るさ)を調節してください。 |
| | **VALUESTAR**<br>ディスプレイの電源が切れている | ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。「準備・基本編」第2章の「パソコンの電源を入れる」をご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。 |
| | **VALUESTAR**<br>画面消灯モードが設定されている(VALUESTAR Lを除く) | 明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。画面消灯モードのオン/オフが切り換わります。<br>参照 「画面消灯モードについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180170 で検索 |
| | **VALUESTAR L**<br>パソコン起動後にディスプレイを接続した | ディスプレイがセットになっているモデルの場合、パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押して電源を強制的に切った後、電源を入れなおしてください。なお、この方法で電源を切ると、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ディスプレイ（画面）に何も表示されない | **LaVie、VALUESTAR W**<br>外部ディスプレイにのみ表示する設定になっている | 【■】+【P】を押して表示される画面で【P】、【↑】、【↓】を使って画面の出力先を変更し、【Enter】を押してください（LaVieは【Fn】+【F3】でも出力先を変更する画面を表示できます）。<br>いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます。<br>また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。<br>参照 「画面を表示するディスプレイを切り換える」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180120 で検索 |

# メッセージが表示されたとき

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された | － | サインインしているユーザー アカウントの種類により対応が異なります。<br>**管理者の場合**<br>「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。<br>**標準の場合**<br>「標準」のユーザー アカウントでパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。 |

# パスワードのトラブルがおきたとき

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| パスワードが間違っているというメッセージが表示される | (キャップスロック)、(ニューメリックロック)の状態が変更されている | 必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。<br>また、ニューメリックロックがオンになっていると、テンキーから数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。<br>キャップスロック、ニューメリックロックについて<br>参照 「キーの使い方」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040030 で検索 |
| Windowsのパスワードを忘れた | ― | **Microsoft アカウントのパスワードの場合**<br>オンラインでリセットすることができます。詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください(p.2-19)。<br>**重要**<br>**リセット後に設定した新しいパスワードでサインインするには、このパソコンがインターネットに接続している必要があります。**<br>**ローカル アカウントのパスワードの場合**<br>一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないで をクリックすると)、「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。<br><br>または、このパソコンの管理者権限を持った、ほかのユーザー アカウントを登録してあれば、そのユーザー アカウントでサインインし、次の手順でパスワードを設定しなおすことができます。<br>1. スタート画面で「デスクトップ」をクリック<br>2. チャーム バーを表示し、「設定」をクリック<br>3. 「コントロール パネル」をクリック<br>4. 「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」をクリック<br>5. 「ユーザー アカウント」-「別のアカウントの管理」をクリック<br>表示された画面で、パスワードを忘れてしまったユーザーをクリックし、「パスワードの変更」でパスワードを設定しなおしてください。<br>**重要**<br>**ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。** |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | 「再セットアップする」(p.2-45)をご覧になり、再セットアップしてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れた | ― | BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-61)にご相談ください。<br>BIOSセットアップユーティリティについて 参照 「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索 |
| ハードディスクのパスワードを忘れた | ― | NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。 |

# その他のトラブル

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった | DVDやCDの再生中または書き込み中 | DVDやCDの再生中または書き込み中のときは停止させてからディスクを取り出してください。 |
| | 電源が入っていない | 電源を入れてからディスクを取り出してください。 |
| | ー | 画面の操作で取り出しをしてみてください。<br>1. チャーム バーを表示し、「検索」をクリックする<br>2. 「アプリ」をクリックする<br>3. 「コンピューター」をクリックする<br>4. DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックする |
| | ー | アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。<br>アクセスランプについて 参照 「各部の名称」 |
| | 上記の対処方法で解決しない場合 | **VALUESTAR Nの場合**<br>DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、121コンタクトセンター(p.2-61)にお問い合わせください。<br>**その他の機種の場合**<br>パソコンの電源が入っているにもかかわらず、DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、次に記載された対処で非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出してください。<br>VALUESTAR Lの場合は、非常時ディスク取り出し穴を使う前に、正しい手順でルーフカバーを外してください。<br>ルーフカバーの外し方について 参照 「内部メモリの増設」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020130 検索<br>1. パソコン本体の電源を切る<br>2. ディスクトレイの下の非常時ディスク取り出し穴(直径2mm程度の穴)に、クリップの先などを差し込む<br>強く押し込むとディスクトレイが5〜15mmほど飛び出します。<br>3. ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す |
| パソコンを落とした | ー | 電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して(LaVieのみ)ください。パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください(p.2-61)。 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 音がでない | 音量が「ミュート」になっている | 次の手順で、ボリュームを確認してください。<br>1. チャーム バーを表示し、「設定」をクリック<br>2. 音量のアイコンを確認する<br>**アイコンが になっている場合**<br>アイコンをクリックして表示される、ボリューム コントロールの をクリックしてミュート(消音)を解除してください。<br>音量の調節のしかたについて 参照 「準備・基本編」第3章の「音量、画面の明るさ、文字サイズの調節」<br>**アイコンに数字が表示されている場合**<br>アイコンに表示されている数字がボリュームです。表示されている数字が0や小さい場合は、アイコンをクリックし、表示されるボリューム コントロールで音量を上げてください。<br>音量の調節のしかたについて 参照 「準備・基本編」第3章の「音量、画面の明るさ、文字サイズの調節」 |
| HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどでDVDや動画がなめらかに再生できない(HDMIコネクタやHDMI出力端子を搭載しているモデルのみ) | リフレッシュレートまたは画面解像度の設定が適切ではない | リフレッシュレートを上げるか、または画面解像度を下げてください。<br>参照 「解像度を設定する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180030 で検索 |
| リモコンが効かない、効きが悪い(リモコン添付モデルのみ) | 電池が切れている | 電池を交換してください。電池の交換方法については、「準備・基本編」第3章の「リモコン」をご覧ください。 |
| | **LaVie**<br>パソコンの電源が切れている | LaVieでは、パソコンが休止状態または電源が切れている場合は、リモコンでの操作はできません。パソコン本体の電源スイッチで電源を入れてから使用してください。 |
| | リモコンの使用範囲内ではない | リモコンはパソコン本体から3m以内で使ってください。 |
| | リモコンの登録が正しくない | リモコンからの信号をパソコン本体に送るためには、リモコンの登録が必要です。何らかの原因で登録内容が消えて、リモコンでの操作ができなくなることもあります。<br>「準備・基本編」第3章の「リモコン」をご覧になり、登録をしなおしてください。 |
| | 操作ボタンが正しくない | ソフトによって、使えるリモコンのボタンが異なります。また、モデルによっては、使用しないボタンがあります。ほかのボタンが使えるか確認してください。<br>TVモデルのテレビのリモコン操作については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。<br>テレビ以外のリモコン対応ソフトの操作可能なボタンについて 参照 「リモコン」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索 |

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| リモコンが効かない、効きが悪い(リモコン添付モデルのみ) | **LaVie**<br>機内モードがオンになっている | リモコンを使うときは、機内モードがオフになっている(ワイヤレスランプが点灯している)ことを確認してください。 |
| **VALUESTAR L**<br>NVIDIA GeForce GT 630ディスプレイドライバを誤ってアンインストールしてしまい、再起動後Windows 8が起動できない | OS標準のディスプレイドライバの不具合の可能性がある | 次の手順をおこなってください。<br>1. パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴが表示されたら「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す<br>BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。<br>2. 「Boot」メニューを表示し、「Launch CSM」を「Always」に変更する<br>3. 【F10】を押す<br>4. 表示された画面で「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す<br>システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。<br>5. パソコンが再起動したら、ディスプレイドライバがインストールされていることを確認する<br>製造用のディスプレイドライバが自動的にインストールされます。<br>自動的にインストールされていない場合は、適当なディスプレイドライバをインストールしてください。<br>6. パソコンを再起動する<br>7. 手順1の方法でBIOSセットアップユーティリティを起動する<br>8. 「Boot」メニューを表示し、「Launch CSM」を「Never」に変更する<br>9. 「Security」メニュー内の「Secure Boot」が「Enabled」に設定されていることを確認する<br>「Disabled」に設定されている場合は、「Enabled」に変更してください。<br>10. 【F10】を押す<br>11. 表示された画面で「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す<br>システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。<br>BIOSセットアップユーティリティについて 参照 「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索 |
| 再セットアップの画面が表示できない | － | 再セットアップメディアを使って再セットアップしてください。再セットアップ方法は、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.2-53)をご覧ください。<br>再セットアップメディアは作成する必要があります(p.2-10)。 |

トラブル予防・解決編

第4章

# 再セットアップする

**Windowsの状態が悪くなったときに、「PCのリフレッシュ」でWindowsのパフォーマンスを向上させたり、「PCのリセット」で初期化する方法について説明します。**
**このほかに、NECの提供する「再セットアップメディア」を使った再セットアップ方法などについても説明しています。**

**この操作により、パソコンのデータや設定が消えてしまいます。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。**



VALUESTARでSSDが搭載されたモデルは、再セットアップをおこなうときは、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をあわせてご覧ください。

## この章の操作をおこなう前に

「Windowsをリフレッシュする」の操作をおこなうと、主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを除く内容は購入時の状態に戻ります。
また、「PCを初期状態に戻す」、「再セットアップ」の操作をおこなうと、パソコンが購入時の状態に戻り、作成したデータや設定は初期化されます。

次の順番でチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

・ウイルスチェック(p.2-23)
・システムの復元を試みる(p.2-46)
・「おてがるバックアップ」で取ったバックアップで復元する(p.2-7)

### システムの復元を試みる

Windowsを構成する基本的なファイルや設定情報を、作成した過去の「復元ポイント」に戻します。
「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

**重要**

- **ドライバの更新やソフトのインストールなどをおこなっていない場合は、復元ポイントが作成されていないことがあります。その場合は、システムの復元をおこなうことはできません。**
- **システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。**
- **システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。**
- **システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。**
  **なお、ソフトにより、復元ポイントを作成した時点の状態に戻らないことがあります。必要に応じてソフトの追加/削除や更新をおこなってください。**
- **手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。**

**1** スタート画面で「デスクトップ」をクリック

**2** チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

**3** 「コントロール パネル」をクリック

**4** 「システムとセキュリティ」-「システム」-「システムの保護」をクリック

「システムのプロパティ」が表示されます。

**5** 「システムの復元」をクリック

**6** 「次へ」をクリック

復元ポイントの一覧が表示されます。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。
復元ポイントを選んで「影響を受けるプログラムの検出」を選ぶと復元の影響を確認できます。

**7** 復元ポイントを選んで「次へ」をクリック

**8** 内容を確認し、「完了」をクリック

**9** 内容を確認し、「はい」をクリック

システムの復元が始まります。復元が完了すると、パソコンが自動的に再起動します。

**重要 ご自分で復元ポイントを作成する**

**現在の状態のパソコン設定情報を「復元ポイント」として手動で作成することができます。復元ポイントを作成するには、「システムの復元を試みる」の手順1～4をおこない、「保護設定」で復元ポイントを作成するドライブを選んで「構成」をクリックし、「システムの保護を有効にする」を◉にし、「OK」をクリックしてください。**

上記の操作をおこなう前に、あらかじめバックアップを取っておくことをおすすめします(p.2-3)。

再セットアップを、NECで代行するサービス(有料)もあります。ご自宅からパソコンを引き取り後、再セットアップを実施してご自宅へ配送します。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/re-set/

## Windowsをリフレッシュする（PCのリフレッシュ）

PCのリフレッシュはWindows 8の機能です。主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを保持したままOS（Windows 8）を再インストールします。

### PCのリフレッシュで保持される主な項目

・ユーザー アカウント
・Wi-Fiやモバイルネットワーク接続設定
・壁紙
・ドキュメントのデータ
・Windows ストア アプリ　など

**重要 PCのリフレッシュで保持されない内容について**

**ファイルの関連付けやディスプレイの設定、Windows ファイアウォール設定など、設定を復元すると問題を再現する可能性のある設定は購入時の状態に戻ります。**
**なお、PCのリフレッシュ後、再設定のために、復元されなかったデスクトップ アプリなどの一覧がHTMLファイルでデスクトップに作成されます。**
**保持されない内容については、あらかじめバックアップを取ることをおすすめします。**

### PCのリフレッシュをおこなう

**重要**

**この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。**

**1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**

**2 「PC設定の変更」をクリック**

**3 「全般」をクリック**

**4 「PCをリフレッシュする」の「開始する」をクリック**

**5 「次へ」をクリック**

**6 「リフレッシュ」をクリック**

PCのリフレッシュが開始されます。

PCのリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンが起動します。

**7 パソコンにサインインする**

サインインすると、PCの準備が始まります。完了すると、パソコンが使えるようになります。

この後は、必要に応じてバックアップを取ったデータを復元してください。

### ソフトの設定を更新する

PCのリフレッシュ機能を利用し、システムの状態を戻した場合、「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」、「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」が正常に動作しない場合があります。PCのリフレッシュ後に、次の手順で設定を更新してください。

**●「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」の場合**

**1 チャーム バーを表示し、「検索」をクリック**

**2 「アプリ」をクリック**

**3 「エクスプローラー」をクリック**

**4 エクスプローラーで「C:¥Program Files¥NECBatt¥」フォルダを表示する**

**5 「instnbw」または「instnbw.exe」をダブルクリック**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

システム再起動後に「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」が利用できるようになります。

●「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」の場合

1 チャーム バーを表示し、「検索」をクリック

2 「アプリ」をクリック

3 「エクスプローラー」をクリック

4 エクスプローラーで「C:¥Program Files¥NPSpeed¥」フォルダを表示する

5 「InstPmcW」または「InstPmcW.exe」をダブルクリック

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

システム再起動後に「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」が利用できるようになります。

## PCを初期状態に戻す（PCのリセット）

PCのリセットはWindows 8の機能です。パソコンをご購入時の状態に戻します。セットアップ後におこなった設定や個人データは消去されます。

**重要 譲渡や廃棄の際は再セットアップメディアを使う**

**一度パソコンのハードディスクに保存されたデータは、PCのリセットをおこなっても消去できない場合があります。パソコンを譲渡または廃棄する際は、再セットアップメディアを使ってハードディスクのデータ消去をおこなうことをおすすめします。**

参照 ハードディスクのデータ消去について（p.2-53）

### PCのリセットの準備をおこなう

**①必要なものを準備する**

・「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のプロダクトキー（Office 2010モデルのみ）※

※プロダクトキーは「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。

・『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）

そのほか、このパソコンを購入後に自分でインストールしたアプリに必要なCD-ROMなどを準備してください。

**②バックアップを取ったデータの確認**

PCのリセットをおこなうと、パソコンはご購入時の状態に戻ります。大切なデータや設定は、あらかじめバックアップを取っておいてください。

**③初回セットアップで使用した次の情報を控える**

・Microsoft アカウントの場合

- Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワード
- ワイヤレスLANのネットワーク名（SSID）とパスワード（VALUESTAR Lを除く）

・ローカル アカウントの場合
- ユーザー名とパスワード

**重要**

- **再セットアップ後にバックアップしたデータを復元する際、ユーザー アカウントが一致しないとデータが復元できなくなります。**
- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー アカウントも一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー アカウントを控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。**

初回セットアップ時にローカル アカウントでセットアップした後、Microsoft アカウントを取得した場合は、新たに取得したMicrosoft アカウントでセットアップすることもできます(ワイヤレスTVデジタル添付モデルを除く)。

**④インターネットの設定を控える**

インターネットの設定も初期化されるため、次の項目を控えてください。プロバイダの会員証に情報が書かれている場合は、会員証を準備してください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバー
・ニュースサーバー

また、必要に応じてワイヤレスLANの設定を控えてください。

**⑤BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す(初期値を変更している場合のみ)**

BIOS(バイオス)の設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。
手順について詳しくは、「トラブル予防・解決編」第3章の「パソコン起動時のトラブル」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」(p.2-26)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティについて 参照
「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索

**⑥市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す**

市販の周辺機器をすべて取り外し、「準備・基本編」の第1章で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。
DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

## PCのリセットをおこなう

**重要**

**この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。**

**1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**

**2 「PC設定の変更」をクリック**

**3 「全般」をクリック**

**4 「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の「開始する」をクリック**

**5 「次へ」をクリック**

複数のドライブがあるパソコンでは、「PCに複数のドライブがあります」と表示されます。この場合は、「Windowsがインストールされているドライブのみ」をクリックし、表示された画面で「ファイルの削除のみ行う」をクリックしてください。
「ドライブを完全にクリーンアップする」を選ぶと、Dドライブのデータも削除されます。

**6 「初期状態に戻す」をクリック**

パソコンが再起動し、PCのリセットが開始されます。

PCのリセットが完了すると、パソコンが再起動します。この後は、「準備・基本編」第1章の「インターネットへ接続する準備」、「第2章 セットアップする」をご覧になり、セットアップをおこなってください。
この後は、「PCのリセットが完了したら」をご覧ください。

## PCのリセットが完了したら

**①「Microsoft Office 2010※」のプロダクトキー入力やライセンス認証をおこなう(Office 2010モデルをお使いの場合)**

セットアップ後にはじめてMicrosoft Office 2010を使用するときは、「準備・基本編」第2章の「Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

※ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home&Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

**②テレビの接続や設定などをやりなおす(TVモデルのみ)**

『テレビを楽しむ本』をご覧になり、テレビのチャンネル設定などの初期設定をやりなおしてください。ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合は、ワイヤレスTVデジタルの初期設定とインターネット接続の設定もおこなってください。

**③周辺機器を取り付ける**

市販のメモリ、プリンタ、スキャナなどの周辺機器を取り付け、設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルをご覧になり作業してください。

**④市販のソフトをインストールする**

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、各ソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールしなおしてください。

**⑤バックアップを取ったデータを復元する**

「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータについては、「トラブル予防・解決編」第1章の「「おてがるバックアップ」の使い方」(p.2-7)をご覧ください。
音楽データなどの著作権保護されたデータについては、データをバックアップしたソフトなどで復元してください。

**重要**

- **複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。スタート画面で画面右上のユーザー アカウントをクリックし、切り換えたいアカウント名をクリックして別のユーザーで再度サインインし、ユーザーごとにデータを復元してください。**
- **複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザー アカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー アカウントをもとにユーザー アカウントを作成してください。**
- **「おてがるバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94021121 で検索)をご覧ください。**

**⑥Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする**

必要に応じて、Windows Updateや、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

# 再セットアップする

ここでは、パソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域サイズを変更して再セットアップする方法を説明しています。
ハードディスクの知識があるかた向けの操作ですので、初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、ご購入時のサイズのまま再セットアップするか、「Windowsをリフレッシュする(PCのリフレッシュ)」(p.2-47)や「PCを初期状態に戻す(PCのリセット)」(p.2-48)をおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域を最大にして再セットアップすると、Dドライブのない構成(Cドライブのみ)になります。

## 再セットアップの準備をおこなう

**重要 バックアップを取ったデータの確認について**
**この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなくドライブのデータも失われます。あらかじめバックアップを取っておいてください。**

再セットアップの前に、「PCのリセットの準備をおこなう」(p.2-48)の①～⑥をおこなってください。

## 再セットアップする

**重要**
- **外付けのハードディスクなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。**
- **LaVieの場合、次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。**

### チャーム バーから再セットアップ画面を起動する

チャーム バーから再セットアップできないときは、BIOSセットアップユーティリティから再セットアップすることもできます(p.2-52)。

1. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**
2. **「PC設定の変更」をクリック**
3. **「全般」をクリック**
4. **「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリック**
5. **「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック**
6. **「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック**
7. **「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**
8. **ドライブのサイズを選んで「実行」をクリック**
9. **「実行します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリック**

   再セットアップが始まります。
   再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、「再セットアップが完了したら」(p.2-52)をご覧ください。

## BIOSセットアップユーティリティから起動する

通常の状態でWindowsが動作しないときは、BIOSセットアップユーティリティからも再セットアップの画面を表示することができます。

### 1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

### 2 パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

### 3 【→】、【←】で「終了」(または「Exit」)メニューを表示し、【↓】、【↑】で「HDD リカバリー」(または「HDD Recovery」)を選んで【Enter】を押す

確認の画面が表示された場合は、「はい」(または「Y」、「Ok」、「Yes」)を選んで【Enter】を押してください。

### 4 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリック

### 5 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック

### 6 「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック

### 7 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「Windows 8」をクリック

### 8 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

### 9 ドライブのサイズを選んで「実行」をクリック

### 10 「実行します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリック

再セットアップが始まります。
再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、「再セットアップが完了したら」(p.2-52)をご覧ください。

## 再セットアップが完了したら

再セットアップが完了したら、「準備・基本編」第1章の「インターネットへ接続する準備」、「第2章 セットアップする」をご覧になり、セットアップをおこなってください。
その後、「PCのリセットが完了したら」(p.2-50)の①〜⑥をおこなってください。

**重要**

**PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010※」はインストールされません。別途、インストールする必要があります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。**

※ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

# 再セットアップメディアを使って再セットアップする

## 再セットアップメディアでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップメディアとは」(p.2-10)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。
このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップメディアがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。
また、再セットアップメディアを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

再セットアップメディアについて 参照 「トラブル予防・解決編」第1章の「再セットアップメディアを作成する」(p.2-10)

**●おてがるバックアップ**

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で取ったバックアップデータを使ってハードディスクを復元することができます。

**●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ**

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低70Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

**重要**

- **この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。**
- **再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **再セットアップディスクが2枚以上の場合は、Windows 8の機能を使った「PCのリセット」(p.2-48)と「PCのリフレッシュ」(p.2-47)をおこなうことはできません。「再セットアップメディアを使った再セットアップ手順」(p.2-54)をご覧になり、「NECリカバリーツール」から再セットアップをおこなってください。**

**●ハードディスクのデータ消去**

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 8の機能を使った「PCのリセット」では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。パソコンの処分について詳しくは、「付録」の「パソコンの売却、処分、改造について」をご覧ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- **しっかりモードプラス(3回消去+検証)**
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

**重要**

- **この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。**
- **LaVieの場合は、パソコンの電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。**

- データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。
- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、「トラブル予防・解決編」第3章の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」(p.2-26)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。
- SSDやハードディスクのデータを消去中に、停電などの原因でデータ消去が中断された場合は、もう一度やりなおしてください。データ消去が中断された状態では、Windows 8を起動しないでください。

## 再セットアップメディアを使った再セットアップ手順

**重要**

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

**1 作成した再セットアップメディアを用意する**

**2 「PCのリセットの準備をおこなう」(p.2-48)の①～⑥をおこなう**

**3 パソコンに再セットアップメディアをセットする**

**4 パソコンの電源を切る**

通常の操作で電源を切ることができない場合は、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

**5 パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す**

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

この後の操作は機種により異なります。

LaVie L、LaVie S、VALUESTAR Nの場合は、手順6へ進んでください。

VALUESTAR W、VALUESTAR Lの場合は、手順8へ進んでください。

**6 【→】、【←】で「終了」(または「Exit」)メニューを表示し、【↓】、【↑】で「Boot Override」を選んで【Enter】を押す**

確認メッセージが表示された場合は、「はい」(または「Yes」)を選んで【Enter】を押してください。

**7 【↓】、【↑】で表示された画面で再セットアップメディアのデバイス名を選んで【Enter】を押す**

通常は「Windows Boot Manager」と手順3でセットした再セットアップメディアのデバイスの2つが表示されます。

NECロゴが表示され、「キーボードレイアウトの選択」の画面が表示されます。

手順9へ進んでください。

**重要**

**通常のようにパソコンが起動してしまった場合は、再セットアップメディアのデバイスを選択しなかった事が考えられます。手順4からやりなおしてください。**

**8 【→】、【←】で「Exit」メニューを表示し、【↓】、【↑】で「Boot Override」欄にある再セットアップメディアのデバイス名を選んで【Enter】を押す**

通常は「Windows Boot Manager」と手順3でセットした再セットアップメディアのデバイスの2つが表示されます。

NECロゴが表示され、「キーボードレイアウトの選択」の画面が表示されます。

手順9へ進んでください。

**重要**

**通常のようにパソコンが起動してしまった場合は、再セットアップメディアのデバイスを選択しなかった事が考えられます。手順4からやりなおしてください。**

**9** 「Microsoft IME」をクリック

**10** 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック

**11** 「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック

**12** 「回復ツール」が表示されたら、「Windows 8」をクリック

「回復ツール」は「NECリカバリーツール」と表示される場合があります。

**13** 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

**14** 以降は、画面の指示にしたがって操作する

再セットアップが完了すると、「ライセンス条項」の画面が表示されます。再セットアップメディアをパソコンから取り外してください。

**15** 「再セットアップが完了したら」(p.2-52)以降の説明を参考に、セットアップ、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをおこなう

「⑥Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」(p.2-50)の手順まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

## パソコン全体を復元する

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」でバックアップを作成した時点の状態に戻します。

**1** 「再セットアップメディアを使った再セットアップ手順」(p.2-54)の手順12までをおこなう

**2** 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「バックアップ時の状態に戻す」をクリック

**3** 「おてがるバックアップ」が起動したことを確認してから次の手順をおこなう

**●バックアップデータが外付けハードディスクなどのUSB機器にある場合**

バックアップデータを保存したUSB機器を接続する

USB機器のアクセスランプが消灯してから次の手順へ進んでください。

**4** 以降は、画面の指示にしたがって操作する

復元が完了すると、パソコンを再起動します。再起動の前に再セットアップメディアを取り外しておいてください。

トラブル予防・解決編

# 第5章

# サービス＆サポートのご案内

ここでは、NECの提供するサービス＆サポートについて紹介しています。
パソコンに関する各種情報を提供するホームページ「121ware.com」や、サポート窓口などを活用して、快適なパソコンライフを送りましょう。

# お客様登録のお願い

「お客様登録」とは、お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日などの情報を、121wareに登録することです。121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。

## 登録のメリット

**1 登録料・会費無料**
登録料や会費は無料です。
法人のお客様としてご使用の場合も、登録をおすすめします。

**2 電話での「使い方相談」**
お客様登録をしていただくことで、お電話での「使い方相談」をご利用いただけます。
お電話の方法や相談できる内容については、「NECのサポート窓口に電話する」(p.2-61)をご覧ください。

**3 あなただけのマイページ**
マイページは、あなた専用のページです。
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

**4 NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet**
NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえます。
NEC商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

**その他の特典**

**買い取りサービス**
インターネットから簡単に買い取りサービスに申し込めます。

**修理**
インターネットで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

**メールニュース**
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※サービス内容などは予告なしに変更される場合があります。

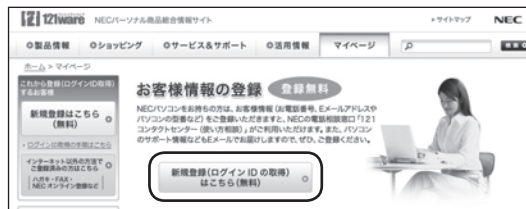
パソコン本体以外の商品の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

## お客様登録をする

**重要**
- **次の手順をおこなうにはインターネット接続環境が必要です。**
- **すでにご登録済みのお客様や121wareお客様登録番号をお持ちのかたは、新規登録をする必要はありません。「マイページ」上部の「ご購入商品を登録してください 保有商品の追加登録はこちらから」をクリックし、必要事項を記入してください。**

NECパーソナルコンピュータ(株)は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取り扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

**1 「121ware.com」(http://121ware.com/)にアクセスして、「マイページ」をクリックする**

**2 画面の説明をお読みになり、「新規登録(ログインIDの取得)はこちら(無料)」をクリックする**

「ログインID」で、NECが提供するインターネットのサポートサイト「121ware」および「NEC Direct(NECショッピングサイト)」をご利用いただけます。

**3 「ご希望ID」や「パスワード」などの必要事項を入力し規約を確認後、□をクリックしてから、「次に進む」をクリックする**

**お使いのパソコンの型番、製造番号、ご購入年月日、お電話番号など必要事項をすべて記入してください。**

※Eメールによるサポート情報が必要なかたは、Eメールアドレスを入力してください。

### 4 必要に応じてお客様の情報を入力し、「OK」をクリックする

画面左上に表示された「121wareお客様登録番号」を下の欄にメモしてください。

121wareお客様登録番号(10桁の数字)

### 5 内容を確認し、「OK」をクリックする

ご購入いただいた商品の「型番」や「製造番号」、「購入年月日」を下の欄にメモしてください。

型　番

製造番号

購入年月日

登録が完了したら、121wareがEメールで登録完了通知をお送りいたします。

登録情報の追加・変更はマイページ(http://121ware.com/my/)でおこなえます。

## お客様登録に関するお問い合わせ先

「121ware(ワントゥワンウェア)登録センター」

電話: 0120-469-121(携帯電話・PHSでもご利用になれます)

受付時間:9:00 ～ 17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)

※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト121ware(http://121ware.com/)をご覧ください。

# NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

NECの「121ware.com」(http://121ware.com/)は、あなたのパソコンライフに合わせたサービスをご提供するホームページです。

※121ware.comの内容は予告なく変更される場合があります。

**①製品情報**
NECの最新パソコンの商品情報はもちろん、周辺機器やソフトウェア、ブロードバンドルータなどもご紹介しています。商品のラインアップやスペック、NECパソコンだからできる楽しみ方や、安心機能のご紹介まで、パソコンご購入の際に役立つ情報が満載です。

**②サービス＆サポート**
快適なパソコンライフを送るための、さまざまなサービス＆サポート情報をご提供しています。お使いのパソコンに関する各種情報や使い方の情報が欲しいとき、トラブル予防・解決方法を知りたいときなどにご活用ください。

**③活用情報**
パソコンの活用情報や121ware.comの使い方をご紹介します。また、パソコンのトラブル予防・点検サービスや買い取り・リサイクルなどの役立つサービスをご案内します。

**④マイページ**
マイページはお客様の専用ページです。お客様のパソコンに合った、サポートプログラムやQ&Aなどのサポート情報や、キャンペーン情報などのお得な情報をご提供しています。

「121ware.com」について 参照 「トラブル予防・解決編」第2章の「NECのWebサポート(121ware.com)でトラブルの事例を探す」(p.2-17)

# NECのサポート窓口に電話する

## 121コンタクトセンター

### 使い方相談

NEC製のパソコン・周辺機器・ソフトウェアについて、設定方法や使い方に関するご質問にお答えします。
受付時間：9:00〜19:00

**重要**

**使い方相談のご利用には、お客様登録(お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日の登録)が必要です。お客様登録の方法はp.2-58をご覧ください。なお、登録されていない場合は、NEC PCプレミアムセンターにて有料で対応いたします。**

**●電話サポート予約サービス**

ご指定の日時に「121コンタクトセンター」からお電話を差し上げるサービスです。お客様のご都合のよい日時をインターネットでご予約いただけます。

※ご予約はNECのWebサポート「121ware.com」(http://121ware.com/support/reserve-tel/)からおこなえます。
※予約状況により、お客様のご都合のよい日時に予約できない場合がございます。ご了承ください。

### 故障診断・修理受付

対応員につながるまでの時間を利用して、自動応答で問診をおこない、問題解決策をご案内します。音声ガイダンスにしたがって、症状選択や確認事項にお答えいただきながらお進みください。
受付時間：9:00〜21:00

### その他の相談

**●購入相談**

新しいパソコンや周辺機器のご購入についてご相談いただけます。
受付時間：9:00 〜17:00

**●回収・リサイクル窓口**

不要になったNEC製パソコンの回収・リサイクルに関する問い合わせ窓口です。
受付時間：9:00 〜17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)

### お問い合わせ先

**121コンタクトセンター**
**フリーコール 0120-977-121**

音声ガイダンスにしたがって、窓口番号を選択してください。
携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6000(通話料お客様負担)へ

※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
※記載されたサービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

## NEC PCプレミアムセンター

### NEC PCプレミアム電話相談サービス

「NEC PCプレミアム」とは、「使い方相談」と比べて“より幅広い時間帯”で、他社製ソフトウェアや周辺機器など“より幅広い範囲”のご相談をお受けするサポートサービスです。

「デジタルカメラとパソコンの接続方法がわからない」、「電車の乗り換え案内をインターネットで調べたい」といった、パソコンの活用に関してもご相談いただけます。

**●問い合わせ先**

0120-911-160

年中無休9:00 ～ 22:00

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6200(通話料お客様負担)へ

**●相談内容**

・ NEC製パソコンの使い方
・ NEC製周辺機器・NEC製ソフトの使い方
・ 他社製周辺機器・他社製ソフトの使い方に関する問題解決のご支援
　※NEC製PCにてご利用いただいている場合のみ
　※問題解決を保証するものではありません
・ パソコンの活用に関するもの
　※問題解決を保証するものではありません

必要に応じて、リモートサポートを使用して、画面共有/代行操作をおこないます。

**リモートサポートとは**

お客様のパソコンとサポートスタッフのパソコンをインターネットを使って接続し、お客様のパソコンの画面を一緒に確認しながら、トラブルを解決したり使い方をご案内するサービスです。

詳しくは、(http://121ware.com/navigate/support/premium/remote-support/)をご覧ください。

**●料金**

3,000円/1インシデント(税込)

※インシデントについて
　お問い合わせいただいた内容を最小単位に分解し、その単位に対して回答の提示を完了したものを1インシデントとします。お問い合わせが1回であっても、複数の回答提示になった場合は回答数分の料金がかかります。
※問い合わせの最初に、クレジットカード番号と有効期限の入力が必要です。
※デビットカード機能が付加されたクレジットカードはご利用になれません。

**重要**

**電話相談サービスチケットを事前に購入して、ご相談いただくサービスもご提供しています。詳しくは、(http://121ware.com/premcc/)をご覧ください。**

## 電話サポートを上手に使うコツ

**①事前に質問内容を整理する**

このパソコンには「PC修理チェックシート」が添付されています。

パソコンの機種やトラブルの内容、直前に何をしていたか、などを「PC修理チェックシート」に書き留めておくと、技術スタッフとスムーズにやりとりできます。

**重要**

- **「PC修理チェックシート」は、121wareサイト((http://121ware.com/support/repair/) → サービスのご案内 →3 修理を申し込む)でも入手できます。**
- **修理約款をご一読ください。修理約款はPC修理チェックシートの末尾に記載されています。**

**②パソコンのそばから電話する**

技術スタッフが電話で誘導して操作してもらうことが多いので、できれば、パソコンを操作できる場所から電話してください。

**③マニュアルを手元に置く**

このパソコンや周辺機器、ソフトなどのマニュアル(取扱説明書)を手元に集めてから電話していただくと、技術スタッフとのやりとりに役立ちます。

## 気持ちよくやりとりするために

**●落ち着いて受け答えする**

最初にお名前や「121wareお客様登録番号」、電話番号、使用機種などをお聞きします。その後で、問い合わせをお聞きします。落ち着いて順番にお話しください。

**●自分のパソコン習熟度を伝える**

技術スタッフがサポートするのにとても参考になります。パソコンを始めたばかり、3年くらいの経験がある、会社で伝票入力ならやったことがある、など、はじめに伝えていただくと時間を節約できます。

**●トラブルの説明は根気よく、正確に**

「PC修理チェックシート」に書き込んだ内容を読み上げてください。

**●原因を決めつけたり、故障と決めつけずに技術スタッフの話を聞く**

故障だと思っていても、ちょっとした操作の間違いであることが意外に多いものです。落ち着いて技術スタッフの指示にしたがってください。

# 修理を申し込む

## 121ware.comでチェックする

### パソコンの状態を確認する

マニュアルやホームページで調べてもトラブルが解決しないときは、修理を申し込む前に、「トラブル・故障診断ナビ」(http://121ware.com/support/repair/)でパソコンの状態を確認しましょう。

「トラブル内容の選択」からパソコンの症状を選び、表示された問診に答えることで、パソコンのトラブルの原因を探ります。もし故障と診断されたときは、表示された「問診結果コード」を控えて、そのまま修理をお申し込みください。

※修理お申し込みの際には、修理約款をお読みください。

### 修理を申し込む

**●ご購入後、2年目以降のかた**

ホームページから修理をお申し込みください。ホームページで修理を申し込むと、修理価格が2,000円割引となります。

「トラブル・故障診断ナビ」で問診後、そのまま修理をお申し込みください。

「NECあんしんサービス便」がご利用いただけます。

**●ご購入後、1年未満のかた**

121コンタクトセンターへ修理をお申し込みください。

ご指定の日時に121コンタクトセンターからお電話を差し上げる「電話サポート予約サービス」もご用意しています。ホームページの「電話サポート予約」をクリックして、ご希望の日時をご指定ください。

## インターネットが使えないときは

添付の「PC修理チェックシート」に必要事項を記入後、121コンタクトセンターの修理受付(p.2-61)にお電話ください。修理が必要となったときは、そのまま修理をお申し込みください。「NECあんしんサービス便」がご利用いただけます。
パソコン引渡しまでに、データのバックアップや周辺機器の取り外しなど、引渡しの準備をお願いいたします。

**重要**

**修理約款をご一読ください。修理約款はPC修理チェックシートの末尾に記載されています。**

## 宅配便引取修理 NECあんしんサービス便

玄関先でパソコンをお預かりし、約1週間でお届けします。梱包作業も配送担当者がおこなうサービスです(送料無料・梱包料無料)。NECサービスセンターで集中修理をおこなっているから安心です。

**重要**

- **修理の内容によっては1週間以上の日数を要する場合があります。**
- **修理代金は、お届け時に代金引換でお支払い願います(一部離島を除く)。**
- **必ず修理約款にご同意の上、修理をお申し込みください。**
- **ケーブルの取り外しや設置、故障品の玄関までの移動は、お客様ご自身でおこなっていただきます(ただし、当社指定の32型以上のディスプレイ一体型大型パソコンの移動のみ宅配業者がおこないます)。**
- **故障交換した部品はお返ししません。**

パソコンやデジタルカメラのデータを誤って消去してしまったり、ハードディスクが破損してしまっても、まだ諦めないでください。AOSテクノロジーズ株式会社との提携による「データ復旧サービス」(有料)をご活用ください。
(http://121ware.com/navigate/support/restoration/)

# 訪問サポート (パソコン全国出張サービス)

トラブル発生時に、お電話一本で専門スタッフがご自宅までお伺いします。

## パソコン全国出張サービス

**●お申し込み**

**0120-993-121**
**年中無休10:00 ～ 20:00**

**●サポートメニューについて**

**①パソコンの初期設定、周辺機器の接続設定の場合**

各種サポートメニュー料金　＋　訪問基本料金5,500円(税込)

・サポートメニュー

| | |
|---|---|
| インターネット接続設定 | 5,000円(税込) |
| 周辺機器設定 | 3,300円(税込)～ |
| これで安心！無線LAN初めてコース | 15,000円(税込) |

このほかにもさまざまなサポートメニューをご用意しております。
詳しくは、以下のホームページまたは電話にてご確認をお願いします。
http://121ware.com/support/zenkoku/

**②トラブル診断の場合**

8,400円(訪問基本料金を含む)

トラブル発生時、電話窓口ではうまく説明できない、とにかく訪問してみてほしいという場合に、サポートスタッフがお伺いして、トラブル原因の究明と簡単な修正作業までをおこないます。
※パソコンの症状により、別途追加メニューが必要な場合がございます。

**重要**

- 出張のみのサポートです。
- 一部地域、離島におきましては、別途料金が発生する場合がございます。
- サポート内容によっては、特別技術料を加算させていただく場合があります。
- 「パソコン全国出張サービス」は、NECパーソナルコンピュータ(株)がキューアンドエー(株)に委託して実施しているサポートサービスです。
- サービス内容などは予告なしに変更することがあります。
- 本出張サポートにはハードウェア修理は含まれません。

# データや個人情報を守るサービス（バックアップなど）

## データ保護・漏えい対策サービス

パソコンに入っている、お客様の大切なデータや個人情報などのバックアップやセキュリティ対策など、データ保護に役立つサービスを用意しています。

月額料金制ですので、サービスが不要になった場合は、月次で解約できます（毎月20日までに解約申し込みで、当該月末解約）。ご利用開始月の利用料金は無料です（同一サービスの2度目以降の利用の場合を除く）。

**●サービス一覧**

| 商　品 | 月額料金<br>（税込） | 内　容 |
|---|---|---|
| オンライン自動バックアップ | 735円 | 面倒なバックアップを自動でおこないます。 |
| データ復旧サービス月額版<br>※単品メニューなし。<br>「オンライン自動バックアップ」サービスのオプションサービス | ー | 万一のデータ消失時にも、安価にデータ復旧サービスを受けられます。 |
| 遠隔データ消去サービス | 315円 | パソコンが盗まれてしまったときの情報漏えい対策です。 |
| マカフィー･サイトアドバイザー ライブ | 210円 | 危険なWebサイトからパソコンを守りましょう。 |
| マカフィー･セキュリティスイート<br>（セキュリティ対策ソフト） | 525円<br>（3ユーザー） | インターネットやメールを安全におこなうには、セキュリティ対策ソフトが必要です。 |

いくつかのサービスを組み合わせたお得なセットもご用意しております。
サービスの詳しい内容や最新情報、お申し込みについては、こちらをご覧ください。

**http://121ware.com/support/monthly/**

※掲載されたサービス内容、価格などは予告なしに変更することがあります。

# 延長保証サービス

## PC3年間メーカー保証サービスパック(有料)

通常のメーカー保証(無料)は、修理料金・集配料金ともに1年間です。購入したら万一に備えて、メーカー保証の期間を3年間に延長しましょう。
メーカー保証の範囲内の故障※であれば、何度でも引取修理します。引取の際は、指定業者がパソコンの梱包作業もおこないます。送料、梱包箱も無料です。修理受付は121コンタクトセンターへご連絡ください。

※正常なご使用状態のもとでパソコンが故障した場合が対象です。天災や取扱いの不注意による破損・損傷は含みません。使用条件によっては、別途費用が発生します。

### 延長保証サービスの購入・お問い合わせ

申し込み期間は、パソコンお買い上げから1年未満です。延長サービスの申し込みには、お客様登録と、パソコンに同梱されている保証書※が必要となります。

※「お買い上げ日」「販売店印」が空欄の場合、「パソコンのご購入日が確認できる書類のコピー(購入店の領収書、NEC Directの納品書等)」が必要です。
※保証書はなくさないように大事に保管してください。

**NEC Direct**
http://www.necdirect.jp/service/warranty/

**NEC Directコールセンター**
**フリーコール 0120-944-500**
受付時間：9:00～18:00
※音声ガイダンスにしたがって操作してください(フリーコールのみ)。

フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6670(通話料お客様負担)へ

※ゴールデンウィーク・年末年始または、NEC Direct指定休日は休業させていただきます。

**●サービス利用にあたってのご注意**

・ご購入前にお手持ちのパソコンが対象機種となっているか、ご確認ください。NEC Refreshed PC(再生パソコン)は、対象となりません。
・パソコンに同梱する「パーソナルコンピュータ保証書」記載の購入日(VALUESTAR G／LaVie Gシリーズの場合は、「納品書」記載の納入日)より1年未満での注文成立が条件です。
・サービスパックのご購入者とご利用者が異なる場合、またはサービスパックをオプション購入(対象パソコンと別途購入)する場合は、サービスパック到着後30日以内に登録申し込み※をおこなう必要があります。本登録申し込みがない場合や、延長保証書をなくされたかたは、サービスを受けられません。
  ※登録申込書、パーソナルコンピュータ保証書(コピー)(「お買い上げ日」「販売店印」が空欄の場合には、対象パソコンの購入日が確認できる書類のコピー(購入店の領収書、NEC Directで購入された場合は納品書)の2点または3点)を登録センターに郵送
・正常な状態のパソコンにのみ加入できます。故障した後からでは加入できません。

パソコンに保存してあったデータを喪失された場合、復旧にかかる費用の一部を補償する「データ復旧安心サービスパック」もあります。申し込み期間は、パソコンお買い上げ日から90日以内です。
詳しくは(http://www.necdirect.jp/service/data/)をご覧ください。

# ソフトのサポート窓口一覧

次のソフトの製造元各社のサポート窓口については、「添付ソフトのサポート窓口一覧」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92030010 で検索）を、またNECのパソコンやソフトウェア、周辺機器については、「NECのサポート窓口一覧」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92030020 で検索）をご覧ください。

| ソフト名 | |
|---|---|
| ・i-フィルター® 6.0 | ・CyberLink MediaShow BD |
| ・Microsoft® Office Personal 2010 | ・CyberLink MediaShow 3D |
| 　・Microsoft® Office Outlook® 2010 | ・G-GUIDE® for Windows |
| 　・Microsoft® Office Excel® 2010 | ・じゃらん |
| 　・Microsoft® Office Word 2010 | ・JWord プラグイン |
| ・Microsoft® Office Home and Business 2010 | ・ついっぷるトレンド |
| 　・Microsoft® Office Outlook® 2010 | ・デ辞蔵PC |
| 　・Microsoft® Office Excel® 2010 | ・デ辞蔵PC 漢字字典付き |
| 　・Microsoft® Office Word 2010 | ・DigiBook®Browser for NEC |
| 　・Microsoft® Office PowerPoint® 2010 | ・ノートン™ アンチセフト |
| 　・Microsoft® Office OneNote® 2010 | ・NAVITIME |
| ・Microsoft® PowerPoint® 2010 楽しもう フォト ウィザード | ・100万人のための3D囲碁 |
| ・Adobe® Reader® | ・100万人のための3D将棋 ～金沢将棋レベル100～ |
| ・ウイルスバスター クラウド™ | ・100万人のための3D麻雀 |
| ・ExTOUCH | ・筆ぐるめ Ver.19 |
| ・おてがるバックアップ | ・Corel® PaintShop® Pro X4 |
| ・Roxio Creator™ LJ | ・ホットペッパー グルメ |
| ・CyberLink PowerDVD | ・マカフィー® サイトアドバイザー ライブ |
| ・CyberLink PowerDVD AVC | ・Yahoo!オークション |
| ・CyberLink PowerDVD BD | ・CyberLink YouCam 5 DE |
| ・CyberLink PowerDVD 3D | ・CyberLink YouCam BE |
| ・CyberLink MediaShow | ・楽天gateway |
| ・CyberLink MediaShow AVC | ・らくらく無線スタート® EX |

**■ここに記載されていないソフトについては、121ware.comの「パソコン添付アプリケーションのお問い合わせ窓口一覧」をご確認ください。**
**http://121ware.com/navigate/support/info/othervendor/**

# 付　録

# お手入れについて

## 準備するもの

| 軽い汚れのとき | 汚れがひどいとき |
|---|---|
|  |  |
| 乾いたきれいな布 | 水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布 |

## お手入れをするときのご注意

- 可燃性のエアダスターは使用しないでください。発火・火災の原因となることがあります。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウスの汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- お手入れの前に「準備・基本編」第2章の「パソコンの電源を切る」(p.1-45)の手順で電源を切ってください。電源コードのプラグはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

## パソコン各部の清掃のしかた

**●パソコン本体**
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

**●液晶ディスプレイ**
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

**●電源コード**
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

**●マウス**
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

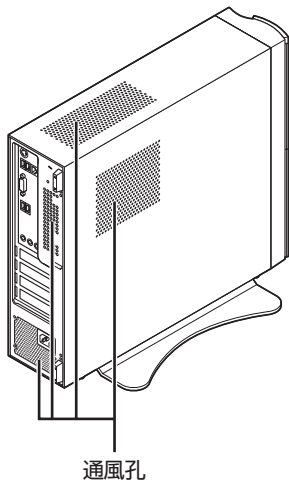
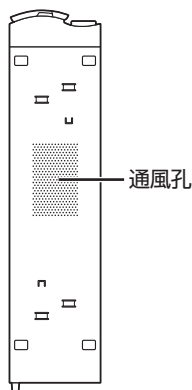
**●キーボード**
やわらかいきれいな布で軽くふいてください。ほこりなどの付いた汚れた布で強くふいた場合、キートップ表面に傷が付くおそれがあります。

**! 重要 キーボード清掃時のご注意**

- **キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスター(不燃性のもの)などで取り除いてください。**
- **キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。**

**●通風孔**

通風孔のお手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

**本体背面/左側面/上面**

**本体底面**

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

# アフターケアについて

## 保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について

参照 「トラブル予防・解決編」第５章の「NECのサポート窓口に電話する」

### 保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

## 消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。

消耗品は、使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。

有寿命部品は、使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。

安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

本製品使用のアルミ電解コンデンサは有寿命部品です。寿命が尽きた状態で使用し続けますと、電解液の漏れや枯渇に至り、異臭や発煙の発生する場合があります。その場合には直ちに使用を中止し修理を依頼してください(尚、アルミ電解コンデンサの交換は保守部品単位になります)。

| 種類 | 該当品または部品<br>（代表例） |
| --- | --- |
| 消耗品 | フロッピーディスク<br>CD-ROMディスク<br>DVD-ROMディスク<br>メモリーカード、乾電池など |
| 有寿命部品 | ディスプレイ<br>ハードディスクドライブ<br>SSD、DVD/CDドライブ<br>キーボード、マウス、ファン<br>アルミ電解コンデンサが使用されているユニット（ディスプレイ、DVD/CDドライブ、ハードディスクドライブ/SSD、電源、ACアダプタ、マザーボード、グラフィックボードに含まれる内蔵基板など） |

※記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。
詳しくは、「仕様一覧について」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索）をご覧ください。

## 消耗品や有寿命部品に関するご注意

・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

## 24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

## 液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換･返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※液晶ディスプレイセットモデルの場合、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」に記載しています。詳しくは、「仕様一覧について」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索）をご覧ください。液晶ディスプレイセットモデル以外の場合は、お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。
ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
（http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_QPHs9e7Z80.pdf）

# パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

## このパソコンを売却するには

当社はご使用済みパソコンの買い取り･買い替えサービスを提供しております。サービスの内容や買い取り価格については、次のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/support/recyclesel/)
買い取り後は、再生しリフレッシュPCとして再利用されます。リフレッシュPCについては、次のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/refreshed-pc/)

## パソコンを譲渡する際のご注意

パソコンを譲渡する際には次の点に注意してください。

・パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について 参照「トラブル予防･解決編」第4章の「再セットアップメディアを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

・第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。
・ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

## このパソコンを譲渡するには

### 譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

### 譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

お客様登録の方法について 参照「トラブル予防･解決編」第5章の「お客様登録のお願い」

## このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の左側にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

### 当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収･再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。
詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

**廃棄時の詳細について**
NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

**廃棄についてのお問い合わせ**
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)

**0120-977-121**

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)
(通話料金はお客様負担になります)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は「トラブル予防・解決編」第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

## 当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
(http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/)

※本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

## ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

**重要 パソコン廃棄・譲渡時の記載基準について**

**本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。**
**(http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_8vAEy2Fi5d.pdf)**

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。
このパソコンでは、再セットアップメディアを作成して、ハードディスクのデータ消去が可能です。

「データやファイルの削除」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

再セットアップメディアによるハードディスクの消去について 参照 「トラブル予防・解決編」第4章の「再セットアップメディアを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

## パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

# 仕様一覧

このパソコンの仕様についての詳細は、「ソフト&サポートナビゲーター」に記載のホームページをご覧ください。

VALUESTAR Gシリーズの仕様一覧については、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

仕様一覧について 参照 「仕様一覧について」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010で検索

## 本体仕様一覧

### ●VL750/JS、VL150/JS

| 型名 | | | VL750/JS | VL150/JS |
|---|---|---|---|---|
| 型番 | | | PC-VL750JS | PC-VL150JS |
| CPU | | | 第3世代 インテル® Core™ i7-3770S プロセッサー | 第3世代 インテル® Core™ i3-3220 プロセッサー |
| メインメモリ ※1※2※3 ※4 | 標準容量／最大容量 | | 8GB(DDR3 SDRAM/DIMM 4GB×2、PC3-12800対応、デュアルチャネル対応)／16GB※5※6 | 4GB(DDR3 SDRAM/DIMM 4GB×1、PC3-12800対応、デュアルチャネル対応可能)／16GB※5※6 |
| ドライブ | BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.3-8)をご覧ください) | | ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※7 | DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み] |
| サウンド機能 | 音源／サラウンド機能 | | インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※8)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル) | |
| 通信機能 | LAN | | 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応 | |
| 外部インターフェイス | サウンド関連 | マイク入力※10 | ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V] | |
| | | ヘッドフォン出力 | ライン出力と共用[対応ヘッドフォンインピーダンス 16〜100Ω(推奨32Ω)※11] | |
| | | ライン入力 | ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 1Vrms) | |
| | | ライン出力 | ステレオミニジャック×1※9(出力インピーダンス 22kΩ、出力レベル 1Vrms) | |
| 外形寸法 | 本体(突起部除く) | | 98(W)×401(D)×343(H)mm※12<br>220(W)×401(D)×343(H)mm(スタビライザ設置時) | |
| 質量 | 本体※13 | | 約9.1kg | 約8.4kg |
| 電源 | | | AC100V±10%、50/60Hz | |
| 消費電力 | 最大時 | | 約164W | 約123W |

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1： 増設メモリは、PC-AC-ME058C(8GB、PC3-12800)を推奨します。
※ 2： 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 3： 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 4： メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※ 5： メモリ増設した場合、容量が異なるメモリを増設すると、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャネル動作となり、容量差分がシングルチャネル動作となります。
※ 6： 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(8GB)を2枚実装する必要があります。
※ 7： ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 8： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 9： ディスプレイに添付のオーディオケーブルを接続します。
※ 10： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 11： 周波数特性や、出力電力を保証するものではありません。
※ 12： 本機を横置きにしてのご使用はサポートしておりません。
※ 13： 主な付属品を含みません。

# BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

| | ドライブ※1 | ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※2 | DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]※2 |
|---|---|---|---|
| 読出し | CD-ROM※3 | 最大40倍速 | 最大40倍速 |
| | CD-R | 最大40倍速 | 最大40倍速 |
| | CD-RW | 最大40倍速 | 最大40倍速 |
| | DVD-ROM | 最大16倍速 | 最大16倍速 |
| | DVD-R | 最大16倍速 | 最大10倍速 |
| | DVD+R | 最大16倍速 | 最大10倍速 |
| | DVD-RW | 最大10倍速 | 最大8倍速 |
| | DVD+RW | 最大10倍速 | 最大8倍速 |
| | DVD-RAM※9 | 最大5倍速 | 最大6倍速 |
| | DVD-R (2層)※6 | 最大8倍速 | 最大8倍速 |
| | DVD+R (2層) | 最大8倍速 | 最大8倍速 |
| | BD-ROM | 最大8倍速 | − |
| | BD-R (1層)※12 | 最大8倍速 | − |
| | BD-R (2層)※12 | 最大8倍速 | − |
| | BD-RE (1層) | 最大6倍速 | − |
| | BD-RE (2層) | 最大6倍速 | − |
| 書込み/書換え | CD-R | 最大40倍速 | 最大40倍速 |
| | CD-RW※4 | 最大10倍速 | 最大10倍速 |
| | DVD-R※5 | 最大16倍速 | 最大16倍速 |
| | DVD+R | 最大16倍速 | 最大16倍速 |
| | DVD-RW※8 | 最大6倍速 | 最大6倍速 |
| | DVD+RW | 最大8倍速 | 最大8倍速 |
| | DVD-RAM※9 | 最大5倍速※10 | 最大5倍速※10 |
| | DVD-R (2層)※7 | 最大8倍速 | 最大8倍速 |
| | DVD+R (2層) | 最大8倍速 | 最大8倍速 |
| | BD-R (1層)※11 | 最大6倍速 | − |
| | BD-R (2層)※11 | 最大6倍速 | − |
| | BD-RE (1層)※12 | 最大2倍速 | − |
| | BD-RE (2層)※12 | 最大2倍速 | − |

※ 1: 使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※ 2: 8cmディスクはご使用になれません。
※ 3: Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※ 4: Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※ 5: DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※ 6: 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※ 7: DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※ 8: DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※ 9: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 10: DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 11: BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 12: BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

# 索引

## 数字



## アルファベット

### A



### B



### D



### E



### H



### L



### M



### N



### P



### S



### U



### W



## かな

### あ



### か

### ま



### や



### ら



### わ

## ローマ字変換表

| あ | か | さ | た | な | は | ま | や | ら | わ | が | ざ | だ | ば | ぱ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | KA | SA | TA | NA | HA | MA | YA | RA | WA | GA | ZA | DA | BA | PA |
| い | き | し | ち | に | ひ | み | ゆ | り | を | ぎ | じ | ぢ | び | ぴ |
| I | KI | SI・SHI | TI・CHI | NI | HI | MI | YU | RI | WO | GI | ZI・JI | DI | BI | PI |
| う | く | す | つ | ぬ | ふ | む | よ | る | ん | ぐ | ず | づ | ぶ | ぷ |
| U | KU | SU | TU・TSU | NU | HU・FU | MU | YO | RU | NN | GU | ZU | DU | BU | PU |
| え | け | せ | て | ね | へ | め | | れ | | げ | ぜ | で | べ | ぺ |
| E | KE | SE | TE | NE | HE | ME | | RE | | GE | ZE | DE | BE | PE |
| お | こ | そ | と | の | ほ | も | | ろ | | ご | ぞ | ど | ぼ | ぽ |
| O | KO | SO | TO | NO | HO | MO | | RO | | GO | ZO | DO | BO | PO |

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前にキーボードの【L】か【X】を押す。
　例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に【Y】を押す。
　例：きゃ→KYA、きゅ→KYU（しゃ、しゅ、しょは、間に【H】を押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。
　例：きっかけ→KIKKAKE

## 入力する文字を切り換える

【半角/全角】を押す。
日本語を入力できる状態と半角英数字を入力できる状態が切り換わります。

状態はここで確認できます。

●Windows ストア アプリの場合

●デスクトップ アプリの場合

※ お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。また、Windows ストア アプリの場合は、
　入力表示がされない場合があります。

# 目的別問い合わせ先一覧

サービス利用に条件があるものや有料のものが含まれます。各ページで詳細をご確認ください。

| お問い合わせ内容 | 電話番号 | | 受付時間 | 詳細説明 |
|---|---|---|---|---|
| NEC製パソコン/周辺機器に関する使い方のご相談※ | 121コンタクトセンター<br>0120-977-121<br>携帯電話・PHS・IP電話など<br>03-6670-6000<br>（通話料お客様負担）<br><br>音声ガイダンスに従って窓口番号を選択してください。 | 使い方相談※ | 9:00 ～ 19:00 | p.2-61 |
| 修理や故障のご相談 | | 故障診断・修理受付 | 9:00 ～ 21:00 | |
| 窓口のご案内や購入前のご相談 | | 窓口案内・購入相談 | 9:00 ～ 17:00 | |
| NEC製パソコンのリサイクルや廃棄に関するご相談 | | 回収・リサイクル | 9:00 ～ 17:00<br>（土日祝・弊社休業日を除く） | |
| NEC製パソコン/周辺機器の使い方のご相談 | NEC PCプレミアムセンター<br>0120-911-160<br><br>携帯電話・PHS・IP電話など<br>03-6670-6200（通話料お客様負担） | | 9:00 ～ 22:00 | p.2-62 |
| 他社製周辺機器/ソフトウェアの使い方のご相談 | | | | |
| パソコンの活用に関するご相談 | | | | |
| 訪問サポート「パソコン全国出張サービス」に関するお問い合わせ、お申し込み | パソコン全国出張サービス<br>0120-993-121 | | 10:00 ～ 20:00 | p.2-64 |
| NEC Directでのご購入に関するお問い合わせ | NEC Directコールセンター<br>（フリーコール、携帯電話可能）<br>0120-944-500<br><br>フリーコールをご利用になれないお客様<br>03-6670-6670（通話料お客様負担） | | 9:00 ～ 18:00<br>（ゴールデンウィーク・年末年始・NEC Direct指定休日を除く） | p.2-67 |
| 延長保証サービスのご購入、お問い合わせ | | | | |
| お客様登録に関するお問い合わせ | 121ware登録センター<br>0120-469-121 | | 9:00 ～ 17:00<br>（土日祝・弊社休業日を除く） | p.2-59 |

※ 使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。お客様登録の方法についてはp.2-58をご覧ください。

・ システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
・ 記載されたサービス内容は予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」（http://121ware.com/）をご覧ください。

*811064230A*

初版 2012年10月
NEC
853-811064-230-A
Printed in Japan

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。